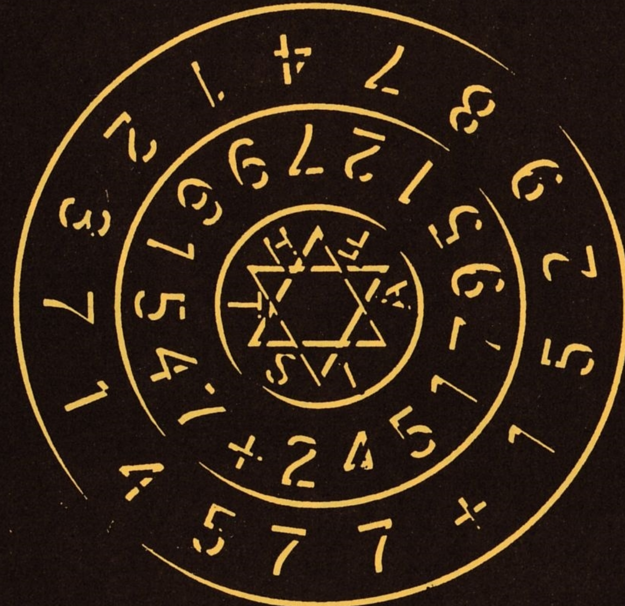
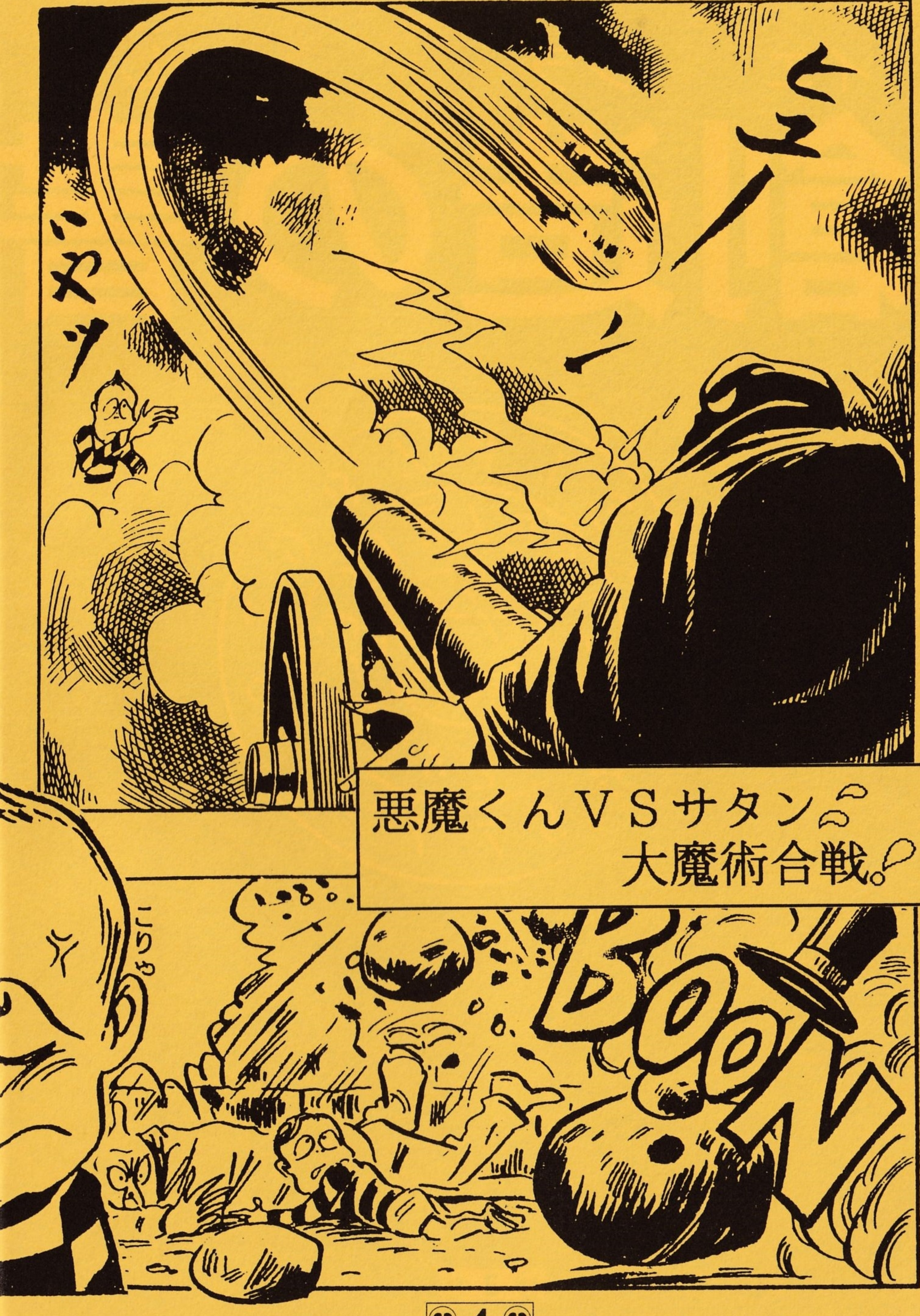

水木伝説
悪魔くん特集Ⅲ
イエシラ しょ
創造の書

イエジラ　しょ

創造の書




ヒューン
いやッ
悪魔くんVSサタン
大魔術合戦
BOOON
こりゃ

悪魔くん びっくり名場面

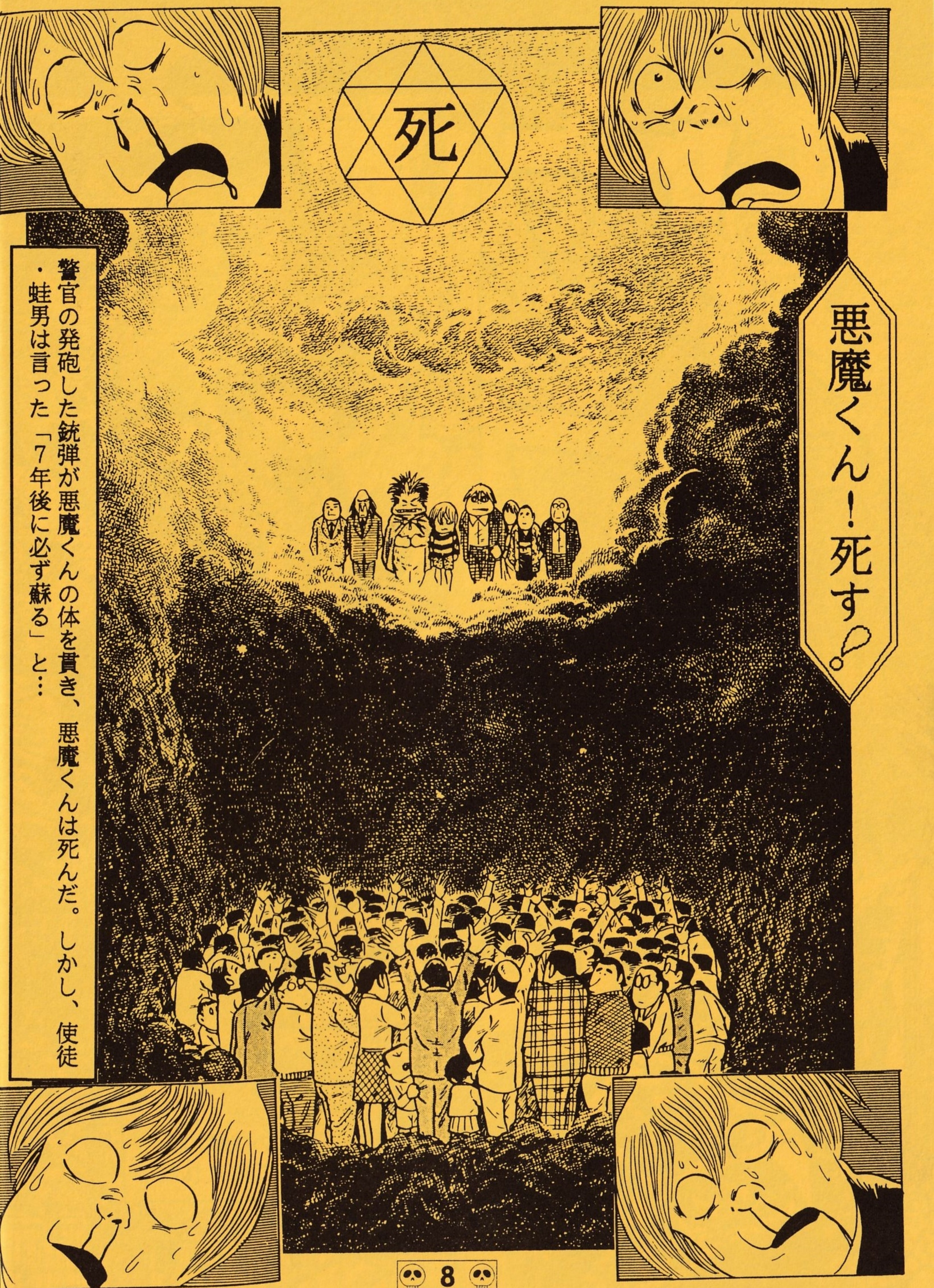




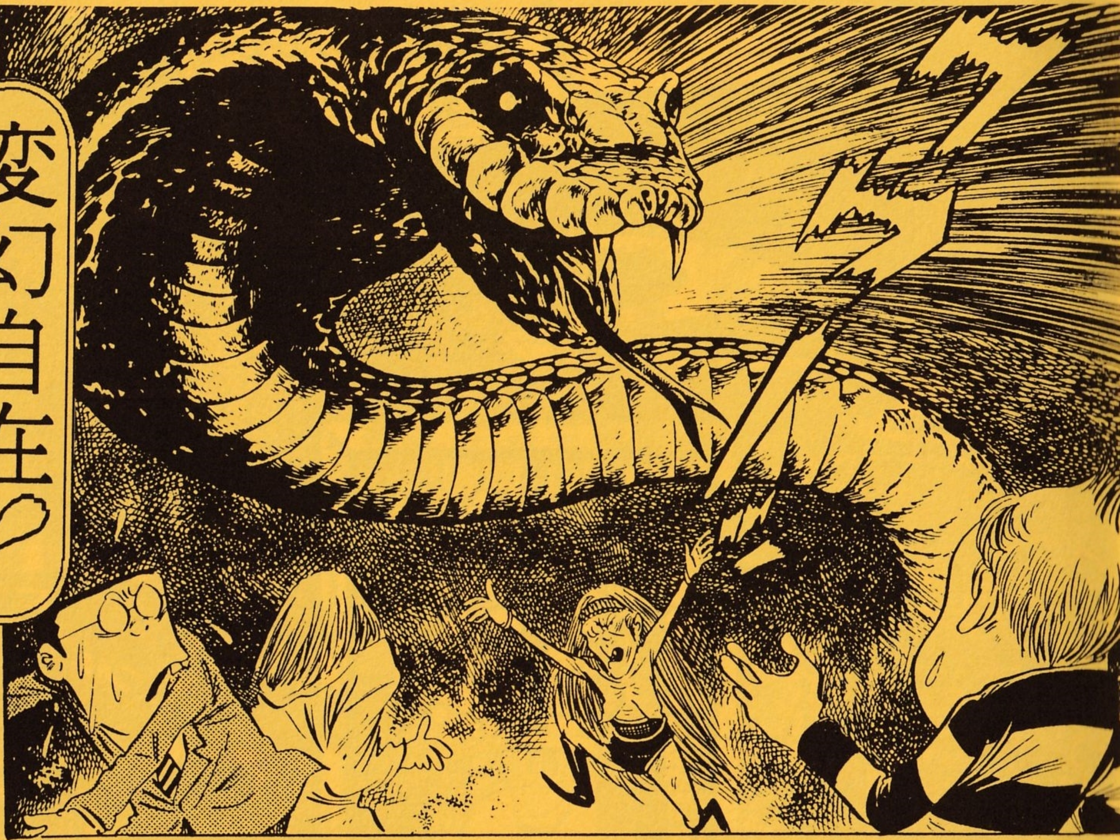

魑魅魍魎
エロイム
エッサイム
われは　もとめ
うったえたり！
じろり
いひひひひひ
サン

悪魔くん　びっくり名場面

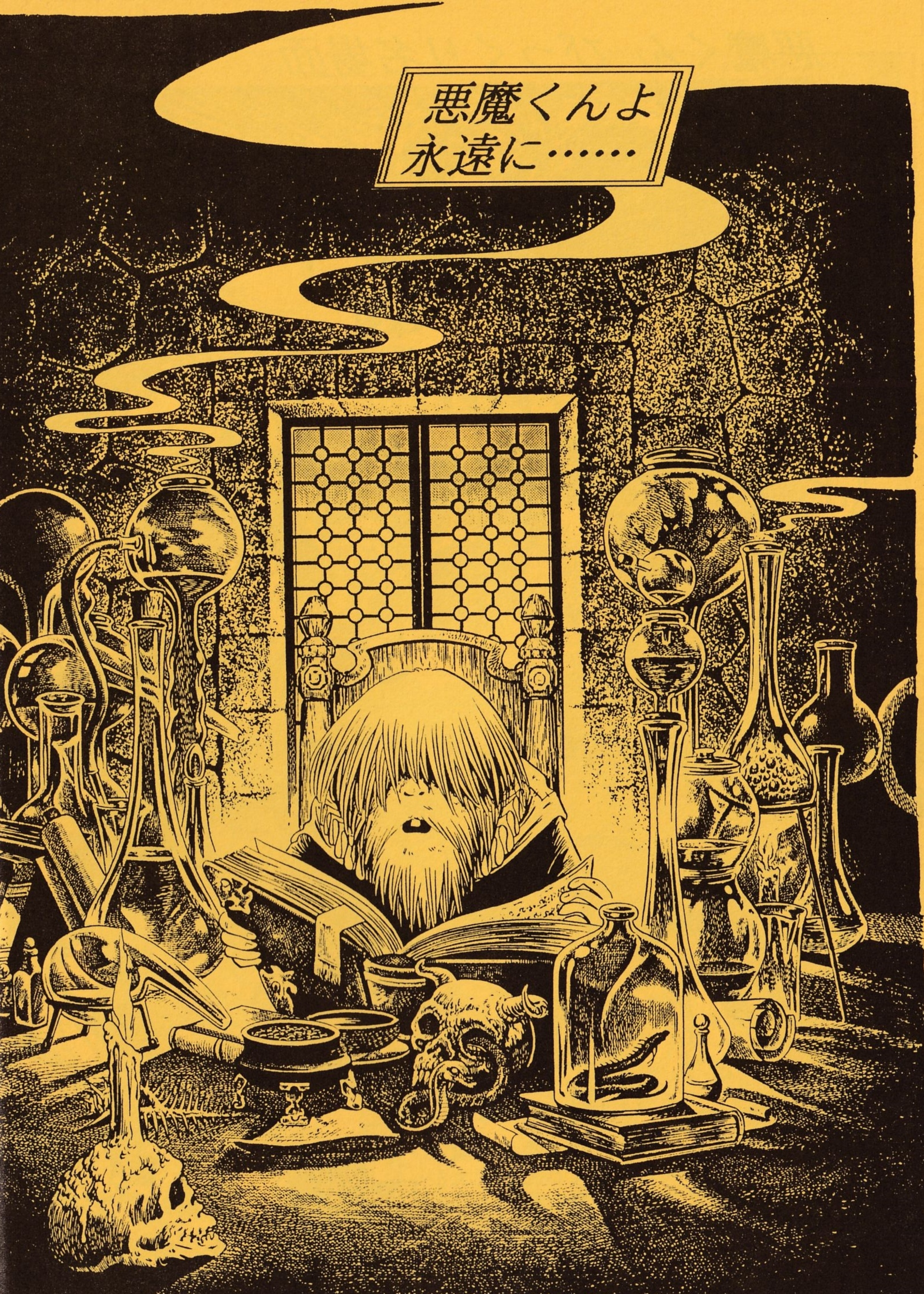


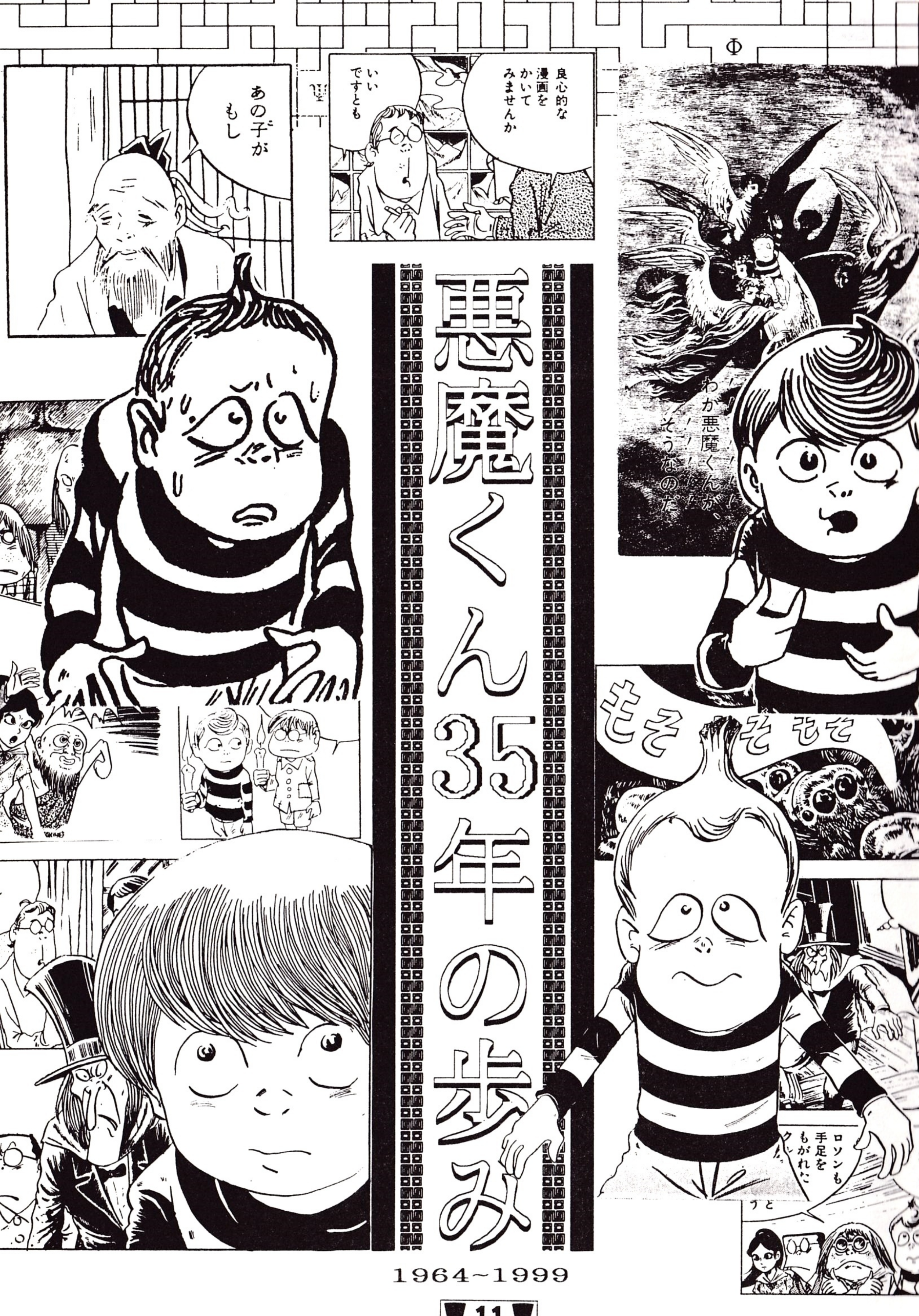

死
悪魔くん！死す！
警官の発砲した銃弾が悪魔くんの体を貫き、悪魔くんは死んだ。しかし、使徒・蛙男は言った「7年後に必ず蘇る」と…

悪魔くん　びっくり名場面





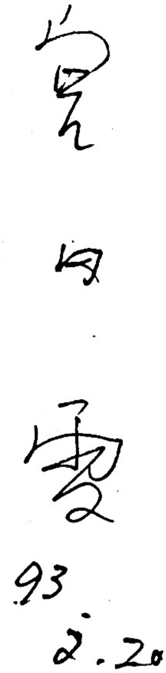

悪魔くんよ
永遠に……



悪魔くん35年の歩み

1964~1999

「ノストラダムスの予言を『悪魔くん』というフィルターを通して読んでみると、とても面白いんだぁ」と言ったのは『悪魔くん・ノストラダムス大予言』（上・下巻）の脚本を書いた宮田雪氏の言葉である。宮田雪氏とは水木先生の「ホピと精霊」の講演会で知り合い、これを機会に当時宮田雪氏が進めていた『悪魔くん・ノストラダムス大予言』の製作に協力することになるのだ。しかし、私は市販の出版物に関われることよりも宮田雪氏と『悪魔くん』の話をすることに夢中であった。「今度の作品ではね、千年王国が完成しちゃうんだ」「悪魔メフィストに時空を超える能力を加えようと思うんだ」「時空を超えた悪魔くんはヒットラーと対決するんだ」宮田雪氏は完成する前の作品について細かく話してくれた。我々も『悪魔メフィスト』の魔力や十二使徒について知っている限りのことを宮田雪氏に伝えたりした。宮田雪氏とはその後も『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』の仕事を我々に与えてくれたり、大変お世話になったのだ。その宮田雪氏の入魂の作品『悪魔くん・ノストラダムス大予言』とそれまでの『悪魔くん』を振り返り、『悪魔くん』の誕生から今日までの三五年間を解説してみたいと思う。





宮田　雪（みやたきよし）

魚座生まれ。
宮田先生は、子どものころからずっと〈死〉について考えてきました。そして、夢と幻影を追って非実在の世界に今でも住んでいます。この夢と幻影を宮田先生は、インド、ネパールに見つけ出したのです。だから、本気になってネパールの首都カトマンズで暮らしたいと言いつづけるほどなのです。

∞悪魔くんの誕生！（突撃！悪魔くん）





戦争が終わり日本は貧困のド真中！われらが水木しげる先生も戦争で九死に一生を得るも、終戦後アパート経営や紙芝居作家等の職業を転々とし『漫画家』として生きていくため単身上京する。昭和三二年。処女作『ロケットマン』を発表！漫画家・水木しげるの誕生だが、氏の生活が豊かになることはなく、やがて両親の進めで見合い結婚をすることになり子供も生まれ生活は更に苦しくなる。真面目に本を描いているのに出版社は金を渋り原稿料をなかなかくれない。質屋通いの日々が続き、また大蔵省は「あなたの土地は半分大蔵省の物だ」とか言って来るし弁護士は調べもせず一方的に大蔵省の味方をする始末。「真面目に働いているのに…世の中まちがっている！」水木しげるの不満が爆発しそうなそんな時、良心的な出版社『東考社』の桜井氏と知りあう。水木しげるはそんな世の中の不満を漫画の主人公に託すことにした。そのキャラクターは悪魔のような力を持っており「大蔵省だって弁護士だって質屋だってなんだってやっつけられるんだ　そして苦しんでいる善良なひとびとをたすけることだってできる」水木しげるの強い思いが『悪魔くん』を誕生させる。そしてその作品は食うために描いてきた他作品とは一線を外していた！

∞悪魔くん（貸本版）

こうして水木の入魂の作品『悪魔くん』の活躍がスタートする。水木しげるはセグリマンの『魔法』とゲーテの『ファウスト』という二冊の書物を参考に『悪魔くん』のストーリーをノートに描き上げたという。「悪魔のような強い力」で貧困を追い出すはずの『悪魔くん』であったが、現実は厳しく全5巻の予定であったが売れ行きが悪く3巻で完結してしまう。ストーリーの方も十万年に一人しか現われないほどの天才児・松下一郎が悪魔を呼び出す術を身に付け、彼を取り巻く十二人の使徒と共に戦争もなく世界が一つになる千年王国を造ろうとするものであったが十二使徒も一部しか揃わず千年王国も使徒・ヤモリビトの裏切りで悪魔くんは殺されてしまう。それは貧困の無い世界を造る『悪魔くん』に夢を託した水木しげるの作品にしては『残酷』とも言えるラストであった。それは『悪魔くん』を創造し始めた当初から予定されていたエンディングだったのであろうか？私はそうは思わない！『悪魔くん』の第1巻が予想以上の売上げを収め、予定通りの全5巻で完結していれば十二使徒も全て揃い、千年王国を完成させたハッピーエンドで物語は締めくくられていたと考えるのだが、読者の皆様はどのようにお考えか？



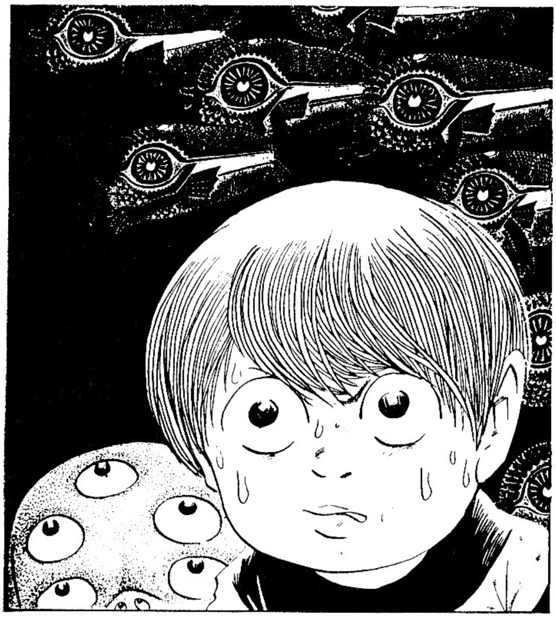
∞悪魔くん（少年マガジン版）

貸本漫画で水木しげるが試みた千年王国の夢はもろくも崩れ去った。そして貸本漫画界も衰退し始め漫画は少年雑誌へ移行して行く。だがつきも水木しげるの方へ流れはじめ、水木しげるのもうひとつの人気シリーズ『鬼太郎』が昭和四〇年に少年マガジン誌上で復活し、四一年には『悪魔くん』も少年マガジンで復活させる。しかし内容は貸本版と少し異なり十二使徒は登場せず、松下一郎は山田真吾となり、「カエル男」は貧太になった。また何もできない悪魔とヤモリビト＝佐藤は魔力を使うメフィストに変えられる。しかし、この最初の連載がＴＶプロデューサーの目に止まり、ＴＶドラマ化され『悪魔くん』の名は日本中に知れ渡る。皮肉なものだが『悪魔くん』のＴＶドラマ化に合わせて少年マガジンで連載も決まり、水木しげるはようやく貧困から脱出することができる。時間はかかってしまったが『悪魔くん』は水木しげるを貧困から救ったのだ。

【悪魔くん登場】

「悪魔くん」というニックネームを持つ山田真吾少年が仲間の情報屋と貧太と共に悪魔を呼び出す術にふけっていた。悪魔くんは百二回目の実験で魔法陣から悪魔「土精」を呼び出すことに成功するが悪魔くんは「失敗だ！」という。悪魔くんの本当の目的は「悪魔メフィスト」を呼出し、世の中が一つになり誰もが幸福に暮らせる世界を作ろうと考えていたのだ……そんな時、悪魔くんは死んだはずの「ファウスト博士」に出会い「悪魔メフィスト」を呼出すことに成功するのだが……

貸本版「悪魔くん」と同じく貸本版の短編作品「草」（昭和三八年『砂の巨人』掲載）をミックスさせたような作品で、昭和四一年一月一日から二月六日まで少年マガジンに連載された。



【悪魔メフィスト】

悪魔くんの通う学校に「百目の子供」が登校していた。百目の子供はしばらく姿の見えない情報屋のランドセルを持っていて、彼の案内で情報屋の居場所を突き止める。そこで悪魔くんたちの見たものは親の百目と古風な美少女「千草」だった。「悪魔くん登場」でTVドラマ化が決まり、それに合わせて同年十一月より連載の決まった第1回目の作品である。TVドラマの方で第一話に登場する百目をゲスト出演させ、新しく百目の子供をレギュラーに加えた超娯楽版で、これも貸本版「火星年代記」の一部をリメイクさせた作品である。

【なんじゃもんじゃ】

妖怪「油すまし」の飼っていた怪物「生気を食べる犬」と魔法陣から呼び出した魔物が東京で激突！二体の怪物は大きな丸い塊となってしまう。油すましと小豆洗いはこの塊を育て妖怪「なんじゃもんじゃ」に作り替え人類に宣戦布告してくる。悪魔くんはメフィストを呼出し「なんじゃもんじゃ」と戦うが妖怪たちは予想以上に強く、メフィストは地獄の仲間に協力を求めに行く……





【ビチゴン事件】

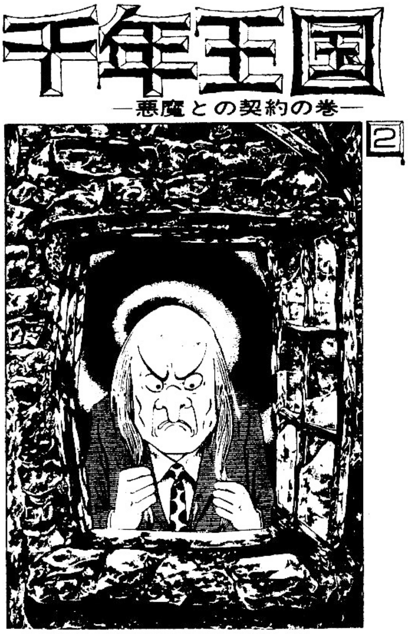
豚の糞の処理に困っていたある村では「底なしの穴」と呼ばれる深い穴に豚の糞を垂れ流ししていた。その祟りか？「底なしの穴」から怪獣ビチゴンが出現！村を糞だらけにし、県庁まで進出してきた。しかし悪魔メフィストの活躍でビチゴンは退治される。

【まぼろしの館】

TVドラマ版第十一話と同じストーリーで、メフィストと油絵妖怪の対決を描く。

悪魔くんと情報屋と貸太は悪魔くんの妹・道子とハイキングに出かけたが道子は迷子になってしまい、三人で探すが見つけた悪魔くんの前に巨大な蜘蛛が現れた。その場は凌いだものの巨大な蜘蛛は再び悪魔くんを襲い、悪魔くんも巨大な蜘蛛にされてしまう。

少年マガジン版『悪魔くん』の特徴は五十年間に及ぶ水木しげるの作品群の中でも最高水準にあたる画力の素晴らしさ。それは蜘蛛の足やなんじゃもんじゃを見て頂ければ判ると思う。そして「肩透し」のストーリー展開。【悪魔メフィスト】で云うなら展開上誰もがメフィストと妖怪百目を倒したと云われるほどの強敵との対決をクライマックスに予想しただろう？ところが百目を借りの姿としていた月人の地球脱出失敗で幕を降ろすし、「なんじゃもんじゃ」においても「魔力細胞分裂」さえも通じない妖怪との対決が閻魔大王との話合いで決着が付く。こうした「肩透し」のストーリー展開こそが少年マガジン版『悪魔くん』の魅力でもあるのだ。



∞悪魔くん　千年王国

昭和四五年、日本は高度成長時代と呼ばれその象徴とも言うべき日本万国博覧会が大阪・千里で開かれた。水木しげるの生活も豊かになり日本も平和そのものであったからそんな時代に悪魔くんの登場はないと誰もが思っただろう。しかし、ベトナムでは戦争をしており水木しげるも数年前から「仕事」と言う名の悪魔に追い掛け回される。「楽をして金儲けをしている人間だっているのに、どうしてオレだけがこんなに働かなくてはならないんだろう」水木しげるがそう言ったか？どうかは知らないが多忙な毎日、頭に浮かぶのは終戦前にラバウルで過ごした楽園のような日々であった。「人間は平等でなければならない」千年王国を再び築かせるため『悪魔くん』は復活した！

少年マガジン版では「妖怪退治屋」になってしまった悪魔くんだが、「千年王国」は貸本版のリメイクである。少年ジャンプ誌上に四五年三月から十月まで六百頁強というボリュームで貸本版で描ききれなかった細部まで書き込まれており当然十二使徒も全員揃う。最後は、警官隊の銃弾で悪魔くんは死亡してしまい、今回も千年王国は完成されなかったが、八仙人によって再び魂を肉体に宿した悪魔くんが蛙男たちの前に姿を現すという貸本版よりは救いのあるラストになっている。そう、千年王国が完成するまで悪魔くんの戦いは続くのである。たとえそれがどんな時代であろうとも…

∞復活！悪魔くん

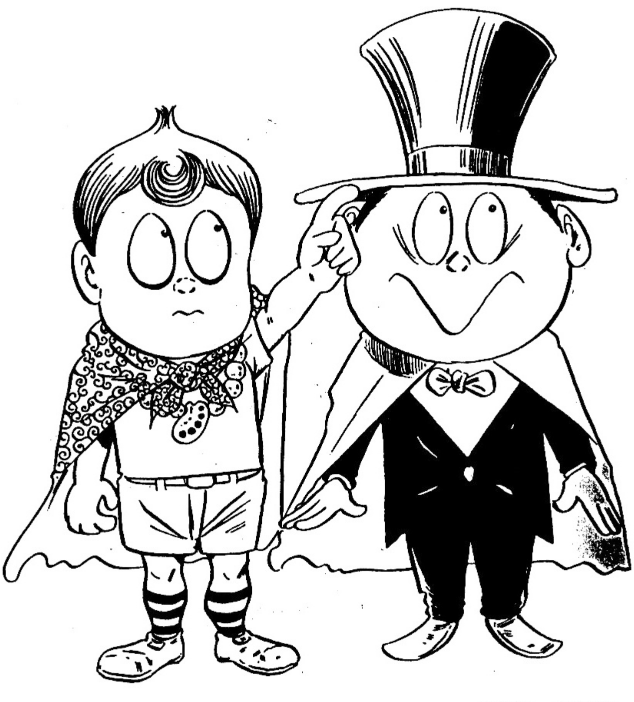
千年王国より六年後、昭和五一年月刊少年ジャンプに「復活！悪魔くん」登場。鬼太郎との夢の共演である番外編は本誌に十数年ぶりに復刻されているので絶対に読もう！



∞悪魔くん 世紀末大戦



昭和の時代が終わる前に登場した「悪魔くん・世紀末大戦」は、貸本版と千年王国の正統派続編である。呼び出す悪魔は千年王国のベルゼブブではなく貸本版のロソンであるが、家獣と占い杖が既に悪魔くんの使徒であるのは千年王国からだ。蛙男の予言の七年後ではなく、三四年後に復活する悪魔くんは千年王国を再び築くために悪魔くんは蛙男と十二使徒探しを始める。悪魔くんの理想を拒む者たちは妨害を開始し、それは日本首相に地獄の四天王、そして悪魔くんに殺されたサタンの息子も命を狙って来る。悪魔くんたちはそれらの妨害を退けオカルト雑誌の取材者・町田と妖術使いの灰怒羅、古代中国の預言者・視鬼魅らを使途に付け残る使途の待っている海外へ旅立つところで物語は終わる。う〜ん、これから面白くなるのに〜 続きが読みたいと思っているのは私だけではあるまい。





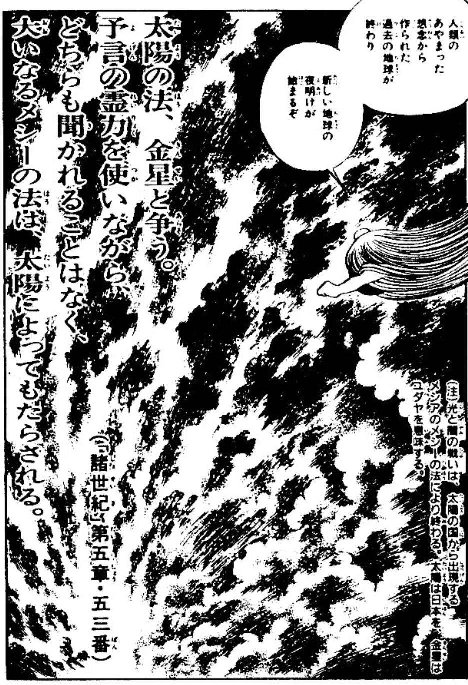
『悪魔くん・世紀末大戦』／完

∞最新版 悪魔くん

松下一郎でなければ山田真吾でもない、新しい悪魔くん・埋れ木真吾の登場だ。連載誌がコミックボンボンだったので内容はいたって子供向き。十二使徒を使って妖怪退治をするという千年王国とマガジン版をミックスさせたような筋で、メフィストもファウスト博士も登場するが両者共二代目という設定。そして悪魔くんも最後に初代が登場し二代目という設定になっているが、この初代も松下でも山田ない全くオリジナルの初代である。尚、連載がアニメ化と同時進行だったので十二使徒のうち三名が途中で変わったりする。その辺をチェックして読んでみるのも面白いだろう！

∞ノストラダムス大予言

山田真吾の悪魔くんと悪魔メフィストのゴールデンコンビが二六年ぶりに復活！更に蛙男と新しい十二使徒も登場する「悪魔くん」の集大成である。文頭にも書いてあるが、本筋は宮田雪が書いてある。メフィストに時空を超える能力を持たせ、一緒に時間の旅をしたノストラダムスが見た出来事を「緒世紀」に残したという設定はさすがである。また悪魔くんが時間を旅する間にヒットラーや死神と対決するなど書下し作品ながら要所要所に見所があり、ノストラダムスの予言通りに物語は進んでゆきクライマックスを迎える。ラストで千年王国は完成するが、今回の宿敵・ダニエルの策略によって世界にハルマゲドンが起こり、人類は全滅！誰もいなくなった地球に新しく千年王国を建設するという事なのだが喜んでいいのだろうか？ノストラダムスの予言が当たるかどうかは一九九九年の七月になってみなければ判らない！しかし、判っていることは人類は確実に滅びの道を歩んでいることである。千年王国を築くのは悪魔くんではなく、我々人類の仕事ではないだろうか？私はこの作品を読んでそう感じたのだった！














悪魔くん世紀末大戦
長い沈黙を破って
予言編
水木しげる





〈はじめに〉

「悪魔くん」とはなにか――

人間には肉体的奇形というのがあるが、精神的奇形だってあるはずだ。

釈迦やキリストにしても二千年たってもそれ以上の頭脳の持ち主が現われないところをみると、偉大な天才とは精神的奇形児である、という見方もできる――

いまここに人類がかつて生んだことのない頭脳をもった子供が現われ、一万年に一人しか理解できないといわれるユダヤの古書をひもときその文字の裏側に隠された「悪魔を呼び出す術」を解明しようとしていたらどうであろう……。

わが「悪魔くん」がそうなのだ…。



ここは世界十大メーカーといわれる太平洋電気――
佐藤くん社長がお呼びだ
エエッ社長が……
何事だろう…
すわりたまえ
実は私の一人息子の家庭教師になってもらいたいと思って十万人の社員の中から君を選んだんだ
とにかく責任をもってわしの息子の教育にあたってくれ
はい
社長の息子は別荘番といっしょに奥軽井沢に住んでいた…
そこは百万坪はあるという広大な別荘だつた…

最近のわたし

〝ゲゲゲの鬼太郎〟の水木しげるです。私は前から悪魔くんはもう一度復活して、活躍するときがくると思っていました。悪魔くんを知らない読者も多いでしょうが、おもしろい作品にしようとはりきっているところです。期待していてください〈水木〉




蛙男は実は悪魔くんの第一使徒で悪魔くんによって変形させられた前の家庭教師山田だつた……
ゲロゲロゲロ
それでお坊ちゃまは……
離れです人に会うのをいやがられます
それに小学校で悪魔くんといわれていた子どもです おそろしいですよ
それがどうしたというのです
ぼくは家庭教師ですよ
ではごあいさつぐらいならいいでしょう
あ 家庭教師ですね ハハハハハ
なんです先生に対して
おやめなさいおそろしいことになりますよ
なにがおそろしいのです たかが……



お坊ちゃま今日はこのくらいで…
さがっておれ これから家庭教師に 森の中の研究室には ゼッタイ入るなと 言っといてくれ
キャッホホホホホ
ゲロゲロゲロ
ヒソヒソヒソ
すると魔方陣をとく鍵は
私はカバラしかないと思います
バカ 何百年のカバラ研究からはなにも生まれていない
では「光輝(ソハル)の書」は？
そう「光輝の書」は最重要なものが隠されている それは何百年かのちに東方の島国に神童が生まれるまで隠されている
という予言だけだ
神秘学界で有名な東方の神童……


それはあなたでは……
シーッ事が成就するまでは語るでない
数千年前この奥軽井沢が魔法のメッカであった頃……
世界中の神秘学者や著名な悪魔の使徒はみな日本に渡来しこのあたりで死んでいる
蛙男……ヤモリビト……
それより悪魔を呼び出す方法は…
それは世界中で悪魔を呼び出した唯一の人ファウスト博士にきくしかない
ファウスト博士？
彼は四百年前に……
誰も死体を見たものはいない
私の独自の研究でファウスト博士の「偉大なる海の精霊」と同じ研究結果を得た
では早速実験してみましょう
森の研究室へ急ごう


また森の研究室に行かれたようです
なんです森の研究室って？
森の奥の地下に古代魔法の廃跡があるのです
なんですと？
そんなところへ入るから頭がへんになるのです
先生は強気ですな
ぼくが行って注意してきます
おやめなさい命がなくなりますよ
ぼくは社長から子息の教育をたのまれているのですぞ
ばかな！
おやめなさいえらいことになりますよ
その頃悪魔くんは悪魔を呼び出す実験をしていた
エロイムエッサイムわれわれは求め訴えたり



僕が大きな使命を遂行するためにはどうしても悪魔を呼び出さなくてはいけないのだ
ゲロゲロゲロー
ではゆくぞ
エロイムエッサイムわれは求め訴えたり
ククククク
ピタッ
大地は鳴動し生ぐさい空気が一面にたちこめた
あっ止まった


だめだ ここまでしか できない
残念ですね もう少しでしたね
魔方陣以外に問題があるのかもしれない
家庭教師は悪魔くんの研究室を捜そうとして道に迷い山の中を
三日間さまよっていた
ゴロゴロゴロ
ザザザーッ
うわっ
この穴で休もう
ピョロ
あっ



そこらじゅうヤモリだらけだ
気持ち悪い助けてくれー!
あっ
あなたはどなたデス?
なにか目の中に入ったみたいだ
キャ
ぺちゃ
おや この石に文字が刻んであるぞ
なんだ墓だったのか……



家庭教師佐藤はあてもなく北国の町を歩きながら自分の顔が変わっているのに驚いた
あんたのように顔が変わってしまった人はそこに有名な老易者がいるからその人に見てもらうしかないでしょう
ああ親切な人だ…
ありがとうございます
顔が変わるなんてなにがなんだかすべてがわからなくなった
佐久間道山
ここだな
ごめんください
老易者は手相をみたが
不思議なことを話しはじめた
あなたは十二使徒の一人として召されているのです
あなたはやがて第二使徒ヤモリビトとして悪魔くんにつかえる運命なのです


これは
驚きました
私の顔が変わると
同時に……
頭の中に
なにかモグラの
ようなものが
入って
モソモソする
のですが……
それが
ヤ、モ、リ、ビ、ト
です
ヤモリ
ビト？
古代の大魔法
使いです
太古の
魔法は
蛙とかヤモリとか
クモとか
自分の中に
それらに似た
本性をみつけると
三十年以上も
修業して
そのものになり
きるのです
……
と申し
ますと
それを身に
つけることに
よって
魔法の目が
ひらけるの
です
ちょっと
むずかしい
ですナ……
とにかく
私に
古代魔法人
ヤモリビトの
魂が
入ったの
ですね
そうです
しかも
あと三十時間
もすれば
あなたはあなた
でなくなり
ヤモリビトに
なるのです
ヤモリビトの
魂が私の脳を
占領するのですか
そうです
私は
気が狂い
そうです
慈悲の心が
おありなら
助けてください
お願いします


いまインドからフランネールという人が帝国ホテルにきています その人以外になおせる人はないでしょう
フランネール氏……
わかりました ありがとうございます
佐藤はすぐさま帝国ホテルにフランネール氏を
訪ねた
これはいったいどういうことで……
大昔から東方にいまだかつて地上に現われなかった頭脳の持ち主が現われ地下から悪魔を呼び出しその力で世界を変革するといわれていたのです
それで悪魔くんが東方の神童ではないかといま世界神秘学界は大さわぎなのです アメリカの石油王サタン氏も動き出したようです
そんなことにぼくまで巻きこまれたのですか
そう…… あなたは あと三時間ぐらいしか自分自身の意識がありません 早く手術しないと手おくれになりますゾ
エエッ 手術!!


そんなに
おそれなくても
別に痛く
ありません
ピク
?
ピク
ピク
そ
それは
なんです
か?
ピク
ピク
あ これ?
セイロン産の
ヒトダマです
私の背中に
飼っている
のです
なんだ
セムシかと
思ったら
そんなもの
飼っていた
のですか
霊魂の
手術はこれに
よってしか
方法がない
のです
早く
フォークを
つきさして
ピク
ピク
はァ?
食べる
のです
タベル
!?
大丈夫
ですか



モグモグ
ウーム
ゲーップ
ルルルル
サッ
?!
こいつがあなたの中に入りこんでいたのです
鏡を見てみなさい
スポッ
可愛いヒトダマよ私の背中に入るのだ
ピクピク


モソ
モソ
なんとしたことでしょう
この意外な手術は？
ヒトダマの再生力と清掃力を利用したのです
ヒトダマは一種の気体ですからネ
このヤモリビトのヌケガラ(仮面)をかぶり
ヤモリビトとして生きるしか方法はありません
スポ
ちょっと待ってください
いや 待てない
悪魔くんにこの事実をかぎつけられたらそれまでですからネ
エエッ
だから あなたは早く第二使徒ヤモリビトとして悪魔くんのところへ行きなさい
それ以外に生きる道はない
タハッ
そしてあなたは私のスパイになるのです
いやなら私はあなたのことを悪魔くんに告げればそれまでです
ウハッ


そのころ
アメリカの石油王
サタン氏が突如
来日した
首相以下が
出迎える――
彼は
表面的には
石油王だが
地下から
悪魔を
呼び出すことを
何百年と
研究している
大魔術師
だつた
サタン氏が
何の目的で
日本に
きたのか
誰も知ら
なかつた…
その頃 悪魔くんは
独自の研究に
よつて
百五十回目の
実験に
入ろうとして
いた……
その時
とつぜんサタン
氏が
現われる
お前なんかに
悪魔を
出されて
たまるかーっ
ははははは
あっ
サタンっ!
悪魔くん
というのは
お前か
そうだ


その闘いはかなり長く続いたが蛙男の協力で遂に悪魔くんが勝つた――
みておれ このカタキは きっと とるぞ
ケロ ケロ
バカモノ 去れ!!
それから二、三日して……
ファウストという者だ東方の神童に会いにきた
ファウスト博士といえば四百年前の人だが……
気力で生きてきたんじゃ
ヤモリビトという人が……
あっ第二使徒だこれへ…
あっ親愛なる「悪魔くん」さま
もうくる頃だと思っていた
天地のすぎゆかぬうちにわが秘法を伝授しよう魔方陣を作るとき常にエロイムエッサイムを唱えなければならない……魔方陣の中に指一本でも入れるとズタズタに寸断される……
それまではわかっているのです


なるほど
どこへ行かれるのです
スタスタ
太陽が地平線から登るまでに呪文を唱えなければならない
いったいなんのこと
大気の生霊を呼び出して大きな力で引きずり出さねばダメなのだ
お前たちは魔方陣のまわりに集まってエロイムエッサイムを唱えるがよい
いよいよ本当に地中から悪魔が出てくるのですか
さあ呪文を唱えよう
エロイムエッサイムわれは求め訴えたり
その上では…
朽ち果てし大気の精霊よ眠りからさめよ気体より踏みいでて万人の父の名の下に行なうわが要求に答えよ——っ!!


おお見よ
ファウスト博士の
大いなる霊波は
はるか彼方の太平洋
の上空で反応を
示したでは
ないか!!
その頃魔方陣の中の
大地は盛り上がり
生ぐさい臭気と共に
何者かが
はげしく動き出していた
エロイム
エッサイム
われは求め
訴えたり
!!


あっ
上のほうで
大きな音
音がした
ようすを
見に行って
くる
天地万物を
混乱におとし
いれている
地球の魔物よ
陰気なる
住み家を
立ち去りて
三途の川の
こなたへ
きたれっ！
博士っ
バッタ
さわるで
ない……
わしはこれ
までじゃ
もう悪魔は
出ているはず
じゃ
悪魔が
出てきたら
契約をしなけ
ればいけない
悪魔を使うには
このソロモンの
笛しかない
悪魔は
これに抵抗でき
ないのだ
人類の夢
万人が兄弟と
なる王国を
実現す
るよう…
現世(うつしよ)は
夢となり
夢は現世(うつしよ)
となる
ああ……


ウウッ
ああ博士
なんという
風変わりな
死に方であろう
……
運命の神は
ファウスト博士
を……
僕の前に
導いたのだ
大変
だーっ
どうした
とうとう
出ました
なに
悪魔が
出たのか
それで
契約はして
くれる
のか
ニタッ


悪魔は出てきたがニヤニヤして金ばかりほしがり あまり役に立たなかつた
その頃 石油王サタン氏は奥軽井沢に国際空港を作つて日本に寄付するといい出す
悪魔くんの父親は大金が入るのでOKするが……
悪魔 われわれはソロモンの笛を持ってるんだいうことをきけ
「悪魔くん」さま お父さまがお見えです
なに 父が？
やっと捜しあてた…
お前 東京の第一小学校に入ってくれ
いまさら小学校なんて……
特別に入れてもらうことになったのだ たのむから入ってくれ
お父さんをこれ以上心配させるな
ここに飛行場ができるんじゃないですか
あっ どうしてそんなことを…
工事はすぐ始まる 早く第一小学校に入ってくれ
この者たちはどうなります
あっ こんな怪物たちとつきあっているのか…
……
……
……


なんでもいい
親孝行だと
思って
立ち退いてくれ
わしはこれで
帰る
こまり
ましたな
サタンは工事と
見せかけて
空襲と戦車で日本を
メチャクチャにした
世界で
悪魔を
呼び出せるの
はオレ
だけだ！
オレに
逆らうものは
フンサイ
する！
地下では
悪魔くん
たちが苦戦
していた
あっ
そして
蛙男が大切な
ソロモンの笛を
何者かに
とられて
しまったのだ
キャー
誰か
きてくれ！


悪魔くんの部下たちは悪魔くんの活躍によって逃げたのだが
おかしいな これだけ さがしても 悪魔くんの 死体がみえない
ここはオロロン島の八大仙人の館
ソロモンの笛をもってまいりました
ごくろう
危ないところだった
あの子が笛を使って悪魔を動かせば世界は大動乱になる
エジプトのスフィンクスも動き出したという噂じゃ……


悪魔くんに死んでもらわねばいまの平和はなくなる
悪魔くんには悪いがわれわれの平和が第一じゃ
フランネールもうひと働きたのむぞ
はい
その頃悪魔くんは第一小学校でキリヒトという少年と並んでいた……
おめえバカに真面目な子だなあ
授業中話をしてはいけません
部下はキリヒトの好意で馬小屋にいた
親分が小学生じゃあなァ……
第二使徒テレビでもつけてみろ
はい
突如動き出したスフィンクスは三十ノットのスピードでマレー沖を通過いたしました
世界の学者はアッと驚いて一言もありません
はははは笑わせるな世界中のやつらは隠された学問を知らないのだ



フン
太平洋電気の
社員が
わけのわからない
世界の連中の
一員とされ
しかも
正直に
自分のことを
語れないなんて
こんなバカな
ことがあるものか
オレは
自由になりたい
……
いまの絶望の
毎日から
解放されたい
コツ
コツ
コツ
もし…
私が解放
してさし上げ
ましょう
あっ
フラン
ネール氏
いよいよ
悪魔くんの
束縛から
自由になれる
時がきたの
です
しかも
三億円という
金までついて
ギョッ
悪魔くんを
人身虐待罪で
警察に
密告しろと
でも
そう
です
きみが悪魔くんを
警察に渡せば
スフィンクスは
立ち去り　チベットの
地下の主
アガルタも
立ち去る
そして
サタンも
立ち去り
世界は
再び静かに
なる
人生には
チャンスという
ものがある
三億円と
いっしょに
自由が
まいこむ
のだ
わかり
ました
やがて
ヤモリビトの
密告により
悪魔くんは
何百人という
警官によつて
捕われる


はははぼくを逮捕してどうしようというのです
その時――
待て――っ
おかしいなサタンはもう死んでるはずだが
この中に入っているのは何者だ


なんだ キリヒト だな
彼もまた サタンの 回しもの だったのか…
すべては わけのわから ないうちに 終わ った
しかし俺には 三億円と 自由が まいこんで くるのだ
俺はこれから 幸福の設計を しなけりゃあ ならん
美しい妻を めとって 寝ころんで 暮らそう
この不幸な 顔とも お別れ だ…
ウゥゥゥゥ
ピタッ
世の中は ずるいものが 勝つよナ
どうだい 俺もお前のように 自由になったんだ 今度金貸しの 会社を作ろうと 思うんだが こないか 高給を出すぜ
俺もいよいよ ついてきたな

コミックＢＥ！ '87年10月31日号(光文社刊)より掲載



悪魔くん大全



凡例

○このコーナは《悪魔くん》を主人公とした7作品の用語辞典である。

○7作品とは『貸本』版、『千年王国』版、『マガジン』版、『最新版』、『世紀末大戦』、『ノストラダムス大予言』、『復活悪魔くん』の7作品である。

○さらに各々の用語を、以下の9つに分類した。

1，人物　2．動物　3，魔人・聖者　4，悪魔・妖怪　5，アイテム
6，魔法・妖術　7，団体　8，地名・建築物・店舗　9，重要語句

○文末の（）はその語句の出典元を示す。

（貸）…『貸本』版　（千）…『千年王国』版　（マ）…『マガジン』版
（新）…『最新版』　（世）…『世紀末大戦』　（ノ）…『ノストラダムス大予言』
（復）…『復活悪魔くん』

○尚、本文中の記号については以下の通りである。

《》他に項目がある語句　〈〉項目は無いが重要な語句　『』作品名

人物編

アイゼンハワー大統領

第三十四代アメリカ大統領で《アクエリアス教団》の信徒。（ノ）

アインシュタイン

ドイツの科学者。アメリカに亡命し、核兵器を発明する。その裏には、《シーレン》と《ヒトラー》の影が…。（ノ）

アクエリアス教団幹部

《ダニエル》の部下達。世界中の政治経済や情報を操作する。（ノ）

兄貴

銀行強盗。逃走中に雨に降られ、雨宿りをしようと《まぼろしの館》に迷い込む。（マ）

阿部切人

①《第一東京小学校》二年三組の模範生徒。掛け算が得意。《馬小屋》で産まれたそうである。実は《サタン》の手下だった。（貸）

②『千年王国』版では、《松下一郎》の第十二《使徒》になる。（千）

③《山田真吾》の同級生。（ノ）

④《埋れ木真吾》の同級生。（新）



阿部マリア

《阿部切人》の母。貸本版では《馬小屋》を《蛙男達にねぐらとして提供してくれる。（貸、千）

アメリカ大統領

《アクエリアス教団》の信徒で、《ダニエル》の進言に従って戦争を起こし、軍事産業でアメリカの経済復興をしようとする。（ノ）

アンリ二世

フランス国王。王宮で開催された槍の大会で負傷し死亡する。その経緯が《諸世紀》の内容と酷似していた事から、《ノストラダムス》は予言者として有名になる。（ノ）

委員長

《不可解突発事件調査委員会》の委員長。《山田真吾》から《もののけ》の話を聞き、半信半疑ながらも《自衛隊》に偵察を要求する。（マ）

池田首相

日本国首相。《奥軽井沢》に国際空港を築いて日本に寄付するという《サタン》の申し出を手放しで喜ぶ。（貸）

イースター島の原住民

《ムー大陸》の子孫。《アロンの杖》に魔力を送る為、特別に海の下から《精霊》を呼び出す。（ノ）

イースト・ウッド大統領

アメリカの大統領。《松下一郎》復活の連絡を受け軍に臨戦体制に入るよう命じる。（世）

インドの首相

呪医《フラン・ネール》はこの人の命令で来日したと偽っていた。本編未登場。（千）

ウェイトレス

《松下一郎》達が、一休みする為に入った喫茶店のウェイトレス。《使徒》達の異様さに驚く。（千）

内田先生

《山田真吾》の住む町の町医者。《怪物》に生気を吸い取られた《百目の子供》を診察する。（マ）

埋れ木エツ子

《埋れ木真悟》の妹。自分の意見をはっきり言う。小学二年生。（新）

埋れ木茂

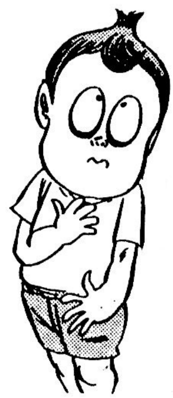
《埋れ木真吾》の父親。《H市》に住む売れない漫画家で、妖怪学に詳しい。（新）

埋れ真悟

『最新版』の主人公。一万年に一人しか生まれない頭脳の持ち主で、胎児の時代に大学まで卒業し、幼稚園に入る頃には博士課程を一ダース程修了する。その頭脳を世界中の魔物から狙われた為、《悪魔》を呼び出して身を守ってもらおうとする。当初はかなり冷めた性格をしていたが《見えない学校》に入学してからは正義感の強い少年になり、世界平和を目指すようになる。《悪魔くん》という名は仇名だが、実は《メシア》に送られる称号でもある。（新）

埋れ真悟の母

《埋れ木真悟》の母親。どこにでもいる、ごくごく平凡な主婦。料理は下手らしい。（新）



衛生部長

県の職員。豚の糞尿処理問題を解決する為、糞尿浄化装置を着けて欲しいという《村長》の訴えを断る。（マ）

H市の市民

《埋れ木真吾》の住む町の人々。《死者》に街を占領されたり《バーゲスト》に石にされたり、色々と酷い目に合わされる。（新）

エバ・ヴラウン

《ヒトラー》の愛人。《ヒトラー》と共に自殺した事にされているが、実は密かに生き延びて一人息子の《ダニエル》を出産する。（ノ）

エリツィン

ロシアの大統領。《アクエリアス教団》の信徒で、《ダニエル》の進言に従ってクーデターを起こして最高会議を弾圧する。その後リビアと同盟を組み、中東を侵略する。（ノ）

オアフ島の原住民

オアフ島を訪れた《山田真吾》を《カフナ》の元へ案内する。（ノ）

大蔵大臣

何故か《首相》と共に行動し、一緒に逃亡する。（千）

オカマ

《フレッシュギャルの店》のホステス（？）。《ノストラダムス》を騙して三万円ボッたくろうとした。（ノ）

おじいさん
《山田真吾》の祖父。富士山の麓の村に住む。屋敷構えから察するに、金持ちそうである。（ノ）

おじさん
《パコダ》を追いかけ、川を下ろうとする《山田真吾》と《情報屋》に、危険だと忠告する。（マ）

オットー・ハーン
ユダヤ人の科学者。《アインシュタイン》達と核の研究をしていた。本編未登場。（ノ）

おばさん
《怪物》の糞から《ソロモンの笛》を捜す《油すまし》を見て「なんて、きたない事を」と驚く。（マ）

お花
①松下家に仕える女中で、《別荘番》の妻。（貸）
②『千年王国』版では《松下一郎》の第八《使徒》になるが《悪魔》にそそのかされて《使い魔》兼《ホウキ会社》副社長になる。（千）

おやじ
《すねこすり》と《千草》が待ち合わせした喫茶店のマスター。ちょっとカマっぽい。（マ）

折竹警察庁官房
《松下一郎》の復活を喜ぶ数少ない人間。《竹久首相》の命令で、止むを得ず《松下一郎》を逮捕する為に《コマンド》を派遣する。（世）

怪物調査官
《怪物》と《魔物》が絡み合って出来た《丸い物》を調査する。（マ）

科学技術庁長官
原発は二酸化炭素を出さないので地球の温室効果の抑制に貢献する、と言って原発の建造を推進してきたが、原発事故の責任を負わされそうになって逆ギレする。（ノ）

火事くん
《埋れ木茂》のアシスタント。異常な《火気》の持ち主で、行く先々で火災が発生するのでこの仇名で呼ばれるようになった。《形態催眠》で巨大化し《フォービ》と戦う。後に『最新版鍛治くん』で人気漫画家になる。体内に半妖怪の血が流れている。（新）

軽井沢の青年
首だけになった《トミー》に寄生され、街で大暴れする。ハンバーガーが大好物らしい。（新）

軽井沢の駐在
《お花》の依頼で《松下一郎》を捜査しに来たが、《家獣》に捕らえられ第九《使徒》となる。柔道二段の腕前を持つが、鼻ヒゲが災いして《魚群》に食い殺される。（千）

河原三平
『マガジン』版第一話にゲスト出演。（マ）

監察医
《松下一郎》の死亡を確認するが、火葬場で遺体が紛失し、慌てる。（千）

管理人
湖畔にある貸別荘の管理人。その正体は人間の魂を食べる《妖婆》だった。（マ）

気象庁の役人
東京を覆い隠して津波を防ぐ《大クラゲ》の出現にうろたえる。(ノ)

北川
銀行強盗。《まぼろしの館》に迷い込む。(マ)

喫茶店のマスター
《松下一郎》達が、一休みする為に入った喫茶店のマスター。《使徒》達の異様さに驚く《ウェイター》に、お金さえ払えばお化けでも客だと言う。(千)

キュヴィエ
十八世紀の科学者。《ヨハネス・ヤコープ・ショイフツァー博士》の学説を否定する。(世)

草木国防長官
過激派で、政府に対立する者は皆殺しにするという危険な思想を持つ。《折竹警察庁官庁》と仲が悪い。(世)

クラスメート
《山田真吾》の同級生達。《ミカエル》に魅了され虜になり、《魔界》へ連れ去られる。(ノ)

クリフ国防長官長
米軍の最高司令官。だがやってる事は殆ど《イーストウッド大統領》のパシリ。(世)

警官
①《松下一郎》の第九《使徒》。(千)
②《山田真吾》の住む町の《警官》。(マ)

警官隊
《松下一郎》を射殺する。(貸、千、世)

ケネディ大統領
第三十五代アメリカ大統領。正義感が強く、《ダニエル》の悪事を暴こうとして暗殺される。(ノ)

ケネディ夫人
目の前で主人を暗殺される。(ノ)

現代っ子先生
《第一東京小学校》の職員。本編未登場(貸)

校長先生
《第一東京小学校》の校長。《松下一郎》の演説に賛同し、全校生徒及び全職員に《千年王国》建国に協力するように呼びかける。(千)

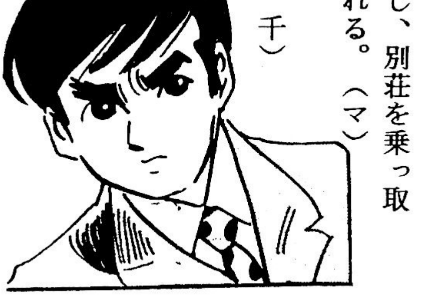
吾作
養豚業者。豚の糞尿処理問題を《村長》に訴える。(マ)

ゴルバチョフ
ソビエト連邦首相。《ダニエル》に逆らうような政策をした為、《チェルノブイリ》のレーニン原子力発電所を破壊される。(ノ)

詐欺師の夫婦
湖畔にある貸別荘に客として潜入し、別荘を乗っ取ろうとするが、《妖婆》に魂を奪われる。(マ)

佐久間道山の弟子
と、言う事はやはり易者か?(貸、千)

佐藤
《太平洋電気》の平社員。重役の椅子と引き換えに《松下一郎》の家庭教師を引き受



ける。《ヤモリビト》に体を乗っ取られるが完全に支配される寸前に《フラン・ネール》に助けられ、《ヤモリビト》に成り済まして《松下一郎》と行動を共にする。『貸本』版及び『千年王国』版の狂言廻しの役割をする。（貸、千、世）

仕立屋

《若草テーラー》の主人。《マント》の修繕を依頼しに来た《メフィスト》の角を見て驚く。《仕立屋組み合い》の組合長。（マ）

執事

《ロソン》に仕える執事。普通の人間。（世）

社長

①《太平洋電気》の社長で、《松下一郎》の父親。息子の奇行に頭を痛める。十三もの会社を経営し、変なデザインの椅子を愛用している。（貸）

②『千年王国』版では、《松下一郎》の第十一《使徒》となる。（千）

ジャック

ニューヨークの新聞記者。正義感が強く、気前がいい。後の《ケネディ大統領》である。（ノ）

十六世紀のフランス国民

的中する《ノストラダムス》の予言に驚愕し、彼を迫害する。（ノ）

首相

①日本国総理大臣。東京を明け渡せという《松下一郎》の要請を拒み、《千年王国》と戦争を始める。しかし、あっさり敗戦して海外へ逃亡する。（千）

②日本国首相。《アクエリアス教団》の信徒で《ダニエル》の進言に従って日本の再軍備化、核兵器製造を進める。（ノ）

上司

《佐藤》の上司。役職は未詳。（貸、千）

情報屋

①《山田真吾》の同級生。初めは《山田真吾》を軽蔑していたが、《パコダ》の事件に巻き込まれてから親友となる。千年に一人位しか生まれない《五王星》生まれという出生の秘密を持つ。やけに気が利くので《メフィスト》に気に入られている。（マ）

②《埋れ木真吾》の親友。《貧太》と三人で、《悪魔》を呼び出す実験をしていた。どうやら《情報屋》というのは彼の苗字らしい。（新）

③《山田真吾》の親友。（ノ）

情報屋の父

《情報屋》の父親。そっくり。他に説明のしようが無い。（マ、ノ）

情報屋の母

《情報屋》の母親。『最新版』と『ノストラダムス大予言』では顔立ちが異なる。（新、ノ）

女中

《奥軽井沢》の《別荘》には、《別荘番》の老夫婦の他に《女中》も一人いるが本編未登場。（貸、千）



庶民
一九九七年の世界の人々。自分の事しか考えない。この時代の十六歳以上六十歳未満の男子は軍隊に入隊する義務があるらしい。（世）

ジョンソン大統領
第三十六代アメリカ首相。《アクエリアス教団》の信徒でベトナム戦争を引き起こす。（ノ）

スターリン首相
第二次世界大戦時のソビエト連邦首相。（ノ）

政治家
日本の首脳陣。大地震によって引き起こされた原発事故の対策を協議する。（ノ）

先生
①《第一東京小学校》二年三組の担任。（貸）
②《山田真吾》の担任。生徒が行方不明になってもお化けが勉強しに来ても常にマイペース。（マ）
③《埋れ木真悟》の担任。少々ヒステリー気味の女教師。《埋れ木エツ子》のクラス担任も3コマのみ登場する。（新）
④《山田真吾》の担任。小学校の教諭とは思えないような口調で授業を進める。（ノ）

専門家
ニュース番組に出演し《悪魔くん》は死んでも生きる方法を知っていたと解説する。（復）

狙撃手
《ダニエル》の手下。《ダラス》でパレードをしていた《ケネディ大統領》を暗殺する。（ノ）

側近
《ダニエル》の部下兼秘書。常に行動を共にする。（ノ）

村長
豚の糞尿処理問題で、養豚業者と真珠貝の養殖業者の板挟みになって頭を痛める。（マ）

村長の孫
豚の糞尿処理問題で悩む《村長》に《天神峠の底無し穴》に流してはどうかと提案する。（マ）

第一東京小学校の職員
①《第一東京小学校》の職員達。有名な《山びこ先生》や《現代っ子先生》等がいる。（貸）
②問題児である《松下一郎》の処分について議論をする。後に《千年王国》の職員となる。（千）

大臣
日本国総理大臣。《魔女》にそそのかされ、《自衛隊》を出動させ《悪魔くん》と戦うが敗れ、富士山の麓まで撤退する。（復）

竹久首相
日本国総理大臣。大臣の座を手に入れる為、《山本魔州》に野党党首の呪殺を依頼する。（世）

ダニエルの部下
《天空船ノア》の完成を、《ダニエル》に伝える。服装から見て、軍人であると思われる。（ノ）

ダレス国防長官
《アイゼンハワー大統領》時代のアメリカ政府の要人で、《アクエリアス教団》の信徒。（ノ）

トールマン
アメリカの大統領。《シーレン》の策略にはまり、原爆を製造してしまう。ユダヤ人である。（ノ）

ドゴール首相
第二次世界大戦時のフランス首相。（ノ）

登山家
《奥軽井沢》で首だけになった《トミー》を目撃し新種のツチノコだと勘違いして腰を抜かす。（新）

謎の親父
大正時代のような服装をして、頭に花を咲かせている謎の親父。曲がった事が大嫌いらしい。（世）



西脇内閣情報局長
あらゆる情報を管理し、必要とあらば民間への情報操作も行う。顔がでかい。（世）

ニュースキャスター
①臨時ニュースを伝える人々。何故かみんな眼鏡をかけている（但し、『ノストラダムス大予言』のみラジオなので眼鏡の有無は不明）。（貸、千、マ、世、新、ノ）
②《悪魔くん》の行動を随時お茶の間に伝え、怪しげな《専門家》の人達にインタビューする。（復）

ネール首相
インドの首相。呪医《フラン・ネール》はこの人の命令で来日したと言うが、それは全くのデタラメだった。本編未登場。（貸）

ノア
神のお告げにより箱船を造り、洪水を免れた伝説の人物。（世、ノ）

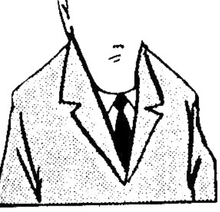
ノストラダムス
《イッカサル一族》の末裔で十六世紀のユダヤ人。医者としてペスト撲滅に身を投じる一方で、占星術師としても活躍して有名な予言詩《諸世紀》を書き記す。しかし、実は《諸世紀》予言ではなく《エホバの鏡》に映し出された未来の出来事や《悪魔くん》に同行して時空を越えて実際に見た事を詩にしたモノであった。（ノ）



ノストラダムスの両親
ユダヤ教の教徒。カソリックへの改宗を強要されるが改宗したふりだけをする。二人共、父親は医者で哲学者で占星術師だった。ペスト撲滅の為に旅立つ息子の安否を気遣う。（ノ）

秘書
《太平洋電機》の社長秘書。《秘書》と言うより使いっ走り的な仕事ばかり命じられる。《悪魔》に騙され、顔の皮を奪われる。（千）

ヒトラー
労働者（ナチ）党を率いて国会に出馬し、あっと言う間にドイツの首相となる。《死神伯爵》と《シーレン》に操



られ、第二次世界大戦を引き起こしたり、ユダヤ人を全滅させたりしようとする。最後はソ連軍に追い込まれて焼身自殺をした事になっているが、実は密かに生き延びて《ハルマゲドン》を起こすべく歴史を裏から操っていた。（ノ）

琵琶法師

行方不明になった一人息子を探し、琵琶を弾き語りながら全国を旅する盲人。息子とは《蛙男》の元の肉体《山田正夫》の事である。『貸本』版では、何故か終盤近くで《悪魔くん》達と行動を共にする。《佐久間道山》と言う易者を友人に持つ。（貸、千）



貧太

①《山田真吾》の同級生で友人。《悪魔》を呼び出す実験の手伝いをしていた。《山田真吾》の事を《悪魔くん》と呼んでいたのは最初、彼だけである。ちなみに第一話では両親がいないと設定されている。この名は本名らしいが、彼の両親は何を考えて命名したのであろう。（マ）

②《埋れ木真吾》の親友。《情報屋》と三人で《悪魔》を呼び出す実験をしていた。（新）

③《山田真吾》の親友。環境問題にやけに詳しい。（ノ）



貧太の父

息子に「下を向いて歩くんだぞ。金が落ちてる事もあるからな」とトンデモない事を言う。（マ）

貧太の母

息子や夫に対して少し厳しい。（マ、新、ノ）

フセイン

イラクの大統領。《ダニエル・コンツェルン》が半分以上握るＯＰＥＣ（石油輸出国機構）への参入を拒んだ為、悪者に仕立てあげられアメリカと戦争する事になる。（ノ）

ブッシュ

アメリカ大統領。《アクエリアス教団》の信徒で、《ダニエル》の進言に従いイラクに戦争を仕掛ける。（ノ）

フリッツ・シュトラウス

ユダヤ人の科学者。《アインシュタイン》達と核の研究をしていた。本編未登場。（ノ）

フルシチョフ首相

ソビエト連邦首相。《アクエリアス教団》の信徒で《ダニエル》の進言に従ってアメリカに戦争を仕掛ける。（ノ）

プレイボーイ

梓川にドライブに来ていた物好き。《もののけ》に襲われミイラになる。（マ）

浮浪者

《毛呂山》の幻術で倒れた《コマンド》の衣類や拳銃を、集団で奪い取る。（世）

別荘番

①松下家に仕える老人で、松下家の《別荘》の管理人。《松下一郎》の世話係も兼ねる。（貸）

②『千年王国』版では《家獣》に捕らえられ、《松下一郎》の第七《使徒》になる。（千）

ボーイ

《セントラルホテル》（『世紀末大戦』では〈帝国ホテル〉）の従業員。（貸、千、世）

ホテルロソンの客

《ホテルロソン》の一部と化していた《家獣》が動き出した為に逃げ惑う、上層階級の人々。（世）

ホテルロソンのフロント係

《ホテルロソン》に訪れた《松下一郎》達を不審に思うが《ＩＤカード》を見たとたんに態度を変える。（世）

ポリ

《軽井沢の駐在》の通称？（千）

ポンビキ

《フレッシュギャルの店》の呼び込み。《ノストラダムス》を騙して三万円ボッたくろうとした。（ノ）

マゴット

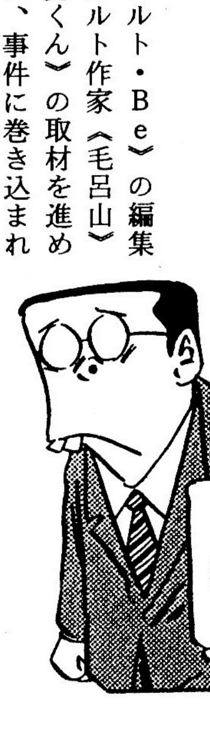
《ロソンビル》の地下にある喫茶店、《サラマンドラ》のマスター。《松下一郎》がやって来た事を《ロソン》に伝える。（世）

マダム

《テングス》と言う喫茶店の女主人。後ろ姿のみ登場。（マ）

町田

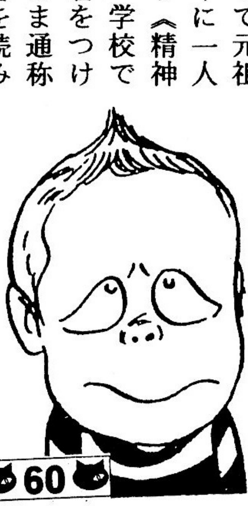
《オカルト・Ｂｅ》の編集者。オカルト作家《毛呂山》と《悪魔くん》の取材を進めるうちに、事件に巻き込まれる。何の取り柄も無い普通のサラリーマンだが、実は《松下一郎》の《使徒》だった。（世）



松下一郎

①本編の主人公にして元祖《悪魔くん》。一万年に一人しか誕生しないという《精神的奇形児》。その為、学校では《悪魔くん》と仇名をつけられ、その名がそのまま通称となる。難解な古文書を読み解き、《悪魔》を呼び出す研究をする。万人が平等に暮らせる世界を目指して革命を起こすが、《佐藤》の裏切りで《警官隊》に射殺される。《蛙男》は、《悪魔くん》は七年目に蘇ると言っていたが、その根拠は未詳。小学二年生。（貸）

②『千年王国』版では、《八仙人》が魂を半分封印していたので、すぐに復活できた。（千）



松下太平

《松下一郎》の父親で《太平洋コンツェルン》の会長。《政治家》と手を組み、日本の経済を牛耳っていたが、自分の地位を脅かす息子が蘇り戸惑う。最終的には《千年王国》の協力者となる。（世）

マクナマラ国防長官
アメリカ政府の要人。（ノ）

水木教授
《妖怪大学》教授。妖怪達が《地獄の魔物》を撃破したら、東京を半分与えるべきだと主張する。（復）

水木しげる
有名な劇画家。泥棒にコカコーラを二本盗まれる。（貸）

武者小路官房長官
常に《竹久首相》と行動を共にして、日本政府の極秘情報を管理する。（世）

ムッソリーニ
第二次世界大戦時のイタリアの政治家。ドイツ、日本と同盟を結ぶが敗戦し、戦争犯罪者として自国で処刑される。（ノ）

村人
豚の糞尿処理問題を《村長》に訴える。（マ）

茂助
真珠貝の養殖を営む漁師。養豚業者が豚の糞を海に流すので真珠貝が育たなくなって困る（マ）

モンゴメリー伯爵
スコットランドの若き近衛隊隊長。王宮で開催された槍の大会の決勝戦で、《アンリ二世》の右目を貫くという事故を起こす。（ノ）

役人
《スフィンクス》の行動を《首相》に報告する。役職は未詳。（千）

山田くん
《埋れ木茂》の友人で、珍奇本のコレクター。《においでかかれた本》を野犬の群れに奪われる。（新）

山田真吾
①『マガジン』版の主人公の少年。一万年に一人しか生まれない天才児だが、本人はその事を隠している。独学でユダヤの古文書を読み解き、《悪魔》を呼び出して世界を一つにする研究をしていた。ちなみに彼を《悪魔くん》と呼ぶのは当初は《貧太》だけであった。（マ）

②『ノストラダムス大予言』の主人公。この作品には《蛙男》や《阿部切人》が出演しており、舞台は一九九五年なので『マガジン』版の《山田真吾》とは別人（パラレルワールド）と考えるべきではないだろうか。（ノ）

山田真吾の父
《山田真吾》の父親。すぐ怒鳴る。息子の周辺で起こる不可思議な事件に頭を抱える。（マ、ノ）

山田真吾の母
①《山田真吾》の母親。お化けは猫より下等だと言い放つ。（マ）

②息子が突然変な外人（《ノストラダムス》）を連れて来てちょっと嫌がる。（ノ）



山田先生
《第一東京小学校》二年三組の担任。《松下一郎》に耳を引き千切られるが、後に《松下一郎》の演説に感動し、《校長先生》に全校講演会を開くように要請する。（千）

山田博士
《悪魔くん》が、死して死を制した事を看破する。（復）

山田正夫
《松下一郎》の最初の家庭教師。《蛙男》に肉体を乗っ取られる。（貸、千）

山田道子
《山田真吾》の妹。どう見ても幼児か低学年の少女だが、やけに大人びた口調で話す。（マ、ノ）

山名宗全
事件評論家。《悪魔くん》の東京侵略に対し、話し合いではなく武力行使に踏み切った《首相》を、「ボンクラ」と批評する。（復）

山びこ先生
《第一東京小学校》の職員。本編未登場（貸）

山辺編集長
《オカルト・Ｂｅ》の編集長。《町田》に《悪魔くん》の取材を命じる。ヘビースモーカー。（世）

湯河博士
突然動き出した《スフィンクス》の事件に対して、次元の異なる知識を持った者が動きだしたのではないか、とコメントする。本編中は未登場。（貸、千）

雪国の子供
《ヤモリビト》に変貌した《佐藤》を見て脅える。（貸、千）

雪国の村人
①《ヤモリビト》の姿に変貌した《佐藤》を見て驚く。（貸、千）
②《ヤモリビト》の姿に変貌した《佐藤》に《佐久間道山》の事を教える。（世）

ユダ
《キリスト》の十三人目の《使徒》。《キリスト》を金貨三十枚で官憲に売り渡す。（貸、千、世、ノ）

ユダヤ人の科学者
《ノストラダムス》と共に《アウシュビッツ》に送られるが、隙を見て逃げ出す。実は《ガド族》の末裔で《十戒石》の所有者だった。《アインシュタイン》の友人で、共に《カイゼル・ヴィルヘルト研究所》で《十戒石》の力を使い核の研究をしていた。（ノ）

横浜港の作業員
《横浜港》で働く人々。《幽霊船》を探索し、大量のドクロを発見するが警察には通報せず、一つの宝箱を持ち帰る。本当はこれも違法行為である。（新）

ヨハネス・ヤコープ・ショイフツァー博士
十八世紀の科学者。山椒魚の化石を《ノア》の洪水で溺死した人々だと説いた。（世）

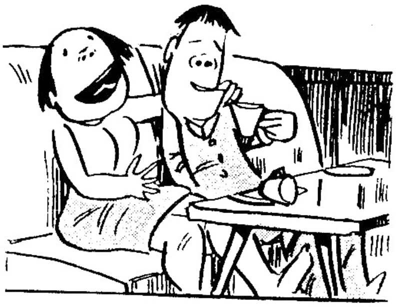
ラスク国務長官
アメリカ政府の要人。（ノ）

猟師
《大クモ》と化した《山田真吾》を撃つ。（マ）

老人
重い荷物を背負い倒れるが、誰も助けない。（世）

ロトとその家族
《旧約聖書》に登場する《ソドムとゴモラの町》に住む、正しい心を持った数少ない人間達。（ノ）

若者達
喫茶《再会》の客。甘い恋を囁き合いながら音楽に酔いしれる、幸運に恵まれた鼻の下の長いお方達。（貸、千）



動物編

イモリ
《山田真吾》と《ノストラダムス》が《シーレン》の《念力》で変えられた姿。しかしその小ささを逆に利用し、《死神伯爵》の館へ侵入する。（ノ）

オロロン鳥
《蓬莱島》の周辺に棲息する水鳥。オロロン、オロロンと鳴く。（世）

ガマ
《奥軽井沢》にある遺跡の穴の中に、群れで棲息している。（貸）

カラス
①《悪魔》を呼び出す方法を知った為に《サタン》に姿を変えられた、と偽っていたが実は《フラン・ネール》の手下だった。（千）
②『貸本』版では、《阿部切人》に猟銃で射殺される。（貸）
③《地獄の四王子》の手下。人間界の動きを偵察し《地獄の四王子》に報告する。人間界と《地獄》を行き来する事ができる。（世）



魚群
《八大仙人》の発する《超音波》に操られ、《蓬莱島》へ向かう《松下一郎》達を襲う。《家獣》の腹を食い破る。（千）

ニャーゴ
《シャレコウベ男爵》の魔力で、人間以上の知力と体格を与えられた虎猫。人をからかうのが趣味で、おだてると調子に乗る。《水魔》に溶かされる。（新）

沼の王
《蛙男》の親類で、忘れる程年を経た《ガマ》。毒を持ち、《クモ系統の魔術》を使う者に強い。（貸、千、世）



フカ
《松下一郎》達を襲い、《家獣》の腹を食い破る。（千）

ふくろう

《魔法陣》の造り方を知る魔法使い《ふくろう女》を復活させる為に《松下一郎》が用いた動物。やはり雌なのだろうか？（千）

三毛

《山田真吾》の家で飼われている三毛猫。（マ）

モグラ

《埋れ木真吾》の百二十五回目の《悪魔》を呼び出す実験で《魔法陣》から出現した。《埋れ木真吾》に頭が良くても人間だから用心しないと死ぬと忠告し、奇妙な煙を吐いて《見えない学校》へ導く。（新）

ヤモリ

《ヤモリビト》の墓に群れで生息する。《佐藤》のポケットの中に、時折入っている事があったらしい。（貸、千、世）

魔人・聖者編

アブラハム公

《旧約聖書》に登場する神の使い。《ソドムとゴモラの町》の対処を巡り神と問答をする。（ノ）

蛙男

①数千年前に日本に渡り、《奥軽井沢》でその生涯を終えた魔法使い。《山田政夫》の肉体に乗り移って蘇り《松下一郎》の第一《使徒》になる。《ガマ》を自由にする能力があるらしい。（貸、千）

②『世紀末大戦』では、オカルト研究家《毛呂山》として《松下一郎》復活を待ち続けていた。（世）

③《山田真吾》の第一《使徒》。生真面目で短気な性格で、《メフィスト》とは仲が悪い。（ノ）

何仙姑女（かせんこじょ）

①《八仙人》の紅一点。静寂を好み、《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②議論の末、考えを改め《松下一郎》の協力者となる。（千）

③人類が滅亡しかけても「自業自得」と取り合わないが、自分達の平和が乱されそうになると協力的になる。やたら説教くさい。（ノ）



カフナ

ハワイにある《オファ島》の呪術師。《山田真吾》に《アロンの杖》へ魔力を送る方法を伝える。（ノ）

漢鐘離老人

①《八大仙人》の一人。静寂を好み、《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②後に考えを改め、《松下一郎》の協力者となる。（千）

③人類が滅亡しかけても「自業自得」と取り合わないが、自分達の平和が乱されそうになると協力的になる。（ノ）

韓相子中年

①《八大仙人》の一人。静寂を好み、《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②掛け軸に魂を封印する能力を持ち、《松下一郎》の魂を半分だけ封印する。（千）

③『ノストラダムス大予言』では木の枝と花の描かれた掛け軸に、《ミカエル》を鳥の絵に変えて封印する。（ノ）

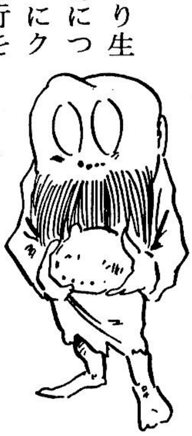
キリスト

①キリスト教の開祖。第十三《使徒》の《ユダ》に裏切られて、《ゴルゴダの丘》で処刑される。（貸、千、世）

②《神界》の住人。《山田真吾》に《アロンの杖》の秘密を伝える。（ノ）

クモ仙人

五千年前にクモと交わり生活し、不老不死の術を身につけた悪い仙人。《菩薩》にクモの姿に変えられたが悪行を止めないので、地下百メートルの岩穴に封印されていた。《ソロモンの笛》で元の姿に戻る事ができる為、《山田真吾》を襲う。口を押さえられると動けなくなる。（マ）



毛呂山

道玄坂に《オフィス》を構えるオカルト作家。その正体は、《松下一郎》の第一《使徒》である《蛙男》の世を忍ぶ仮の姿だった。（世）

佐久間道山

①著名な易者で《琵琶法師》の友人。《佐藤》に、やがて《ヤモリビト》に身体を乗っ取られる事を告げる。（貸、千）

②それを直せるのは《フラン・ネール》しかいないと教える。（世）

サタン

①世界の三分の一の石油を握るアメリカの石油王。その正体は、二百五十年も生き永らえた《黒魔術》の大家で、《スフィンクス》の部下。三千年前、《東方の三賢人》に呼び出された《サタン》を祖先に持つ。金と政治力にモノを言わせ《松下一郎》を研究所諸共爆撃するが、逆に戦車で撃ち殺される。（貸、世）

②『千年王国』版では一度《悪魔》に捕らえられるが、《スフィンクス》に救出される。（千）



視鬼魅

《松下一郎》の《使徒》。古代中国の賢者で、老子や孔子、孟子といった賢人の師であり、皇帝に殺されかけるが日本に逃れ、《照魔鏡》に身を変じて《松下一郎》の復活を待ち続けていた。（世）

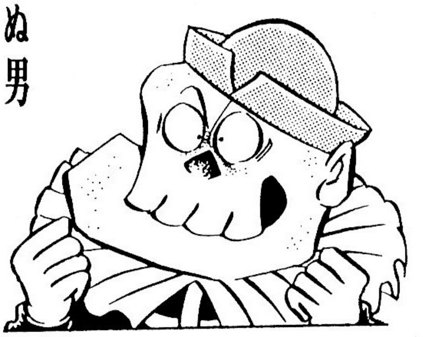


死神伯爵

十六世紀のフランスの魔術師。《シーレン》を復活させて《地獄の王》を結成する。《三種の神器》を揃えて世界征服を企むが《ヒトラー》に裏切られ殺害される。（ノ）

死ぬことのできぬ男

数千年前、《奥軽井沢》に渡って《創造の書》を刻んだタブレットを地下に埋めた人物。（貸、千）



釈迦

①仏教の開祖。古代インドの皇族出身の哲学者で、本人は無神論者だったらしい。（貸、千、世）

②《神界》の住人。《山田真吾》に《アロンの杖》の秘密を伝える。（ノ）

シャレコウベ男爵

《二代目ファウスト》の友人。様々な次元へ通じる不思議な扉を備えた迷路のような巨大な館に、《ニャーゴ》と二人（?）で暮らしている。《東嶽大帝》を倒す研究に一生を捧げ、《魔壊砲》を発明するが力を使い果たして絶命する。（新）

初代悪魔くん

一万年前にこの世を統治していた《東方の神童》。《見えない学校》の頂頭部にある《生命玉》に魂を宿らせていた。（新）



ダニエル

《ヒトラー》の息子。名付け親は《シーレン》で、その名は《旧約聖書》に登場する予言者に由来する。予知能力と超能力を使い《アクエリアス教団》を築き、世界中の要人を操って《ハルマゲドン》を引き起こそうと企む。実は《ムー大陸》の子孫であり、《山田真吾》の《使徒》だった。（ノ）



張果老人

①《八大仙人》の一人。静寂を好み《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②水蒸気に化身する能力を持ち、《松下一郎》の暗殺を企てるが逆に捕らえられ、人質にされる。（千）

③人類が滅亡しかけても「自業自得」と取り合わないが、自分達の平和が乱されそうになると協力的になる。（ノ）

東方の三賢人

《キリスト》の出現を予言したと伝えられる人々。《サタン》を呼び出したとも伝わる。（貸、千、世）

仁王

《エンマ》の本体。《黒い霧》というお化けの正体を探る為《なんじゃもんじゃ》を地上へ送る。（マ）

二代目ファウスト

《見えない学校》の校長先生。自分の生徒がピンチに陥っても、常に冷静沈着。最後は自分の命と引き換えに《初代悪魔くん》を復活させる。（新）

灰怒羅



《山本魔州》の一番弟子の妖尼。《松下一郎》を抹殺しようとするが軽くあしらわれる。変装して《町田》に近づき《松下一郎》の弱点を探るが、実は《十二使徒》の一人だった。（世）

パコダ

インドの魔法使い。《悪魔》を呼び出そうとして千回も失敗し、その度に地上に引っ張り出した千体もの《亡者》を使い《山田真吾》から《ソロモンの笛》を奪う。《世界金持ち連盟》がスポンサーにだと偽って《メフィスト》を騙そうとしたが、ばれて《魔力細胞変化》の餌食となる。（マ）

ハワード・サタン

《ロナルド・サタン》の息子で、《IBM社》の社長。アメリカ経済界の大物で、《イースト・ウッド大統領》とも通じている。《松下一郎》復活の知らせを受け、亡父の復讐をすべく来日するが、《ロソン》に敗れミイラになる。（世）

ひとつの王

《ムー大陸》の王。人類の魂を進化させる為に悪い心を植え付けておきながら、洪水を起こして《ムー大陸》を滅亡させる。（ノ）

ひとつの神

《ムー大陸》の神。人類の魂を進化させる為に悪い心を植え付けておきながら、洪水を起こして《ムー大陸》を滅亡させる。（ノ）

ファウスト博士



①世界で初めて《悪魔》を呼び出した人物。その秘法を《東方の神童》に伝授する為気力で四百年も生き永らえていた。〈風変わりな死に方〉をする（貸、世）

②『千年王国』版では、ニセモノだと判断した《蛙男》と《ふくろう女》に撲殺されかける。（千）

③『マガジン』版では三百五十歳と設定され、《鬼太郎》や《河原三平》とも出会っている。（マ）

④『最新版』では呼び出した《悪魔》に殺害されたと設定されている。（新）

フラン・ネール



①インドの《呪医》を装い《松下一郎》が本当に《東方の神童》か確かめに来たと偽る。実は《八大仙人》の使いであり、《松下一郎》を監視させる為に《佐藤》を救う。《ヒトダマ》を飼いバラモンの《仙術》を使う。（貸、世）

②『千年王国』版では《八大仙人》の命令で《松下一郎》の行動を妨害するが、最終的には《八大仙人》に《千年王国》に協力すべきだと意見する。（千）

ベルゼブブ

イスラエルの《隠秘術》の王者。本編未登場だが、『千年王国』版の後半に同名の《悪魔》が登場する。（貸、千）

菩薩

五千年前に《クモ仙人》を巨大なクモに変え、地下百メートルの岩穴に封印した人物。本編未登場（マ）

ミコ

《魔天道》を継承する一族の末裔。家族構成その他は不明。ショタコン。（新）



モーゼ

紀元前十三世紀の予言者。奴隷として働かされていたユダヤ人を引き連れエジプトを脱出する。《エホバの神》から《三種の神器》を授かる。（ノ）

夜叉

コンロン（チベット）の《隠秘術》の王者。《松下一郎》の《千年王国》建国を知り腰を上げるが、実際に行動する前に《松下一郎》が死亡した為、本編未登場。（貸、千）



山本魔州

永田町の一角に寺を構える密教、《隠言宗》の大管長。自分こそが真の《メシア》だと信じ、《松下一郎》の復活を阻止しようとする。（世）

ヤモリビト

①数千年前に日本に渡り、《奥軽井沢》でその生涯を終えた魔法使い。《佐藤》の肉体を使用して復活する予定だったが、《フラン・ネール》に阻止される。（貸、世）

②『千年王国』版では《創造の書》を解読できる能力を持つ第三《使徒》と設定されている。（千）

藍采和中年

①《八大仙人》の一人。静寂を好み、《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②議論の末、考えを改め《松下一郎》の協力者となる。（千）

③人類が滅亡しかけても「自業自得」と取り合わないが、自分達の平和が乱されそうになると協力的になる。（ノ）



李鉄拐老人

①《八大仙人》の一人。静寂を好み、《松下一郎》の存在を快く思わない。（貸、世）

②議論の末、考えを改め《松下一郎》の協力者となる。（千）

③人類が滅亡しかけても「自業自得」と取り合わないが、自分達の平和が乱されそうになると協力的になる。（ノ）

リリス

金、暴金、権力等で日本を支配しようとする、《黒色同朋団》の女教皇。強力な魔力を使い《ロソン・ビル》を守っている。（世）

ロナルド・サタン

アメリカの石油王。《松下一郎》を亡き者にしようとするが、逆に殺される。（世）

悪魔・妖怪編

アイニ
《ロソン》が《松下一郎》を暗殺する為に仕掛けた罠から召喚された《悪魔》。猫と蛇の顔を持ち、各々の顔から熱線を発する。（世）



アイ・ラウァ
ハワイの《オファ島》に住む火山の《精霊》。その昔、《ムー大陸》から大勢の人間と共にこの島に移り住み、《キラウェイ火山》に住み着いていたが、他所から来た《ペレ》と言う女神に追い出されてしまう。《アロンの杖》にエネルギーを吹き込む。（ノ）

アガルタ
チベットの地下の主。《松下一郎》の行動に反応して日本へ向かうが、途中で《松下一郎》が死亡した為本編未登場。（世）

悪魔
《松下一郎》が呼び出した《悪魔》。詐欺と演技の能力に長けているが、真の力は何も持たない。背広姿にオールバックと、見た目はその辺のサラリーマンである。（貸）

悪魔界軍団
《シーレン》が率いる《悪魔》の軍団。数に物を言わせて《山田真吾》達を襲う。しかし、所詮ザコはザコである。（ノ）

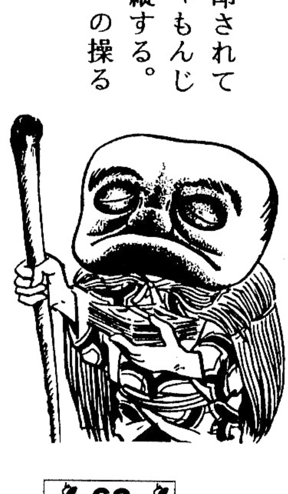
悪魔群
《なんじゃもんじゃ》を倒す為、地獄へ攻め入った《メフィスト》の仲間達。（マ）

小豆とぎ
《天の岩戸》に封印されていた妖怪。相手を縮めて吸い込む《壷》を持つ。その正体は《エンマ》の操る亡霊だった。（マ）



油すまし
《天の岩戸》に封印されていた妖怪。《なんじゃもんじゃ》を造り出し、操縦する。その正体は《エンマ》の操る亡霊だった。（マ）

アマビエ
《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人で、《使徒》のリーダー的存在。見た目からは分からないが、恐らく年長者であろう。海洋生物とコンタクトを取る能力を持つ。（ノ）



アメーバ
《埋れ木真吾》に倒された数体の魔物が復活し、合体した物体。《東嶽大帝》の城へ逃げ出すが、その途中で、何故か《奥軽井沢》に立ち寄って《ミコ》を襲う。しかし《メフィスト老》にあっさり撃退される。《見えない学校》を包み込み、《埋れ木真吾》を孤立させる。（新）

アンドリアス・ショイクゼリ

地球創造の時代から海底を支配していた一族で、邪神《クルーク》の手下。ビルを食い荒らし富士山を噴火させ、大津波を引き起こして日本を大混乱させる。日本政府に《松下一郎》引き渡しを要請する。（世）

アンドリエ

美少女《ミカエル》として《山田真吾》のクラスに編入して来た魔界のプリンセス。本来は人間を守る立場にあるのだが、《ダニエル》に騙され《山田真吾》を襲う。最後は《山田真吾》をかばって絶命し、《神界》に召される。（ノ）

一反木綿

《鬼太郎》の仲間。《地獄の魔物》と戦う。（復）

ウラエウス

《リリス》が誤って召喚した聖蛇。そのまま《リリス》を飲み込んでしまう。（世）

エルフ

地底に住む魔獣。《地底人》を襲って食べる。《超音波》を発して地面を液状化させる。《ボスエルフ》の体内に入り込んで合体し、巨大化する。（新）

エレメンタル

《山本魔州》が作り出した《人工精霊》。（世）

大口童子

《トン＝フーチン》の手下。《埋れ木真吾》に《東嶽大帝》を信仰するよう強要する。日本中の人間の鼓膜を破る程の大声を出せる。（新）

大クモ

①《サタン》が変身した姿。尻から糸を出す。《ガマ》に弱い。（貸、千）

②《クモ仙人》の手下。実は《クモ仙人》を封印した《菩薩》の子孫達で、クモとして生活する事を強要され、この姿に変貌していた。《山田真吾》もさらわれ、この姿に変えられる。（マ）

大クラゲ

百億年分もの海洋生物達の魂が蓄積して出来た深海の妖怪。《山田真吾》と《十二使徒》の呼び掛けで海底から姿を現し、東京を覆って津波を防ぐ（ノ）

カー

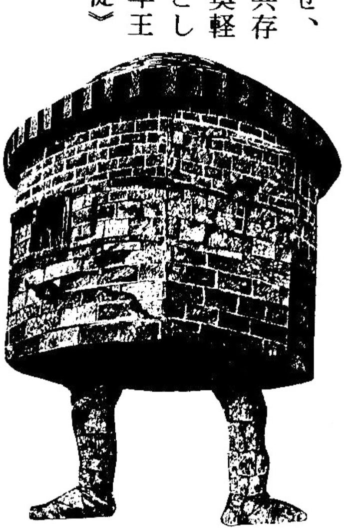
エジプトの魔獣。口から溶解液を吐き、《山田市》の住人を溶かして固め、《人間ピラミッド》を造る。千切れた肉片から再生し、増殖する。（新）

怪物

《天の岩戸》に封印されていた妖怪で、人間の生気を食べて大きくなる《油すまし》のペット。《魔物》と絡み合い《丸い物》になってしまう。（マ）

家獣

①人間を体内に住まわせ、その排泄物で果実を育て共存共栄をする謎の生物。《奥軽井沢》で《入らずの家》として使用されていたが《千年王国》建国の為、第六《使徒》となる。（千）



②三十四年前、《魚群》に腹部を食い破られ海底に沈んだが自己回復し、《ホテルロソン》の一部と化して《松下一郎》の復活を待ち続けていた。『世紀末大戦』では何も食べずに生きられ、無機物なのに生命のある聖獣と設定されている（世）

③《埋れ木真吾》の第八《使徒》。伸縮自在で飛行能力を持ち、《ヒッププレス》を得意技とする。アニメでは〈バゥー〉と名付けられ、喋れないという設定だったが原作では何度か喋っている。（新）

④バミューダ海峡で眠りについていたが、核戦争を未然に防ぐ為《山田真吾》に呼び出され、ソ連の輸送船を転覆させる。《霊波》をキャッチする能力があるらしい。（ノ）

ガハハ三人組

《東嶽大帝》の城にいる三体一組の《黒い悪魔》。何故か常に喜んでいる。（新）

紙の精

《サタン》がスケッチブックに描いた妖怪を実体化させたもの。描いた紙を燃やせば消える。（千）

カルマ

本来は人間に取り付く魔物だが、文明の発達した現代社会では車に取り付いた方が有利だと考え、中古車に取り付いて《ゴーストカー》になる。（新）

カン平

〈河童の三平〉の準主役。『マガジン』版第一話にゲスト出演。（マ）



鬼太郎

①幽霊族の末裔。《魔女》にそそのかされ、《妖怪群》を率いて復活した《悪魔くん》と《地獄の魔物》に戦いを挑む。（復）

②『マガジン』版と『ノストラダムス大予言』に各々ヒトコマずつゲスト出演している。（マ、ノ）

ギリゴギ

《ジュジュガシラ》を切り倒す為に送られて来たノコギリの《悪魔》。体の側面にある刃を高速回転させながら飛び回る。合体して巨大化する。（新）

倉ぼっこ

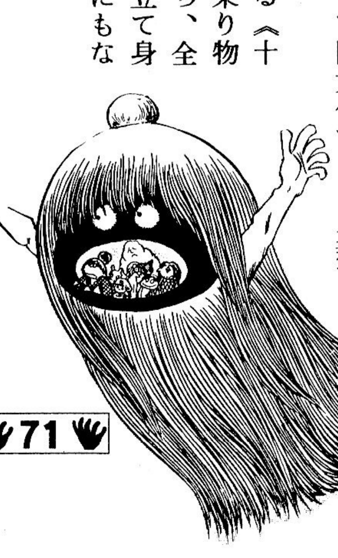
《山田真吾》に仕える《十二使徒》達が使用する乗り物の妖怪。飛行能力を持ち、全身の毛を針のように逆立て身を守る。核シェルターにもなる。（ノ）

クルーク

太古の昔、神に背いた罰として石像に変えられ、海底に封印された邪神。長い年月をかけて生物の進化を見つめ、《アンドリアス・ショイクゼリ》を手なづけて使役していた。（世）

黒い霧

地上に出た謎の妖怪。地獄の《エンマ》は、その正体を探るべく《天の岩戸》の封印を解き《油すまし》と《小豆とぎ》、そして《なんじゃもんや》を使って調査していた。（マ）

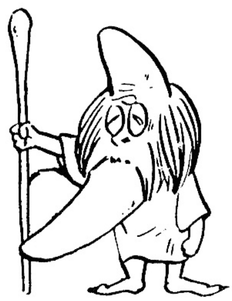


桂男

《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。月光を浴びることによってパワーを得て、幻覚を作り出す能力を持つ。（ノ）

月人

二万年前に地球へ飛来した月の住人。《百目》を殺してその皮を被り、《妖怪族》を復活させ《瀬戸の火車》を捜し求めていた。（マ）



月霊

復活した《松下一郎》が《灰怒羅》を足止めする為に召喚した《精霊》。実は幻覚の術である。（世）

校長先生

教育委員会に選ばれて、《埋れ木真吾》の小学校の《校長先生》となった《死者》。運動会は《地獄》で行うと計画する。（新）

コウモリ悪魔

《シーレン》の吐き出す気体から実態化し《山田真吾》達を襲う。空を飛び、刃物のような前歯（出歯）で噛み付く。（ノ）



こうもり猫

《埋れ木真吾》の第十二《使徒》。飛行能力と相手をおだてる能力、馬鹿にする能力（？）を持つ。「〜でやんす」と「よいしょ」が口癖。（新）

小鬼

《トン＝フーチン》の手下で、謎の楽隊。《うそぶく》と言う《死者》を復活させる術を使う。（新）

子なき

《鬼太郎》の仲間。《地獄の魔物》と戦う。（復）

ゴモラー

《東嶽大帝》の城にいる《黒い悪魔》。主に力仕事を任される雑用係。アフリカ出身。。（新）

ゴーストカー

《カルマ》に取り憑かれた《殺人自動車》。人間をひき殺し、自動車の世界を築こうとする。他の車と同化して雪達磨式に巨大化する。（新）

ゴーレム

砂と同化し、砂嵐や岩に変身する能力を持つ。人間界を滅ぼす為に《魔界》から来たらしいが、何者かに瓶に封印されていた。（新）

サシペレレ

変身能力を持つ《埋れ木真吾》の第十一《使徒》。体を高速回転させて竜巻を起こす。本来は一本足なのだが、途中で二本足に変更（規定の問題上）。（新）

サタン

①《東方の三賢人》に呼び出された《悪魔》。石油王《サタン》の先祖である。（貸、千、世）

②《地獄の四王子》の一人。《松下一郎》の復活を阻止すべく《水晶のピラミッド》を封印する。しかし計画は失敗に終わり、復活した《松下一郎》の抹殺を企て、《折竹首相》に協力を要請する。（世）

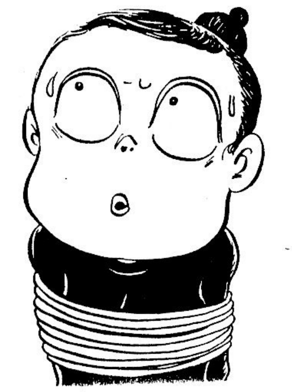
③《地獄の四天王》の一人。《悪魔界》を支配しようとする《シーレン》を倒すべく、《悪魔界軍団》を率いて攻め込むが、あっさり敗れて《シーレン》の軍門に下る。（ノ）

殺人自動車

夜な夜な人間を跳ね飛ばす無人自動車。（新）

サマリン

かつて日本に渡り、人間に《魔天力》を授けた《魔女》。《メフィスト二世》の母親であり、長年行方不明になっていたが、実は《東獄大帝》に捕らえられ、幽閉されていたのだった。（新）



山しょう

《東獄大帝》の城にいる中国の妖怪。（新）

シェキリロン

《地獄の四王子》の手下である《十二人の王子》の一人。《地球最大の蟹》に変身して《松下一郎》を襲うが、《家獣》に敗れ去る。巨大な鋏、口から出す目くらましの泡、それに目から発射する怪光線が武器。（世）

シェルハビロン

《町田》と《灰怒羅》を抹殺する為に《地獄》から来た魔犬。子犬に化け、二人の不意を突こうとするが《灰怒羅》に見破られる。炎を吸引する事ができる。（世）

地獄の四王子

地獄を支配する《サタン》《ベリアル》《ルシファー》《レヴィアタン》の四人の魔神。《松下一郎》抹殺を企てる。（世）

地獄の四天王

地獄を支配する《サタン》《ベリアル》《ルシファー》《ブエル》の四人の魔神。《シーレン》を倒す為《山田真吾》と手を組むが、あっさり敗れて《シーレン》の手先となる。（ノ）

地獄の魔物

永い間《地獄》で好き勝手に暮らしていたが《悪魔くん》に統治され、配下になる。（復）

死者

《小鬼》の《うそぶく》という能力で蘇生した骸骨達。《H市》を占拠する。（新）

死長

《死者》達が、選挙で選んだ《H市》の市長（新）

十二人の王子

《地獄の四王子》の手下。（四）

ジュジュガシラ

地底に逆さまに生え、地上に根を張る聖樹。悪い《霊波》を吸収して花を咲かせ、《霊波》の影響で凶暴化した人間を元に戻す花粉を散らす。漢字で表記すると《樹々頭》か？（新）

ジュニア

《二代目ファウスト》は、《メフィスト二世》の事をこう呼ぶ。（新）

シーレン

三千年前、人間界を征服しようとした罰で《モーゼの棺》に封印され、地中海に沈められていた邪神。十六世紀に《死神伯爵》の手によって復活し、その後約三世紀に渡り歴史を裏で操っていた。炎を吐く、地震を引き起こす、人間を《イモリ》に変える、魂を抜き取る、生気を吸い取る、分身や《こうもり悪魔》を造り出す等、多種多様の魔術を使う。（ノ）

人工精霊

《山本魔州》が操る《エレメンタル》で、《風の魔術》を使う。《毛呂山》を襲うが敗れ、死後《ヒトダマ》となって《毛呂山》を偵察する。（世）

ズー

人間を豚に変える能力を持つヒマラヤの魔人。《埋れ木真吾》に取り憑き、世界征服を企てる。（新）

水魔

《シャレコウベ男爵》の抹殺を命じられた《東嶽大帝》の刺客。軟体性で、どんな隙間からでも侵入して体を膨張させ相手を押し潰す。強力な胃液を持ち、食べた物を一瞬にして消化する。口から水を吐くが、特に溶解能力等は無い。（新）

砂かけ

《鬼太郎》の仲間。《地獄の魔物》と戦う。（復）

すねこすり

《百目》の《霊波》によって復活した二百年前の妖怪。《百目》の命令に忠実に従うが、これと言った能力は持たない。大食漢。（マ）

スフィンクス

①エジプトにある石像だが実は《サタン》の親分。《サタン》を倒した《松下一郎》を葬り去るべく日本に向かうが、途中で《松下一郎》が射殺された為フィリピン沖で引き返す。（貸）

②《松下一郎》に捕らえられた《サタン》を救出すべく日本へ上陸し、東京を破壊するが《サタン》を解放する事を条件にエジプトへ帰る。口の中に本体がいる。（千）



生気を食べる犬

《油すまし》が飼っている《怪物》の事を、《もののけ》はこう呼ぶ。（マ）

精霊

①《モス》の手下。杵のような姿をした怪奇植物。（新）

②南太平洋諸島の島々に住む《ムー大陸》の子孫。《アロンの杖》にエネルギーを送り込む。（ノ）

象人

《埋れ木真吾》の第九《使徒》。体格を利用した体当たりを得意とする。その鼻は伸縮自在で、水を噴き出す能力を持つ。インド出身。（新）

双頭の巨人

《リリス》が魔力で杖を変身させたもの。目から光線を発射する。（世）

そろばんぼうず
《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。常に算盤を持ち歩き、損得計算ばかりしている。《百目の子供》と仲がよい。（ノ）

大気の生霊
《悪魔》を呼び出すには、これの力が必要である。（貸、千、マ）

地下の住人
《妖気機関車》を破壊しようとする者を妨害する謎の骸骨。《妖怪かび》に弱い。（新）

地球最大の蟹
《シェキリロン》が変身した姿。復活した《家獣》に敗れ去る。（世）

千草
百年前に十三歳で死んだ少女。《百目》の《霊波》で蘇生したが、《山田真吾》を助けた為に《霊波》を遮断され骨に戻る。（マ）



地底人
地底に住む人々で、光りごけを食べて生きている。《エルフ》に襲われ、《埋れ木真吾》に助けを求めて地上へ姿を現す。（新）

鳥人
当初、《山田真吾》の《使徒》として登場していた《悪魔》。第四話で姿を消す。その姿を正面から見た者は誰もいない。（新）

使い魔
《ベルゼブブ》に洗脳され、《魔女》と化した《お花》。ゲテモノ食いである。（千）

ツタンガーメン
一万年前の古代魔法界の大物。予知能力を持ち、一万年後の日本に最高の頭脳を持つ天才少年が現れる事を知り、その頭脳を移植すべく自らミイラとなって一万年後に蘇るように魔法をかけていた。《カー》を操る。（新）

土人間
子供と土から造られた偽《悪魔くん》。（新）

つらら女
《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。手から冷気を発して空気中の水分を凍らせ、大量のつららに変えて相手を攻撃する。（ノ）

鉄鼠
《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。鼠を操り、自らも数匹の鼠に変身する能力を持つ。（ノ）

東嶽大帝
《黒い悪魔》を操って、世界征服を企む魔王。生物を凶暴化させる悪い《霊波》を発する。《メフィスト二世》の母親である《サマリン》を幽閉していた。その正体は《初代悪魔くん》の召し使い《ムラーゴ》だった。（新）



土精

《山田真吾》が《悪魔》を呼び出す百二回目の実験で呼び出してしまった巨大な手。《ファウスト博士》が言うには、何でもないらしい。（マ）

トミー

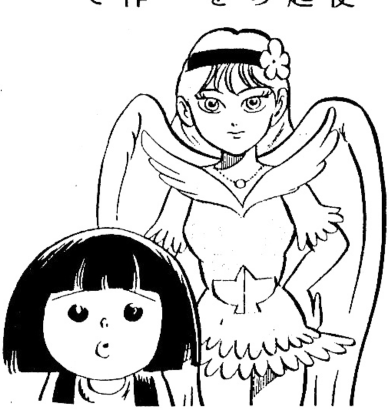
その昔、《サマリン》に求婚して断られたと言う悲しい過去を持つ、イギリス出身の《悪魔》。頭部だけでも活動可能で、人間に寄生する能力を持つ。《魔天道》の秘密を探るが《ミコ》にあっさり撃退される。しかしその後《魔天道》のパワーを吸収し、巨大化する。（新）

鳥乙女

《埋れ木真吾》の第十《使徒》。羽をはばたかせ風を起こす。《イースター島》から《モアイ》を呼び出す能力を持つ。アニメでは〈ナスカ〉と名付けられていたが、原作では《鳥乙女》で統一されている。（新）

トン＝フーチン

中国から来た《東嶽大帝》の使い。《大口童子》や《死者》を使い《埋れ木真吾》達を苦しめる。「あの世野球チームの四番バッター」と言いつつ、蹴り技を披露する等、言う事は支離滅裂でいい加減。《死者》である為、完全に倒す事は不可能。《埋れ木真吾》に謎の《石》を渡すが、その目的は不明。（新）



なんじゃもんじゃ

《丸い物》から《油すまし》が造り出した妖怪。原爆でも壊れない丈夫な本体と、ヘリコプターのような機動力、しなやかな触手を備えている。（マ）

No.1メフィスト

《メフィスト二世》は自分の父親の事をこう呼ぶ。（新）

ぬりかべ

《鬼太郎》の仲間。《地獄の魔物》と戦う。（復）

ねずみ男

①《魔女》と手を組み、《鬼太郎》と《悪魔くん》が戦うように仕掛ける。（復）

②『世紀末大戦』では、《レッドマフラー部隊》の一員の役と、通行人の役で登場している。（世）

バーゲスト

《魔界》の犬の王。人間を滅ぼし、犬の楽園を造ろうと企てる。《石化光線》で相手を石に変える能力を持つ。（新）

鼻モグラ

子供達を《地下の国》に運ぶ。鼻から《老化ガス》を吐き、血を吸う。（新）

ピクシー

双子の子鬼で、最終回間際までその存在が忘れ去られていた《埋れ木真吾》の第五《使徒》。（新）



ビチゴン

二千年前に《天神峠の底無し穴》で冬眠に入った怪獣。村人達が豚の糞を大量に流し込んだ為に復活。口から糞を発射し、何故か《県庁》や都心を襲う。（マ）

ヒトガマ

当初、《山田真吾》の《使徒》として登場していた《悪魔》。かなり台詞も多く、重要な役割をしていたが第九話から姿を消す。

百目

その名の通り体中に目のある妖怪。目玉を飛ばして攻撃したり、偵察したりする。霧を噴射したり《死者》を復活させる能力を持ち《瀬戸の火車》を捜し求める。（マ）

百目の子供

①《月人》に父親を殺され、みなしごになった為に《山田真吾》の家の《犬小屋》に住んでいる妖怪の子供。勉強して偉くなりたいと願い、小学校へ通うが授業中は居眠りばかりしている。何故か《山田道子》になつかれている。最後は《魔女》の養子になり、《魔法陣》の中へ連れ去られる。（マ）

②《埋れ木真吾》の第六《使徒》。「〜だもーん」が口癖。マッサージが得意。（新）





③《山田真吾》の《使徒》。《桂男》と共に十六世紀のフランスへ飛び、《モーゼの柩》を運んでくる。《そろばん坊主》と仲が良い。（ノ）

ヴィイ

千人の子供の魂をエネルギーに走る《妖気機関車》を発掘する為、子供達を誘拐する。（新）

ブエル

《地獄の四天王》の一人。《悪魔界》を支配しようとする《シーレン》を倒すべく、《悪魔界軍団》を率いて攻め込むが、あっさり敗れて《シーレン》の軍門に下る。

フォービ

《火気》を操る魔物。真っ赤に焼けた糞を飛ばして攻撃してくる。ピンチになるとバリアを張って身を守る。《火事くん》に《火気》を取り憑かせていたが、その目的は不明。（新）

不吉虫

鉄を食べて同化し、巨大化する妖虫。炎に強いが、海水を浴びると一瞬にして錆びてしまう。（新）

ふくろう女

三千年前に《奥軽井沢》で生涯を終えた魔法使い。正確な《魔法陣》の造り方を知る世界で唯一人の人物（？）である。《ふくろう》の《松下一郎》の肉体に宿り復活し、第二《使徒》になる（千）



プルトン

《シーレン》がプルトニウムから造り出した人工妖怪。群れをなして飛来し、生物の生気や電気等のエネルギーを吸い取って増殖する。通常の人間には姿が見えない。（ノ）

ベリアル

①《地獄の四王子》の一人。《松下一郎》抹殺を失敗した要因を、子供だからと言って甘く見過ぎていたと分析する。推測で物事を言う癖がある。（世）

②《地獄の四天王》の一人。《悪魔界》を支配しようとする《シーレン》を倒すべく、《悪魔界軍団》を率いて攻め込むが、あっさり敗れて《シーレン》の軍門に下る。（ノ）

ベルゼブブ

《松下一郎》が呼び出した下等な《悪魔》で、魔界のハエみたいなものらしい。人間の女性を《使い魔》に仕立て上げ、手先にする。不死の肉体を持つが腕力は無く《ソロモンの笛》に弱い為に渋々第五《使徒》になる。しかし裏切り（と、言うより最初から隙を見て逃げる腹積もりだった）《佐藤》をそそのかして《松下一郎》を《警官隊》に引き渡させる。その後、持ち前の詐欺能力で大金持ちになる。地下から仲間を呼び出す事ができるらしいが、何故か本人は嫌がっていた。（千）



ペレ

気性の荒い女神で、オファ島に住む《キラウェイ火山》の《精霊》である《アイ・ラファ》を追い出し、自分がその火山の《精霊》となる。嫉妬深く《アイ・ラファ》が自分の許可を得ずに魔力を使うと怒って火山を噴火させる。（ノ）

ボスエルフ

地底の魔獣《エルフ》の親玉。《地底人》を襲って食べその王女に結婚を迫る。《超音波》で地中を突き進み、奇襲攻撃を仕掛けてくる。子分の《エルフ》を体内に取り込んで巨大化する。（新）

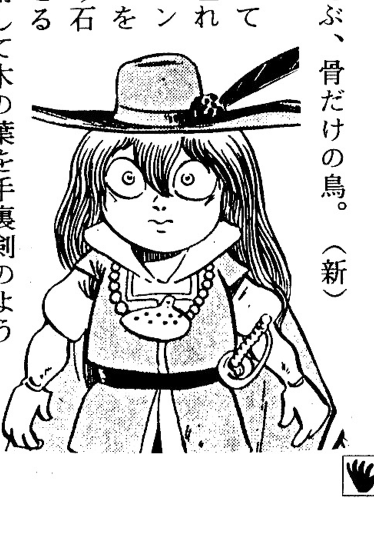


骨鳥

《魔界》へ死人の魂を運ぶ、骨だけの鳥。（新）

魔王子

人間の子供を原材料として作られた《土人間》。《埋れ木真吾》に扮し、《ソロモンの笛》と《見えない学校》を奪う。相手に息を吹きかけ石化させる。竜巻を発生させる能力もあり、その力を利用して木の葉を手裏剣のように飛ばす。水に触れると溶けてしまう。ちなみに《魔王子》とは、《東嶽大帝》の子に与えられる称号である。（新）



魔界の植物

《アンドリエ》の命令によって動く、奇怪な植物。（ノ）

魔女

①《メフィスト》の親類でかなりの実力者。何故か《百目の子供》を気に入り、養子にして《魔界》へ連れ去ってしまう。（マ）

②十六世紀フランスの《ブローニュの森》に住んでいる。《魔女》の割になんかいい人。（ノ）

③《鬼太郎》をそそのかし、《悪魔くん》と戦わせる。ナルシスト。（復）



魔女の群れ

人類誕生の時から、この世が常に不幸と狂乱の中にある事を願っている。《自衛隊》と《鬼太郎》をそそのかして《悪魔くん》が率いる《地獄の魔物》と戦わせ、世の中を混乱させる。（復）

魔物

突如出現した《怪物》を倒す為《山田真吾》が地下から呼び出した《魔物》。しかし《怪物》と絡み合い、一個の《丸い物》になってしまう。伸縮自在らしい。（マ）



豆幽霊

《幽子》の従えている小さな《幽霊》。主に偵察に使役される。（新）

ミカエル

《山田真吾》のクラスに転入して来た謎の美少女。その正体は魔界のプリンセス《アンドリエ》だった。人を魅了する能力を持ち《クラスメート》を人質にする。（ノ）



ムラーゴ

《東嶽大帝》の正体。《初代悪魔くん》の召し使いで、世界を統一させる事と世界征服を取り違えて行動していた。（新）

目玉親父

《鬼太郎》の父親。（復）

目玉椰子

《サシペレレ》の親類。目玉を相手の頭上に落として寄生させ、養分を吸って仲間を増やす。（新）

メフィスト

《山田真吾》が《ファウスト博士》の力を借りて呼び出した《悪魔》。怠け者で金に汚いが、かなりの実力者で多種多様の魔術を使う。《ソロモンの笛》に弱く、笛を持つ者の命令に従う。〈鉄面皮〉の持ち主で皮膚は鉄のように堅いが、ハートはいたってデリケート（らしい）。泳げないのは、その為であろうか。重度の《カフェイン》中毒。（マ、ノ）

米府椅子徒

《埋れ木真吾》の家に下宿する事になった《メフィスト二世》が用いた、世を忍ぶ仮の名前。（新）

メフィスト二世

《メフィスト》の息子。腰痛で動けない父親に代わり、《魔法陣》から出現し《埋れ木真吾》と契約を結んで第一《使徒》となる。父親譲りの強力な《魔力》を持つ。「面倒臭い」、「馬鹿馬鹿しい」が口癖だが以外と努力家。性格は単純。ラーメンが大好物である（新）

メフィスト老

《魔界》の実力者。腰を痛め引退していたが、息子と奥さんのピンチには駆けつけた。『マガジン』版と違い、人当たりのいい老紳士に設定されている。大好物はやはり《チョコレート》。（新）

亡者

《パコダ》が《悪魔》を呼び出そうとして失敗し、千体も引っ張り出してしまったあの世の住人。普通の人間にはその姿は見えない。（マ）

モクゴロー

《ジュジュガシラ》の使いで《埋れ木真吾》を迎えに来た《霊棍棒》の一員。何故か江戸弁。（新）

モス

死者の口から飛び立つ妖蝶の化身。無意味に蝶を捕獲する子供達を戒める為、美少女に化けて子供の魂を吸い取り、器物に宿らせていた。（新）

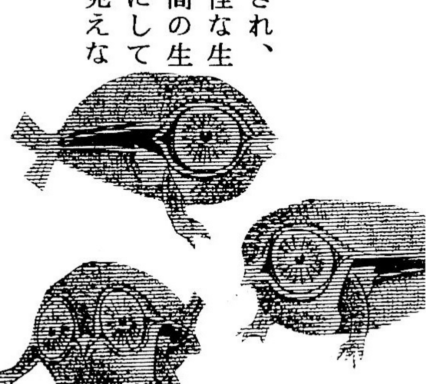


もののけ

《天の岩戸》に封印され、数千年も生きていた奇怪な生物。集団で行動し、人間の生気を吸い取ってミイラにしてしまう。人間には姿が見えない。夜行性。（マ）

幽子

《埋れ木真吾》の第四《使徒》。《豆幽霊》を従え魔力を吸い取る《照魔鏡》を持つ。性格はアニメの設定とは逆に積極的でヤキモチヤキ。《幽霊》だけあって押し潰されても平気。（新）



幽霊

《松下一郎》の秘密を知ったものが閉じ込められる《入らずの家》に住んでいた先住者。《松下一郎》の第十《使徒》となる。《幽霊》と言っても足があり、飛行能力や瞬間移動の能力が無く生物っぽいので、恐らく《鬼太郎》の親類ではないだろうか？（千）

ユルグ

《埋れ木真吾》の第二《使徒》。アフリカ出身の狐神で、鼻が利く。穴掘りが得意。本編では影が薄い。（新）

妖怪群

《アンドリエ》の部下だったが、《ダニエル》に洗脳され《シーレン》の部下になる。よく見ると『マガジン』版で『百目』が率いていた《妖怪族》と同じメンツ。（ノ）

妖怪軍団

《鬼太郎》が率いる日本の妖怪達。《地獄の魔物》と戦う。（復）

妖怪族

《百目》の《霊波》によって復活した二百年前の妖怪達。《百目》の命令に忠実に従うが、これと言った能力は持たない。（マ）

妖虎

《埋れ木真吾》の第七《使徒》。話し合いと駆け引きが上手く、いつも敵との交渉を任されている。虎に変身すると思っている人も多いようだが、実は老人の姿が変身後であり、虎の姿が本体である。（新）

妖婆

《幻の館》の主。美女に化け、貸別荘の偽広告で人間をおびき寄せ魂を食べていた。《肖像画》の中に出入りする事ができ、《メフィスト》と互角に渡り合う程の実力者。一部の公式資料では〈西洋の鬼婆々〉或いは〈油絵妖怪〉と紹介されているが、原作では名称未設定。（マ）



夜雀

《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。一体々々は非力だが、仲間を呼び出して集団で攻撃する。霊体で体を保護し、あらゆる攻撃から身を守る。（ノ）

ヨナルデパズトーリ

《埋れ木真吾》の第三《使徒》。豊富な知識と経験を持つ《魔界》の学者、と言う設定のはずだが、原作ではやたら頭突きや体当たりといった体を張った攻撃ばかりしていた。地下の住人に触れると増殖する《妖怪かび》と、瞬間移動の能力を持つ。メキシコ出身。（新）

ヨンノ

当初、《山田真吾》の《使徒》として登場していた《悪魔》。第三話で姿を消す。韓国の出身。（新）

雷獣

《山田真吾》に仕える《十二使徒》の一人。雨雲を呼び、雷を伴う豪雨を発生させる能力を持つ。（ノ）

ルシファー

①《地獄の四王子》の一人。《シェルハビロン》に《町田》と《灰怒羅》抹殺を命じる。（世）

②《地獄の四天王》の一人。《悪魔界》を支配しようとする《シーレン》を倒すべく、《悪魔界軍団》を率いて攻め込むが、あっさり敗れて《シーレン》の軍門に下る。（ノ）

霊棍棒

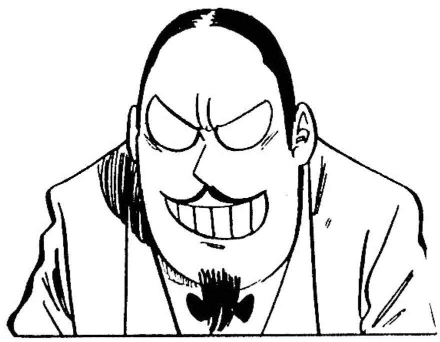
《ジュジュガシラ》の使い。伸縮自在だが、仲間同士で《合体》する事も出来る。（新）

レヴィアタン

《地獄の四王子》の一人。《松下一郎》を直接抹殺しようとしても無駄だと気付き、《使徒》から始末する事を提案する。（世）

ロソン

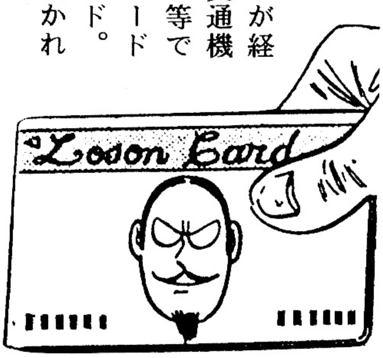
三十七年前に《松下一郎》に呼び出され、そのまま地上に居着いた下等な《悪魔》。持ち前の話術と演技力で《ロソンコンツェルン》を設立し日本経済の三分の一を握る大金持ちになっていた。なんとか《松下一郎》から逃れようとする。（世）



アイテム編

I・Dカード

《ロソンコンツェルン》が経営するビルや、公共の交通機関、ホテル、レストラン等で使用でき、キャッシュカードとしても使える万能カード。《ロソン》の肖像画が描かれている。（世）



悪魔封じのつぼ

《トン＝フーチン》が《メフィスト二世》を人質にした際、逃げないように用いたアイテム。本編未登場だが、後に《ヨナルテパズトーリ》が《バーゲスト》の封印に使用した壷がそれであろうか？（新）

悪魔封じのビニール

《二代目ファウスト》が《カルマ》を封印する為に用いたアイテム。《六芒星》が描かれている。（新）

アニマムディの魔鏡

《毛呂山》が持つ、《精霊》の象徴武器。《人工精霊》の魔術を封じる。（世）

アロンの杖

ユダヤに伝わる《三種の神器》の一つ。《ムー大陸》の《精霊》のパワーを集め、強力な力を発する。外に向かう魔力を逆流させる事もできる。（ノ）



イエジラ（創造）の書

①《松下一郎》が《悪魔》を呼び出す方法が記されていると睨んでいる古文書。かつてエジプトのツタンカーソン王の墓から五頁分、ソロモン王の墓から六十九頁分発掘され、残りはインドの古代寺院の地下にタブレット（粘土板。粘土板の誤植か）に刻まれ保管されていたが、現在は一頁も残されていない。しかし、実は《奥軽井沢》の何処かに全文が刻まれたタブレットがあるらしい。（貸）

②『千年王国』版では、エジプトのツタンカーメン王の墓から五頁分、ソロモン王の墓から六十五頁分ほど発掘されたと改正されている。また、このタブレット（粘土板）は《ヤモリビト》にしか解読できないらしい。（千）

③『マガジン』版では《悪魔》を呼び出す方法が記されているが、間違いであるとされている。（マ）

石

《トン＝フーチン》が《埋れ木真吾》に渡した、夜になると音の鳴る《石》。その目的や《石》の機能は不明。（新）

異次元移動装置

異次元を移動する事ができると言う、名前のままの装置。《家獣》に設置してある。（新）

石地蔵

何者かの《念力》によって操られ、《松下一郎》を大群で襲う。操っていたのが誰なのかは不明。（千）

偉大にして強力な海の幽霊

《ファウスト博士》の著作。《松下一郎》は、独学でこの研究書に匹敵する原理を発見する。『世紀末大戦』では〈偉大なる海の精霊〉と表記されている。

生命〈いのち〉玉

《見えない学校》の頂頭部に設置してある謎の球体で、《初代悪魔くん》の魂が宿っている。（新）

占い杖

①人間の力を加える事なく天然の力で魔法と同じ力を発揮する不思議な杖。持ち主の求めるモノがある方角へ、自動的に移動する能力を持つ。《松下一郎》の第四《使徒》になる。（千）



②様々な《霊並》をキャッチする能力を持ち、《家獣》復活をいち早く察知する。（世）

③『ノストラダムス大予言』では、《山田真吾》が《アイ・ラファ》を探す際に使用している。（ノ）

エゼキエルの書

《旧約聖書》に記されている予言。《ダニエル》はこの予言にしたがって《ハルマゲドン》を起こそうとした。（ノ）

エネルギー集積装置

《シーレン》をパワーアップさせる為、《魔界》と人間界の間にに製造された《グランンド・クロス》のエネルギーを集積する装置。（ノ）

エホバの鏡

ユダヤに伝わる《三種の神器》の一つ。未来を映し出す機能がある。（ノ）



エンマ

《地獄》の大王だが、その正体は《仁王》の操縦するロボットだった。（マ）

黄金のかぎ

《シャレコウベ男爵》の館にある、《魔壊砲》を封印している鍵。（新）

お守り

《こうもり猫》特製の《お守り》。三角の形をした物は煙り玉、四角いのは爆弾になる。（新）

怪物と魔物の玉

《怪物》と《魔物》が絡みあってできた玉。地中に埋め、血を与える事によって《なんじゃもんじゃ》へと成長する。（マ）

核兵器
一瞬にして増大する核のエネルギーを利用した、殺人兵器。（ノ）

気球
《百目》が《火車の鍵》を運び出す時に用いた乗り物。目玉が描かれている。（マ）



希望酒
ミネラルの多いヒマラヤの水に、百年に一度咲く竹の花を集めて造った酒。と、《ベルゼブブ》が言っていたが、本当かどうかはわからない。（千）

キャラメル
《琵琶法師》が、《ヤモリビト》の顔が変貌して絶望している《佐藤》にあげたお菓子。（貸、千）

旧約聖書
〈キリスト教〉ができる以前に成立した聖典。本来は〈ユダヤ教〉の聖典。（ノ）

ギルガメッシュ叙事詩
古代メソポタミアの遺跡から発掘された古文書で、《グランド・クロス》による大異変の様子が記されている。（ノ）

釘
《魔法陣》を造る際に使用する、恐ろしい刑罰で処せられた罪人の額に突き刺した《釘》。（貸、千）

草
ただの枯れ草。しかし《パコダ》はその機能を研究し、自在に操る術を身に付けている。（マ）

鎖鎌
《幻の館》の《妖婆》が使用する武器。高速回転させ風を起こす事もできる。（マ）

軍事用潜水服
《毛呂山》がどこからともなく仕入れて来た深海用の潜水服。（世）

契約書
《悪魔》との契約に用いる証明書。二通作製し《悪魔》と契約者が一枚ずつ持つ。血印で判をしなければ効力を発揮しない。（貸、千、マ）

幻覚弾
《地獄の魔物》が使用する、蜃気楼を発生させる兵器。（復）

コーヒー
①《松下一郎》が、一息就く際に飲む飲み物。七歳にして《カフェイン》中毒か？（千、世）
②《メフィスト》のエネルギー源である《カフェイン》が大量に含まれている飲み物。（マ、ノ）

香油
《魔法のホウキ》を製造する時に用いる材料。成分は不明。（千）

古式ギター
《ファウスト博士》は、《琵琶寺の琵琶》をこう呼ぶ。（貸、千）

古式ソロモンの笛
《メフィスト老》と契約する際に用いるアイテムで、効力は《ソロモンの笛》と同じ。横笛らしい。（新）

さかき

《しめなわ》とペアで頭に装着する事により、《妖怪民族》の《霊波》を遮断する事ができる。（マ）

サタン石油の小切手

①《松下一郎》に敗れた《サタン》が命と引き換えに支払った九千万円の小切手。後に《悪魔》との契約に使用される。（貸）

②『千年王国』版では九億円とされている。（千）

三千万円

①《佐藤》が警官隊に《松下一郎》を売り渡した金額。《ユダ》が《キリスト》を金貨三十枚で官憲に売り渡した事に由来する。（貸、千）

②『世紀末対戦』では〈三億円〉とされている。

しめなわ

《さかき》とペアで頭に装着する事により《妖怪民族》の《霊波》を遮断する事ができる。（マ）



弱音器

《灰怒羅》が発明した《アンドリアス》が嫌う《音波》を発生させる装置。（世）

邪神像

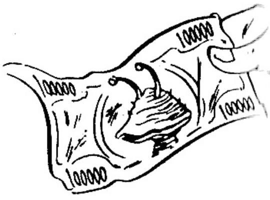
《クルーク》が封印されている像。日本海溝の海底にある。（世）

銃

《松下一郎》が使用する、闇を吸い取って一気に放出するアイテム。《鏡》の誤植か。（世）

十万円札

一九九七年の日本で使用されている通貨。〈カネゴン〉が描かれている。（世）



十戒石

ユダヤに伝わる《三種の神器》の一つ。奇跡を起こす力があり、かつて《モーゼ》が海を二つに割ったのも、原爆が発明されたのもこの石の力である。（ノ）

術士アブラメリンの聖なる魔術

《毛呂山》が所持する伝説の魔術書。《死者復活》の魔法等が記されている。（世）

肖像画

①《幻の館》にある、《妖婆》の宿る油絵。（マ）

②何故か《シャレコウベ男爵》の館にも同じ物がある。（新）



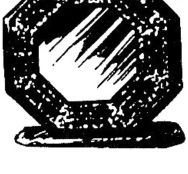
情報屋の左耳

百年に一人ぐらいしか生まれない《五王星》の日に生まれた《情報屋の左耳》は、《瀬戸の火車》を探す力を秘めているが、その理由は未詳。（マ）

照魔鏡

①《幽子》が持つアイテムで、相手のエネルギーを吸い取ったり、跳ね返す能力を持つ。（新）

②《視鬼魅》が自らの肉体を封印していた鏡。人間の本性を映し出し、結界により守られている。（世）



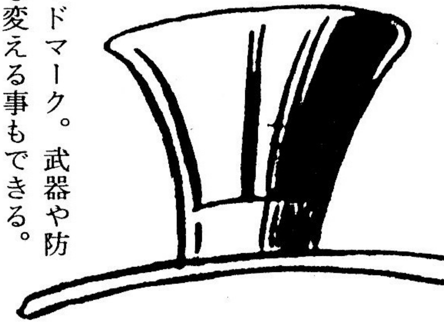
諸世紀

《ノストラダムス》が書き記した詩集。全十二巻、各巻百編ずつの難解な四行詩。（ノ）

シルクハット

①《メフィスト》のトレードマーク。魔力の根源でもあり、これを取られると実力を十分に発揮できなくなる。また、《メフィスト》以外の者が被る事によってもある程度の魔力を得る事もできる。武器としても使用。（マ、ノ）

②《メフィスト二世》のトレードマーク。武器や防具にもなり、非常時には魂を移し変える事もできる。（新）



神代記

山田家に伝わる古文書。《ムー大陸》の秘密と《山田真吾》のルーツが記されている。（ノ）

人面草のお茶

《山田真吾》達が、十六世紀のフランスに住む《魔女》の家を訪れた時に出されたお茶。（ノ）

睡眠線香

睡眠促進の効力を持つ線香。この線香の煙を吸って眠った者は、皆同じ夢を見る。（新）

砂の入ったビン

《ゴーレム》の本体が入っていたビン。封印されていたのか、単にビンに潜んでいたのかは不明。（新）

石像

《奥軽井沢》にある四体の巨大な神将像。《松下一郎》は《地水火風》を利用してこれを操り、《佐藤》を《ヤモリビト》の墓へ誘い込む。（貸、千）

瀬戸の火車

二万年前、《月人》が地球に来た時に乗って来たロケット。（マ）

仙果

不老不死の力を秘めた果物。《蓬莱島》に実っている。（貸、千）

ゾハル（光輝）の書

①「地球上に最も重要なものが隠されている。それは、数千年後（『世紀末大戦』では数百年後）東方の島国に《神童》が生まれるまで隠されるであろう」と言う予言を書き記した古書。（貸、千、世、ノ）

②『マガジン』版では《悪魔》を呼び出す方法が記されているが、間違いであるとされている。（マ）

ソロモン玉

《使徒》を急いで呼び出す時に用いるアイテム。地面に叩きつける事によって魔法陣を作り出す。ただし《ソロモン玉》で呼ばれた《使徒》はエネルギーを膨大に使う為、ばてるのが早い。（新）

ソロモンの笛

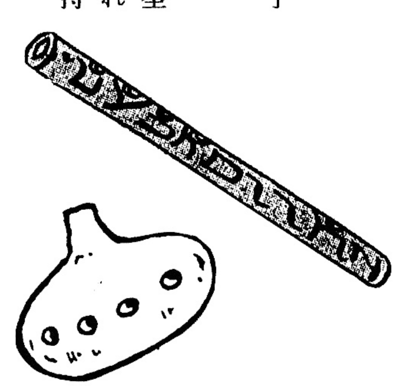
①《悪魔》と契約する際に用いるアイテム。この笛の音を聞くと《悪魔》は苦しみ出す。また、かなりの距離があっても聞こえるらしい。本編中では語られていないが、《悪魔》がこの笛に触れると激しい電撃が

流れるという裏設定がある。『貸本』版及び『千年王国』版と、『ノストラダムス大予言』は横笛型である。（貸、千、ノ）

②『世紀末大戦』も横笛型だが、《八大仙人》に取られた笛なのに《毛呂山》が所持していたのは謎。（世）

③『マガジン』版では第一話のみ縦笛型で、二話以降ではオカリナの形をしている。また、《ファウスト博士》の魂が宿っているという設定もあった。（マ）

④『最新版』もオカリナ型で、《悪魔》を苦しめる他にもメロディによって様々な機能があり、《使徒》を呼び出す《ソロモン玉》が付いていると設定されていた。（新）



ダイヤ

《ファウスト博士》が、ペルシャの遺跡で拾った宝石。《琵琶法師》に手渡される。（貸、千）

ダイヤモンド

《サタン》が、ピンチに陥った時に逃げ込む避難場所。こちらから手だしできない代わり、敵が去るまで外に出られないというデメリットもある。（千）

ダニエル書

《旧約聖書》に記されている予言。《ダニエル》はこの予言に従い行動していた。（ノ）

タロットカード

アニメ版では定番だったが、原作ではあまり登場しないアイテム。（新）

地底人の乗り物

《地底人》が、地上に出る時に使う乗り物。（新）

チョコレート

《メフィスト》の大好物であり、活動力の源でもある。いわば〈ド○えもん〉のドラ焼きのようなもの。（マ）

杖

《リリス》の武器。《双頭の巨人》に変身する。

壷

《小豆とぎ》が持つ魔法の壷。口の辺りに触れたものを吸引する。（マ）

鉄びし

鋭い刺のついた忍者の武器で、地面に撒いて相手を足止めする時に使用する。《埋れ木真吾》達はこれを《殺人自動車》の動きを封じるのに使用した。（新）

テレパシー電話

テレパシーを利用した携帯電話。クリップの形をしており、耳に挟んで使用する。（新）

電気おまもり

《松下一郎》の発明品。スイッチを入れた者を自動的に電撃で保護する。非売品。（貸、千）

天空船ノア

《ダニエル》が発明した宇宙船。《アロンの杖》のパワーで破壊される。（ノ）

特別の通行手形
《神界》へ行く為に必要な通行手形。《八仙人》が所持している。（ノ）

においでかかれた本
通称〈犬の本〉。犬にしか理解できない内容の本だが、そこには《バーゲスト》を呼び出す方法が記されている。（新）

にわとりのとさか
《妖怪民族》が《霊波》を発生させる時に用いるアイテム。（マ）

人間の耳
《妖怪民族》が《霊波》を発生させる時に用いるアイテム。（マ）

念力遮断機
《松下一郎》が発明した装置。《念力》によって操られている物体に対し、その《念力》を遮断する電波を発する。非売品。（千）

ノアの洪水を目撃した人間
一七二六年に《ヨハネス・ヤコープ・ショイフツァー》が出版した本。ドイツのコンスタンス湖畔で発見された山椒魚の化石を〈ノアの洪水で溺死した人々〉だと説いた本。（世）

バロターピノール
物体を縮めて簡単な構造に変え、小さな玉にしてしまう物質。元に戻すには塩水に浸けるしかない。《小豆とぎ》が持つ《壷》に入っている。（マ）

万能杖
①《メフィスト》の使用する武器。〈実写版〉ではおなじみのアイテムだが、原作ではあまり使用していない。（マ）

②『ノストラダムス大予言』では、電撃を発する他《ダニエル》を救助する際にロープのようにして使用している。（ノ）

万有吸引雲
《八仙人》の操る、エネルギーを吸い取る雲。ソ連軍のジェット戦闘機を空中分解させる。（千）

火車の鍵
《瀬戸の火車》を動かす為に必要な鍵。古代釜跡の底にある（マ）

非常用ガム
①風船ガムのように膨らませ、その中に入る事によって身体を保護し、浮遊して危険を回避できるという便利なアイテム。ただ、先端の鋭い物に触れると破裂するので要注意。（千）

②『ノストラダムス大予言』で使用していたものは『千年王国』版のものより弾力も大きさも強力なようである。（ノ）



ヒトダマ
①《フラン・ネール》が背中に飼っていて、霊魂を取り除く手術に用いる。セイロン産。（貸、千）

②《パコダ》が背中に飼っていて、その浮力を利用して空を飛んだり、相手を襲わせたりする。（マ）

③《人工精霊》の屍から発生した〈霊的テレビ〉。《山本魔州》が偵察用に使用する。（世）

④《死神伯爵》が偵察に使用する不可思議な物体。（ノ）

百目の手紙

《百目》が《情報屋》に差し出した手紙。手紙というより脅迫状。（マ）

琵琶寺の琵琶

《山田政夫》の父親である《琵琶法師》が奏でる楽器。《ファウスト博士》風に言えば《古式ギター》。（貸、千）

ファイルA1

三十四年前の《松下一郎》事件に関する資料。表向きは処分された事になっていたが、実は歴代の《アメリカ大統領》の間に受け継がれていた。（世）

ふろしきマント

《埋れ木真吾》が《二代目ファウスト》から授かった唐草模様の風呂敷。アラビアの空飛ぶ絨毯の布切れでできている。（新）



ベランドナ草

《魔法のホウキ》を製造する際に使用する薬草で、物体に浮力を持たせる成分が含まれている。ヒマラヤに群生しているらしい。（千）

紡績突起

クモの腹部にある糸を造る器官。《サタン》は長年の修行で、この器官を自らの尻につけていた。（貸、千）

魔壊砲

《シャレコウベ男爵》が発明した《黒い悪魔》を撃退する兵器。（新）

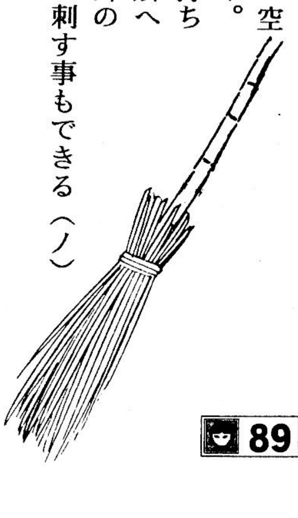


魔眼スクリーン

《見えない学校》に設置してある遠隔テレビカメラみたいなもの。人間界で異変が起きている場所を自動的に映し出す。（新）

魔女のホウキ

十六世紀の《魔女》が、空を飛ぶ際に使用するホウキ。《霊波》をキャッチし、持ち主の求めるものがある場所へ導く機能もある。また、針のように鋭くして相手に突き刺す事もできる（ノ）



魔法大全

①様々な魔法が記された古文書。しかし専門的ではないので、資料としての価値は殆ど無い。（貸、千）

②『マガジン』版では《悪魔》を呼び出す方法が記されているが、間違いであるとされている。（マ）

魔法杖

一分で目的地まで飛んで行ける高速の《魔法のホウキ》。（世）

魔法のステッキ

《メフィスト二世》が使用する武器。通常は打撃や突きの攻撃に用いるが、稀に先端の玉を取り外し、増やして投げ付けたりする。（新）

魔法の粉末

知能を発達させ、独立心を芽生えさせ《千年王国》へ協力しよう、という気持ちにさせる粉末。十二歳以下の少年少女にしか効果が無い。（千）

魔法のホウキ

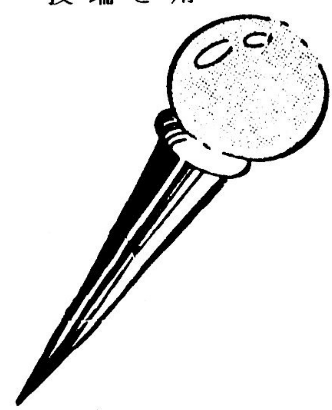
普通のホウキに《ベランドナ草》の汁と《香油》を塗る事によって浮力を持たせ、自家用にしたもの。原価はたったの十三円。だが、《ベルゼブブ》はこれを《太平洋電機》に法外な値段で売り付ける。（千）

魔力翻訳機

《メフィスト》の持つアイテム。あらゆる言語を翻訳する機能を持つ。（ノ）

丸い物

《怪物》と《魔物》が絡みあってできた玉。《不可解突発事件調査委員会》に《油すまし》が売って欲しいと申し出る。地中に埋め、人間の血液を与える事によって《なんじゃもんじゃ》を作り出す事ができる。（マ）





マント

①《メフィスト》のトレードマーク。空を飛ぶ時に使用する。また、相手を包み込んで締め上げる事もできる。（マ）

②『ノストラダムス大予言』では、新たに〈時空を越える能力を持つ〉という設定も加わった。（ノ）

③《メフィスト二世》のトレードマーク。空を飛ぶ時に使用するが、少しでも破れるとバランスをとれなくなる。（新）

④《リリス》の武器。《毛呂山》を絞め殺そうとするが、《松下一郎》に逆に利用される。（世）

見えない学校

《埋れ木真吾》や《十二使徒》が魔法を勉強する学校。《亜空間》に存在し、人間界のいたる場所へ移動できる。自らの意思を持っている。（新）

三つの鎖

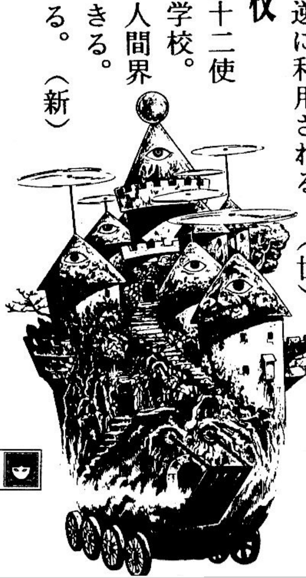
《魔法陣》を造る際に使用する、絞首台から取った《鎖》。《松下一郎》はこれを何処から入手したのかは不明。（貸、千）

モアイ

《イースター島》にある石像。《鳥乙女》が呼び出し、相手にぶつける。（新）

モーゼの棺

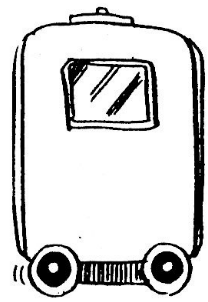
《モーゼ》が《シーレン》を封印した棺で、《シーレン》の唯一の弱点である。（ノ）



やさかりのまが玉
《妖怪民族》が《霊波》を発生させる時に用いるアイテム。（マ）

幽霊船
横浜港に入港したボロボロの無人船。《ゴーレム》の入った瓶を乗せていた。（新）

ゆりかごから墓場まで
どこかの営業マンが《太平洋電気》に持ち込んだ究極電気製品。ゆりかご、自動車、勉強部屋、モーターボート、核シェルター、棺桶等に早変わりする。（貸）

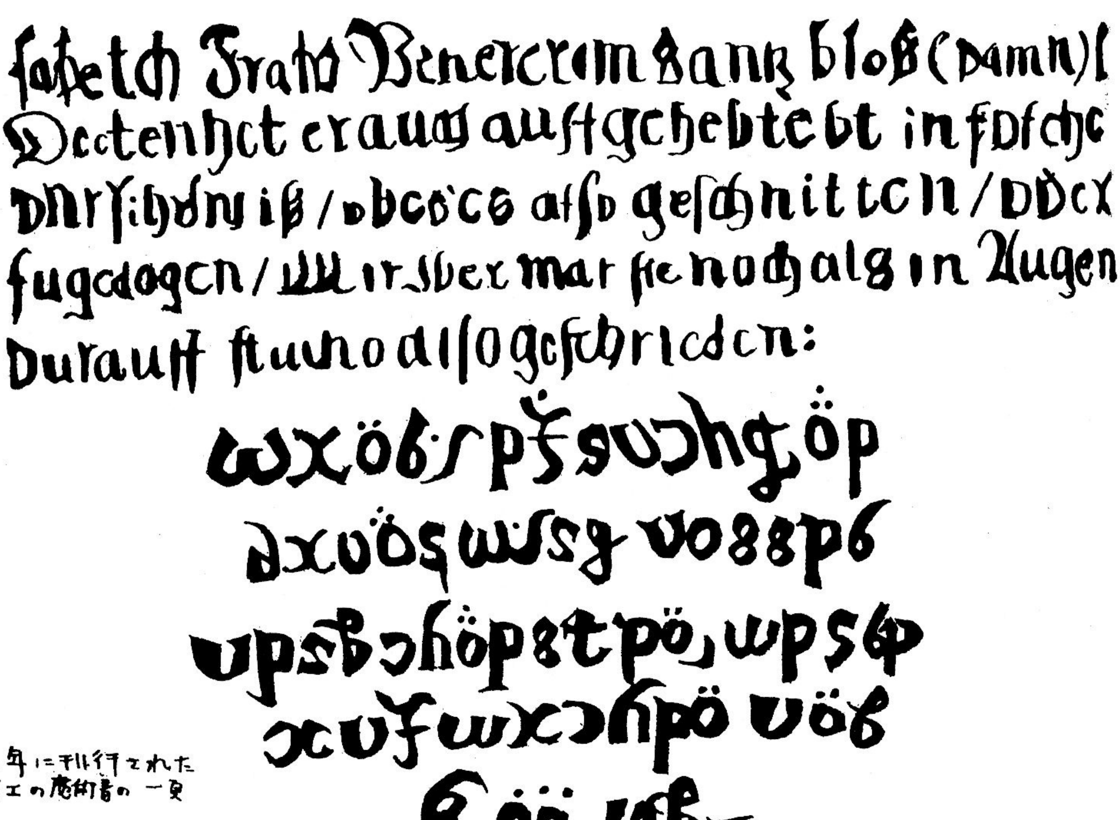


妖怪かび
《地下の住人》に触れると増殖し、体をボロボロにしてしまうかび。育てるのに百年近くかかる。（新）

妖気機関車
浴びた者を一瞬で老化させる蒸気を出す、恐ろしい兵器。作動させるには千人の子供の魂が必要。（新）

羊皮紙
《悪魔》と契約する際に《契約書》として用いる、死産した子羊のなめし革で出来た紙。（貸、千）

ヨハネ黙示録
《旧約聖書》に記されている、この世の終わりの部分を書き記したもの。一九八六年に発生したチェルノブイリの原発事故と一致する部分が多く、話題となった。（ノ）



1616年に刊行された
アンドレイエの魔術書の一頁

魔法・妖術編

悪魔磁石

《メフィスト二世》が使用する、《シルクハット》に《黒い悪魔》を吸い寄せる力を持たせる技。（新）

悪魔バアルの紋章

《地獄の四王子》が《松下一郎》の復活を阻止する為に用いた、触れた者を溶かす恐ろしい図形。地面に刻み、トラップとして使用する。（世）

アポーツ

〈物品引き寄せ〉とも言い、《念力》で物体を引き寄せる術。（千）

引力逆回転

《メフィスト老》の術。敵に跳ね返された武器を、更に跳ね返す技。（新）

引力もとどおり

《メフィスト》の魔法。《魔力引力遮断》を解除する技。（マ）

うそぶく

《トン＝フーチン》の手下である《小鬼》が使う、古代中国から伝わる《死者》を呼び出す術。（新）

空蝉（うつせみ）の術

《灰怒羅》が使う、分身を作り出して素早く入れ替わる術。単純だが難しいらしい。（新）

オユロタユヤ

秦の始皇帝の部下が日本に伝えた術。《役の行者》に引き継がれ、山伏の間に広まる。（貸、千）

怪光線

《シェキリロン》が目から発する光線。《家獣》にあっさり跳ね返される。（世）

火気

炎を遠隔操作する魔法の気。（新）

風の魔術

《人工精霊》が《毛呂山》に対し使用した魔術。強風を相手に吹き付ける。（世）

合体

《霊棍棒》達がお互いに重なり合って《合体》し、瞬時に伸びて、相手を貫く一撃必殺技。（新）

かみなり電撃

《メフィスト二世》の魔法。角から雷を放電する魔法で、《魔力つの電撃》と同系列だがより強力な魔法である。（新）

逆落とし目玉返り

《目玉椰子》が落とした目玉を元に戻す為《メフィスト老》が使用した魔法。（新）

空中魚雷

《サタン》が放った蛇を《松下一郎》が風呂敷に変えて反し、更にそれを《サタン》が槍に変えて反したものを、また更に《松下一郎》が変化させて放った兵器。《サタン》は更にそれを受け止め大砲に変えた。（貸、千）

クモ系統の魔法

《サタン》が得意とする魔法。自ら巨大なクモに変じ、糸を相手に絡めて身動きを封じる術。（貸、千）

形態催眠

《埋れ木真吾》が《火事くん》にかけた、身体を巨大化させる催眠術。ただし、この催眠術にかかる事ができるのは一万人に一人であり、しかも巨人になる為には体内に半妖怪の血が流れていないと駄目である。（新）

木の葉嵐

《魔王子》の必殺技。嵐を巻き起こし、その風力を利用して木の葉を手裏剣のように飛ばす。（新）

サトイモエッサイモ

《メフィスト》が、急いで《魔界》の仲間を呼び出す時に唱える呪文。（マ）

死者復活の法

《うそぶく》の術の事。（新）

死出のメロディー

《死者》を《霊界》に追い返す音楽。《メフィスト二世》が対《ツタンガーメン》戦で使用。（新）

集団幻覚

《毛呂山》の得意とする幻術。不特定多数の人間に《地獄》の光景を見せる。（世）

瞬間テレポーション

《ヨナルテパズトーリ》の得意とする術。早い話が瞬間移動。（新）

ステッキ魔法

《メフィスト二世》が使う、《魔法のステッキ》を複数の球体に変えて相手に投げ付け、急所を押さえる技。（新）

精霊の魔術

《人工精霊》に対し、《毛呂山》が使用した魔術。空中に描いた《五芒星》をぶつけて、打撃を与える。（世）

石化光線

《バーゲスト》が目から発射する光線。相手を石に変える。（新）

仙術

インドに伝わる術。物体を擦り抜けたり、怪しげな《ヒトダマ》を使用する。（貸、千）

象爆弾

《象人》の必殺技。高い場所から落下して、相手を押し潰す。（新）

タロット手裏剣

《タロットカード》を手裏剣のように飛ばす、名前の通りの技。（新）

超音波

人間の耳では捕らえる事のできない。その力を利用して物体を破壊する事も可能である。深海に棲む生物や《悪魔》等が使用する。（千、世、新、ノ）

毒爪針

《幻の館》の《妖婆》が使う術。毒を含んだ爪をマシンガンのように発射する。（マ）

ネクロマンシー

《術士アブラメリンの聖なる魔術》に記されている死体蘇生術。《毛呂山》が《松下一郎》を復活させるのに使用した。（世）

念力

不特定多数の魔術師や《悪魔》が使う一般的な力。（千、新、ノ）

波動パワー

身体を振動させ、その際に発生する共鳴現象を利用して相手を粉砕する技。《メフィスト二世》の十八番技だが、相手に効く事は滅多に無い。（新）

バラバラボーン

体を分解して相手にぶつける《トミー》の技。痛いだけで威力は無い。（新）

バリアー

《フォービ》の奥の手。一切の物理的攻撃を防ぐ。（新）

ヒップブレス

《家獣》の必殺技。相手を地面に叩き付け、のびている所へ空中高くから落下して止めを刺す。（新）

百目フラッシュ

《百目の子供》の得意技。全身の目玉を光らせ、相手の目をくらませる。（新）

魔界光線

《アンドリエ》が体中から発する光線。（ノ）

魔界の炎

《アンドリエ》が操る炎。（ノ）

魔術火炎

《メフィスト》の魔法。《万能杖》から炎を吹き出す技。何故かこの技だけ〈魔力〉ではなく〈魔術〉。（マ）

魔術・月霊召還

《松下一郎》が使う幻術。巨大な《月霊》の幻と相手を戦わせる。（世）

魔力引力遮断

《メフィスト》の魔法。局地的に無重力状態を作り出す。（マ）

魔力火炎

《メフィスト》が使う、口から炎を吐く術。（マ）

魔力かくれみの

《メフィスト》の魔法。口から（『ノストラダムス大予言』では角から）霧を吹き出し、追跡者をくらませる。（マ、ノ）

魔力活火山

休火山を噴火させる《メフィスト》の術。（ノ）

魔力金しばり

《万能杖》をロープのようにして相手を締め上げる《メフィスト》の技。（マ）

魔力くもの巣散らし

《メフィスト》の魔法。《万能杖》から投網を出現させ、複数の敵の動きを封じる。（マ、ノ）

魔力氷づめ

《メフィスト》の魔法。敵を凍らせて身動きできなくする技。（マ）

魔力細胞変化

《メフィスト》の魔法。敵の細胞を変化させ、球体の山に変えてしまう。変えられても意識や感覚はあるらしい。（マ）

魔力地獄落とし

《メフィスト》の魔法。名前の通りの技だが、《百目》には通用せず。（マ）

魔力重力落とし

《メフィスト》の魔法。局地的に重力を増やし、敵の飛行能力を無力化させる。（マ）

魔力砂嵐

《メフィスト》の魔法。飛びながら砂を撒き散らし追跡者をくらませる。（マ）

魔力絶対零度

口から冷気を吹き出して相手を凍らせる《メフィスト》の術。因みに〈絶対零度〉とは零下二七三・一五度である。（マ、ノ）

魔力絶対零度にして最強

『ノストラダムス大予言』で披露した技。（ノ）

魔力たつまき大回転

《サシペレレ》の得意技。下半身を高速回転させ、竜巻を巻き起こす。（新）

魔力タロットガード

《タロットカード》を巨大化させ、相手の攻撃を防ぐ術。《メフィスト二世》が使用する。（新）

魔力つの電気

《メフィスト》の魔法。頭にある角から電気を発射する。（マ）

魔力つの電撃

《メフィスト二世》の魔法。頭にある角から電撃を発射する。（新）

魔力ドリル

《メフィスト》の魔法。《万能杖》をドリルのようにして、敵の乗り物等を破壊する技。（マ）

魔力ハットノコギリ

①《メフィスト》の魔法。《シルクハット》を高速回転させ、飛ばして敵を切り刻む技。（マ、ノ）

②《メフィスト二世》も同様の技を使う。つまりこの技は《メフィスト》族の伝家の宝刀である。（新）

魔力風速四十メートル

《メフィスト》の魔法。名前の通り、風速四十メートルの風を起こす技。（ノ）

魔力ブーメランハット

《メフィスト》の魔法。《シルクハット》を高速回転させ、飛ばして敵を切り刻む技。（ノ）

魔力分身

《メフィスト》の魔法。早い話が分身の術だが、忍術と違い全員が実体である。（マ、ノ）

魔力放電

《メフィスト》の魔法。体中から電気を放出し、周囲にいる者を感電させる。（マ、ノ）

魔力マントじめ

《メフィスト》の魔法。マントで敵を包み込み、締め上げる技。（マ）

魔力熔岩流し

《メフィスト》の魔法。岩を溶かして熔岩に変える技。《天の岩戸》を封印するのに使用した。かなりのパワーを消費するらしい（マ）

ミイラの術

《ロソン》が使う奥の手。身体に触れた相手をそのまま吸収し、ミイラにして尻から出す。ミイラにされた者は一年後に目覚め、《ロソン》の忠実な部下になる。（世）

名称未設定の魔法

《埋れ木真吾》が《ゴーストカー》を封印する為に使用した、局地的に重力を高める魔法。ＵＦＯの船体マークからヒントを得て、自分なりに応用した新しい魔法。（新）

目玉つぶて

《百目の子供》の術。全身の目玉を飛ばし、相手にぶつける。（新）

老化ガス

《鼻モグラ》の武器。このガスを浴びた者は一度に五十歳年を取る。（新）

団体編

ＩＣＭ社

《ハワード・サタン》が社長を勤めるアメリカの大企業。（世）

アクエリアス教団

《ダニエル》が教祖を勤める新興宗教。世界政府の要人のほとんどが信者である。（ノ）

悪魔協会

《魔界》にある《悪魔》の協会。《魔天道》はこの協会の非公式魔法であるらしい。（新）

アーミー

特殊部隊の略称。（世）

隠言宗

《山本魔州》が大管長を勤める密教。（世）

怪文社

渋谷にある《オカルト・Ｂｅ》の出版社。《松下一郎》の復活やその後の活動をスクープする。（世）

黒色同朋団

《リリス》が女教皇を勤める宗教団体。（世）

国連

①国際連合の略称。突如動き出したエジプトの《スフィンクス》を調査する。（貸、千）

②国際連合の略称。代表メンバーのほとんどが《アクエリアス教団》の信徒。（ノ）

コマンド

暴力団や暴徒を沈静化する為の特別機動隊だが、やたら発砲して民間人を巻き添えにする。（世）

ＣＩＡ

アメリカ中央情報局の略称。他国の情報を管理する大統領の直属機関である。（ノ）

自衛隊

何かある度に戦車や高射砲、ジェット戦闘機等を持ち出して来てはコテンパンにやられる、日本の軍隊。（千、マ、世、ノ、復）

地獄の王
十六世紀に《死神伯爵》が結成した秘密結社。永年に渡り歴史を裏で操っていた。《アクエリアス教団》の前身でもある。（ノ）

仕立て屋組み合い
《若草テーラー》の主人が組合長を勤める。（マ）

宗教団体
妙な頭巾と首飾りを身に着け、絶望的な言葉を書いたプラカードを持って町を練り歩く集団。よく見ると放送禁止マークを描いたプラカードを持つ者もいる。（世）

十字軍
十一世紀、イスラム教団に支配されていたエルサレムを奪い返す為に結成された、ヨーロッパのキリスト教団の軍隊。《ノストラダムス》は《ヨーロッパ連合軍》こそ、《ダニエル書》にある新たな《十字軍》ではないかと恐れる。（ノ）

小学生軍団
《松下一郎》が結成した十二歳以下の少年少女で構成されている軍隊。（千）

世界金持ち連盟
《パコダ》が《メフィスト》と契約を結ぶ際にスポンサーだと偽った架空の団体。（マ）

太平洋コンツェルン
《太平洋電気》を親会社とする企業グループ。日本経済のほとんどを占める。（世）

太平洋電気
①《松下一郎》の父親が《社長》を務める大手の家電メーカー。（貸、世）
②『千年王国』では《太平洋電機》と表記されている。《悪魔》に乗っ取られ、倒産する。（千）

ダニエル・コンツェルン
《ダニエル》が総帥を勤める大企業。主な事業は軍事産業である。（ノ）

ドイツ軍
若き日の《ヒトラー》が所属していた部隊。敵の砲弾を食らい全滅する。ちなみにこの部隊での《ヒトラー》の階級は伍長である。（ノ）

ナチス軍
《ヒトラー》の命令で、ユダヤ人を片っ端から捕まえる。（ノ）

不可解突発事件調査委員会
東京で起こる怪事件を調査する為に結成された委員会。その割りには呑気な委員しかいない。（マ）

ペンタゴン
アメリカ国防総省の通称。（ノ）

ホウキ会社
《ベルゼブブ》が創立した《魔法のホウキ》の製造販売を行う会社。（千）

ヨーロッパ連合軍
《ダニエル》の策略で政治、軍事を統一させたEC諸国（欧州共同体）。《ノストラダムス》はこれこそ新たな《十字軍》ではないかと恐れる。（ノ）

リビアのゲリラ

《ダニエル》に操られ、イギリスから日本へ向かう自衛艦を襲って《プルトニウム》を奪う。（ノ）

レッドマフラー部隊

対都市ゲリラ用コマンド部隊。《山本魔州》の指令で《高野山》へ出向くが、《バアルの紋章》の罠にはまって全滅する。（世）

ロソンコンツェルン

《ロソン》が総帥を勤める大企業。かなり悪質な方法で財を築いたらしい。（世）

地名・建築物・店舗編

アウシュビッツ

ポーランドにある工業都市。《ドイツ軍》に占領され、ユダヤ人の収容所が置かれていた。（ノ）

亜空間

空間と空間を縮めて連結させた空間。《見えない学校》はこの空間を移動する。（新）

悪魔界

《悪魔》の住む世界。（新、ノ）

悪魔くんの研究室

①《奥軽井沢》にある巨大な古代遺跡を利用した、《悪魔》を呼び出す実験をする施設。（貸、千、世）

②『マガジン』版及び『最新版』では、家の裏にある寺の境内の洞窟を利用している。（マ、新）

悪魔くんの部屋

《別荘》の裏にある、奇妙な形をした《松下一郎》専用の建物。エレベーター完備で、《松下一郎》の許可を得ないと入れない仕組みになっている。（千）

悪魔城

中国の奥地にある《東嶽大帝》の城。数多くの《黒い悪魔》が自由奔放に暮らしている。単純に〈魔城〉とも呼ぶ。（新）

悪魔大学

《魔界》にある《メフィスト》の母校。但し、本当に実在するかは疑わしい。（マ）

悪魔病院

《魔界》にある、《メフィスト老》の通院する病院。（新）

天の岩戸

《もののけ》や《油すまし》、《小豆とぎ》といった様々な妖怪を封印している場所。風化して封印が解けたと思われていたが、実は封印を解いたのは《エンマ》であった。《長野県梓川の上流》にある。（マ）

イースター島

①《モアイ》のある南の島。《鳥乙女》はここから《モアイ》を呼び出すという荒技を使う。（新）

②《ムー大陸》の子孫が暮らす南方の島。（ノ）

犬小屋

《山田真吾》の家で、《百目の子供》にあてがわれた寝床。山田家の庭に放置してあったという事は、何年か前に犬を飼っていたのだろうか。（マ）

いらずの家
《松下一郎》の秘密を探る者が幽閉される建物。内部が迷路になっていて、一度入ると《松下一郎》が許可しない限り外へは出られない。その正体は《家獣》だった。（千）

入らずの洞窟
《山田真吾》の住む町にある神社の裏にある洞窟。《魔界》へ通じている。（ノ）

いらずの森
《奥軽井沢》にある、入った者は二度と出て来られないという恐ろしい森。至る所に立ち入りを戒める石碑や立て札、遺跡がある。（千）

隠言宗総本山
永田町の一角にある怪しげな寺院。（世）

内田医院
《怪物》に生気を吸い取られた《百目の子供》を診察した病院。医者は一人しかおらず、看護婦はいないようである。（マ）

馬小屋
《阿部切人》の生まれた場所。《松下一郎》の《使徒》達の借家。（貸、千、世）

H市
《埋れ木真吾》の住む町。おかげで《黒い悪魔》に狙われまくる。市民はいい迷惑である。東京の郊外にあるらしい。（新）

オアフ島
《ムー大陸》の子孫が暮らすハワイの小島。（ノ）

奥軽井沢
①古代魔法のメッカ。数多くの魔法使いの墓があり《創造の書》や《占い杖》といった魔法のアイテムが数多く隠されている。《松下一郎》がこの土地に《別荘》を建てさせたのはその為である。（貸、千、世）
②日本古来の魔術《魔天道》が伝わる場所。（新）

押し入れ
《メフィスト二世》が《埋れ木真吾》の家で居候している場所。（新）

オフィス
《毛呂山》のオフィス。渋谷道玄坂の上にある奇怪なビルの一室で、やたらと骸骨や分厚い本が置いてある。（世）

オロロン島
《八大仙人》の住む島。《蓬莱島》の通称である。（世）

カイゼル・ヴィヘルト研究所
《アインシュタイン》達が核の研究をしていたドイツの施設。（ノ）

ガソリン集積所
《埋れ木真吾》達が《不吉虫》を退治しようとした場所。（新）

県庁
何故か《ビチゴン》に狙われる。何県なのかは不明だが、都心に近く海があるので千葉県か神奈川県だと思われる。（マ）

高野山
《松下一郎》の遺体が安置される《水晶のピラミッド》がある山。スーパーハイウェイ設置が予定されている。（世）

古代の日時計
《瀬戸の火車》が隠されている場所を示す。（マ）

ゴルゴダの丘
《旧約聖書》に記されている《ハルマゲドン》が起こるとされている場所。（ノ）

再会
《佐藤》が誤って他人のコーヒーを飲んだ喫茶店。都心の路地裏にあるらしい。（貸、千）

サラマンドラ
《ロソン・ビル》の地下にある怪しげな喫茶店。中央にあるトーテムポールのような柱に、人間の精気を吸引する仕掛けが仕組まれている。（世）

サンシャインビル
池袋にある六十階建てのビル。《不吉虫》にかじられる。（新）

地獄
①《エンマ》の支配する世界。『マガジン』版では《魔界》を西洋、《地獄》を日本というニュアンスで描いている。（マ）
②《松下一郎》に敵対する《地獄の四王子》が支配する世界。（世）
③《地獄の魔物》達が自由気ままに暮らす世界。永年乱れていたが、《悪魔くん》に統一される。（復）

死者の世界
あの世。（復）

シャレコウベ男爵のやしき
《シャレコウベ男爵》の研究所。《黒い悪魔》が入れないように結界が張ってある。異次元に通じる扉や窓があちこちにある。何故か《幻の館》にある《肖像画》が飾ってある。（新）

神界
神様の住む世界。《メフィスト》でも訪れた事が無いという場所で、《霊鷲山》に入り口がある。（ノ）

水晶のピラミッド
《松下一郎》の遺体が安置されている建造物。《高野山》にあり、《松下太平》が建設したものらしい。（世）

生者の世界
この世。（復）

セントラルホテル
①来日した《フラン・ネール》が宿泊したホテル。（貸、千）
②『世紀末大戦』では〈帝国ホテル〉と表記されている。（世）

ソドムとゴモラの町
《旧約聖書》に登場する架空の町。神に背く人間ばかり住む為、神に焼き払われる。（ノ）

ダラス
アメリカのテキサス州にある町。選挙の遊説に出掛けた《ケネディ大統領》が暗殺された場所。（ノ）

小さな村
《火事くん》の故郷。《H市》から歩いて半日位の場所にあり、《フォービ》の住む山がある。（新）

地下の国
地底二千メートルの地点にある、《妖気機関車》が埋もれている場所。（新）

チェルノブイリ
ロシアの原子力発電所がある場所。直訳すると〈にがよもぎ〉と言う意味である。（ノ）

千代田市
《ロソンコンツェルン》の本部がある街。奇怪なビルが建ち並び、《浮浪者》が大勢住んでいる。（世）

鉄くず置き場
《埋れ木真吾》達が、鉄を好む妖虫《不吉虫》を待ち伏せした場所。（新）

テングス
《メフィスト》が《百目の子供》と共に入った喫茶店。女性が経営している。（マ）

天狗の寝所
《高野山》にある巨大な洞窟で、《松下一郎》の遺体を安置する《水晶のピラミッド》がある。（世）

天神峠の底無し沼
《ビチゴン》が冬眠している場所。竜宮場まで通じていると伝えられている。（マ）

トイレ
《亜空間》に通じている《埋れ木真吾》の家のトイレ。水洗式（新）

東京第一小学校
《松下一郎》が編入した有名な小学校。レベルは高いらしい。（貸、千）

長野県梓川の上流
《もののけ》や様々な妖怪を封印した《天の岩戸》がある場所。ちなみに河童の国もある。（マ）

人間ピラミッド
《カー》が《山田市》の市民を溶かして建造した即席ピラミッド。中心部に《ツタンガーメン》の眠る柩が安置してある。（新）

野尻の古代釜跡
《火車の鍵》が封印されてる古代遺跡。（マ）

博覧会会場
世界各国の名産品、文化を集めた博覧会。《ベルゼブブ》はここでヒマラヤのパピリオンだと偽り、怪しげな酒を振る舞っていた。（千）

ビックホテル
来日した《サタン》が宿泊している、東京の超一流ホテル。（千）

秘密の洞窟
《メフィスト》を呼び出す為の《魔法陣》がある場所。『マガジン』版、及び『最新版』では家の裏にある寺の境内に設定されているが、『ノストラダムス大予言』での場所は不明。（マ、新、ノ）

白虎山寺跡
《百目》が《瀬戸の火車》を探す神聖な儀式を開いた場所。調布にある。（マ）

富士山

①《アンドリアス・ショイクゼリ》が噴火させた、日本一高い山。（世）

②《埋れ木真吾》が《ゴーレム》を封印した場所。（新）

③《シーレン》が引き起こした地震によって噴火した、日本一高い山。静岡と山梨の一部を熔岩が襲い、その衝撃で大津波が発生した。（ノ）

富士山の樹海

入ると二度と出て来られないと恐れられている深い森。《アロンの杖》が隠されている。（ノ）

富士山の麓の村

《山田真吾》の祖父が暮らしている村。（ノ）

フレッシュギャルの店

《ノストラダムス》が騙されて入ったオカマバー。《山田真吾》の家の近所の歓楽街にある。（ノ）

ブローニュの森

十六世紀のフランスにある森。《魔女》が住んでいる。（ノ）

別荘

《奥軽井沢》にある《松下一郎》の別荘。

蓬莱島

①一年中霧が立ち込めている上に、黒潮の渦巻きの中心にある為、何千年も発見される事なく孤立している島。《八大仙人》が住み、《仙果》が実り温泉が沸いている。その昔、秦の始皇帝が捜し求めたと言う伝説がある。日本海近郊にあるらしい。（貸、千）

②『ノストラダムス大予言』では人間界と天上界の間にある海に浮かぶと設定されている。（ノ）

ホテルニューオーマ

《松下一郎》が《千年王国》の政府を置く場所として選んだ建物。一兆円で買収したのに《ニュースキャスター》は「占領された」と誤報を伝える。（千）

ホテルロソン

《ロソンコンツェルン》の経営する三浦半島にあるホテル。《家獣》がその一部と化していた。（世）

魔界

《悪魔》達の住む世界。《悪魔界》と称される場合もある。（マ、世、新、ノ）

まぼろしの館

とある湖畔にたたずむ洋館。入ったものは消えてしまうと伝えられていた。実は、家の姿をした妖怪だった。（マ）

ムー

一万二千年前に洪水で沈んだ伝説の大陸。《三種の神器》を巡って攻防を繰り返す《ユダヤ十二族》は、滅亡を逃れたこの大陸の末裔だった。（ノ）

無宇

《神代記》に記されている国名。《ムー大陸》の事である。（ノ）

山田家

①《山田真吾》の実家。《なんじゃもんじゃ》に持ち運ばれる。武蔵野にあるらしい。

②地震で全壊する。（ノ）

山田市

《カー》に占領された街。市民は溶かされ、《人間ピラミッド》にされてしまう。（新）

幽霊劇場

《死者》に占領された《H市》に建設が予定された娯楽施設。未完成。（新）

妖怪大学

と、言う名前の大学があるらしい。（復）

横浜港

謎の《幽霊船》が入港した場所。大量のドクロを発見しても警察に通報しようとしない作業員達が働いている。（新）

霊鷲山

《神界》の入り口がある山。所在地は不明。（ノ）

ロソン・ビル

千代田市にある《ロソンコンツェルン》の本部。全フロアに直営の企業が入っている。（世）

若草テーラー

《メフィスト》が、《マント》の修繕を依頼した仕立て屋。（マ）



重要語句編

悪魔

《魔界》の住人。歴代の《悪魔くん》達は《悪魔》を呼び出してその力を平和な世界を築く為に利用しようとする。（貸、千、マ、世、新、ノ、）

悪魔くん

①本編の題名であり、主人公である少年達の仇名。（貸、千、マ）

②昭和四十一年に放映された怪奇ドラマのモデルとなった少年。（世）

③『最新版』では一万年に一人現れる《メシア》の称号でもあると設定されている。（新）

④『復活悪魔くん』に登場する少年は《松下一郎》だと思われるが、本編中は一度も本名で呼ばれない。（復）

アパラチャノモゲータ

《百目》の口癖（鳴声？）。そのルーツは貸本作品にあり。（マ）

アンゴルモアの大王

《東方の神童》を意味する言葉。《諸世紀》に記されている。（ノ）

いたいけなベビー

《小学生軍団》の中でも年少の者達の通称。（千）

イッカサル一族

《エホバの鏡》を伝える《ユダヤ十二族》の一つ。《ノストラダムス》はこの一族の末裔だった。（ノ）

隠秘術
秘密裏に伝えられて来た魔術の総称。（貸、千）

現世（うつしよ）は夢となり夢は現世（うつしよ）となる
①《ファウスト博士》の遺言。理想としていた事が実現し、現在の現状は過去の出来事（記憶）になると言う意味。（貸、千、マ、世）
②《二代目ファウスト博士》の遺言。（新）

エフライ族
《アロンの杖》を伝える《ユダヤ十二族》の一つ。長年行方不明とされていたが、実は《山田真吾》こそがその末裔だった。（ノ）

エロイムエッサイム
①《悪魔》を呼び出す呪文。（貸、千、世、新）
②『ノストラダムス大予言』では死体蘇生の呪文としても使用されていた。（ノ）

オカルトBe
《怪文社》発行のオカルト専門誌。

おむかえ音頭
《埋れ木真吾》を《見えない学校》に招いた《十二使徒》達が歌った歌。（新）

ガド族
《十戒石》を伝える《ユダヤ十二族》の一つ。

神倭朝（カムヤマト）一族
《アロンの杖》を奪おうと、《山田真吾》の先祖を襲った古代日本の一族。（ノ）

カバラ
言葉と数字を置き換えて世の中の事象を占う事。その究極の目的は《悪魔》を呼び出す事である。《ガバラ》とも表記する。（貸、千、世）

カフェイン
《コーヒー》や《チョコレート》に含まれる成分。《メフィスト》のエネルギー源である。（マ、ノ）

極ジャンプ
核の影響で南北が入れ替わる現象。超異常現象を引き起こす。（ノ）

グランド・クロス
太陽系の惑星が地球を中心に十字型に配列する事により、地球上に天変地異が訪れる現象。（ノ）

グランド・クロス作戦
《グランド・クロス》のパワーを利用して《ハルマゲドン》を起こそうと言う作戦。《ダニエル》の計画である。（ノ）

黒い悪魔
《東嶽大帝》の部下である《悪魔》の総称。

黒魔術
魔術を悪用する事。（貸、千、世、ノ）

五王星
千年に一度訪れる火星が最も地球に近づく日。《情報屋》はこの日に生まれた。（マ）

五芒星
互角形の点を結んだ、いわゆる星型の図形。様々な魔力を秘めている。（世）

三種の神器
古代ユダヤの伝説にある、《エホバの神》が《モーゼ》に渡したとされる《エホバの鏡》《十戒石》《アロンの杖》の三つの神器。これを揃えた者が《千年王国》を作るとされている。（ノ）

使徒
高級な召し使い。《キリスト》も十三人程率いていた。（貸、千、世、新、ノ）

十二使徒
《悪魔くん》に仕える者共。詳しくは次頁の表を参照。（貸、千、世、新、ノ）

白魔術
魔術を世の為人の為に使用する事。（貸、千）

精神的異能児
数万年に一人現れるという大天才の事。（千）

精神的奇形児
数万年に一人現れるという大天才の事。その知能の差は人間と犬の差に等しいらしい。（貸、世）

千年王国
①《松下一郎》が目指す、全人類が平等に暮らせる世界。（千、世）

②『ノストラダムス大予言』では《三種の神器》を手にした者が王として君臨する〈永遠に続く世界〉と設定されている。（ノ）

地水火風
この世を構成すると考えられている四大元素。優れた魔術師はこれを利用する。（貸、千、マ）

天空魔法陣
『最新版』で《メフィスト二世》を呼び出す為に雲を使って空中に築いた《魔法陣》。最終話では《初代悪魔くん》が《ソロモン王》を用いて築いた。（新）

天地の行き過ぎぬうちに
手遅れにならないうちに、と言う意味。《ファウスト博士》の名台詞だが、『世紀末大戦』では《松下一郎》が、『ノストラダムス大予言』では《山田真吾》が、各々パラレル的に使用している。（貸、千、マ、世、ノ）

東方の神童
古代ユダヤの予言で、一万年に一人現れると伝えられる《メシア》。（貸、千、マ、世、新、ノ）

八大仙人
①《蓬莱島》に住む八人の仙人。《松下一郎》抹殺を計画する。（貸）

②『千年王国』版では、後に考えを改め協力者となる。（千）

③《神界》へ行ける《特別な通行手形》を《山田真吾》に渡す。（ノ）

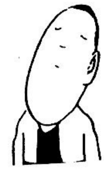
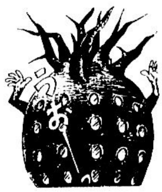
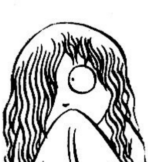
ハルマゲドン
この世の終わりの事で、《旧約聖書》に記されている地名に由来する。《ダニエル》の最終目的だが、実はそれは地球が生まれ変わる為の通過点に過ぎなかった。（ノ）

ピーナツ
賄賂の隠語。昭和五十年頃に流行した言葉。（復）

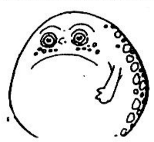
	第七使徒	第八使徒	第九使徒	第十使徒	第十一使徒	第十二使徒

マガジン版

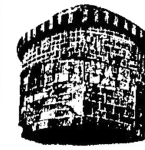
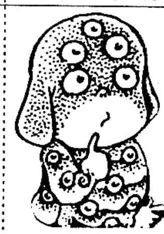
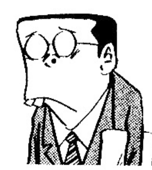
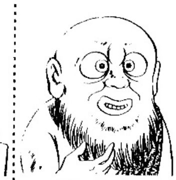
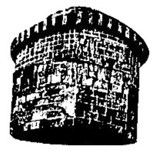
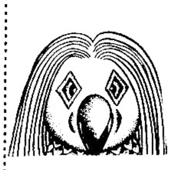
 メフィスト 実力NO1の悪魔	 貧太 悪魔くんの親友	 情報屋 悪魔くんの親友	 百目 ジャリ妖怪

第七使徒	第八使徒	第九使徒	第十使徒	第十一使徒	第十二使徒
 別荘番 普通の人間。	 お花 後に魔女となる。	 警官 柔道二段。殉死する。	 幽霊 家獣の体内の先住者。	 社長 悪魔くんの父親。	 切人 悪魔くんの同級生。
 妖虎	 家獣	 象人	 鳥乙女	 サシペレレ	 こうもり猫
 灰怒羅 妖術を使う妖尼					
 桂男 月光の幻術を使う。	 つらら女 つららを降らせる。	 夜雀 霊体で身を守る。	 鉄鼠 複数の鼠に変身する。	 そろばんぼうず 損得計算が得意。	 雷獣 雷雨を呼ぶ

『最新版』の初期設定で《使徒》に予定されていた方々

 ヒトガマ	 ヨンノ	 鳥人	 切人	 メフィスト老

悪魔くん 十二使徒 一覧表

	第一使徒	第二使徒	第三使徒	第四使徒	第五使徒	第六使徒
貸本版	 **蛙男** 悪魔くんの助手。	 ヤモリビト 悪魔くんの助手。	 **悪魔** 詐欺と演技力を持つ。	※特に誰が何番目の《使徒》かと言う設定があるのは「千年王国」と「最新版」のみであり、他は登場順に位置付けた。但し「世紀末大戦」はストーリーの展開から《使徒》に任命された順番を推測し、それに従った。		
千年王国	 **蛙男** 悪魔くんの助手。	 ふくろう女 正確な魔法陣を知る。	 ヤモリビト 創造の書を読み解く。	 **占い杖** ダウジング機能がある。	 **悪魔** 魔女を使う。不死身。	 **家獣** 体内に使徒を乗せ移動。
最新版	 メフィスト二世	 ユルグ	 ヨナルテパズトーリ	 **幽子**	 ピクシー	 **百目**
世紀末大戦	 **毛呂山** オカルト研究家。	 ロソン 詐欺能力に長けた悪魔。	 **占い杖** 意志を持つ魔法の道具。	 **家獣** メシアに仕える聖獣。	 **町田** 普通の人間。	 **視鬼魅** 古代中国の賢人。
ノストラダムス大予言	 **蛙男** 忠実な下部	 メフィスト 様々な魔力を使う悪魔。	 **占い杖** ダウジング機能がある。	 **家獣** メシアに仕える聖獣。	 **百目** 地底を掘り進む。	 アマビエ 海洋生物と会話できる。

凡庸の徒
その辺のサラリーマンもノーベル賞受賞者も含め、一般の人間の事。（貸、千）

魔天道
《サマリン》が日本に伝えた魔法で、忍術や占術のルーツ。《悪魔協会》の非公認魔法である。（新）

魔天力
《魔天道》を駆使する際に発するパワー。（新）

魔法陣
①《悪魔》を呼び出す際に用いる図形。一センチ描く毎に《エロイムエッサイム》と唱え、中央の三角形は絞首台から取った三つの鎖で作り、それを打つ釘は車裂きやその他の恐ろしい刑で処刑された罪人の額に突き刺した物を使用する。また、《悪魔》を呼び出している最中に《魔法陣》の内側に少しでも入ると、ズタズタに引き裂かれてしまうらしい。（貸、千、世）
②作製するのは非常に難しいが、一度作ってしまえば再利用も可能である。《魔界》と地上の出入り口にもなっている。（マ、ノ）
③『最新版』では雲を用いて造った。（新）

メシア
救世主の事。《メシヤ》とも表記する。（千、世、新、ノ）

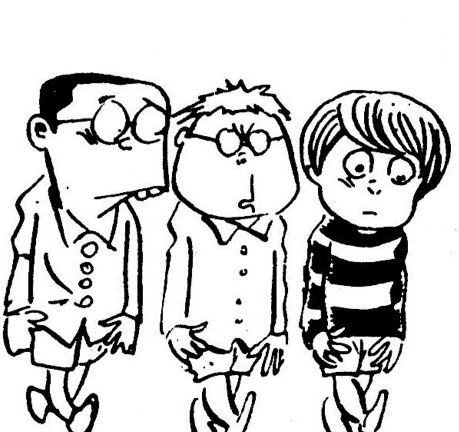
ユダ族
《シーレン》と契約し、《三種の神器》を揃えて世界征服企てる《ユダヤ十二族》の一つ。《死神伯爵》はその末裔である。（ノ）

ユダヤ十二族
《ムー大陸》の子孫。《三種の神器》を巡る攻防を繰り返す。（ノ）

臨時東京知事
東京で大暴れする《スフィンクス》を追い払う事を条件に《松下一郎》が得た役職。（千）

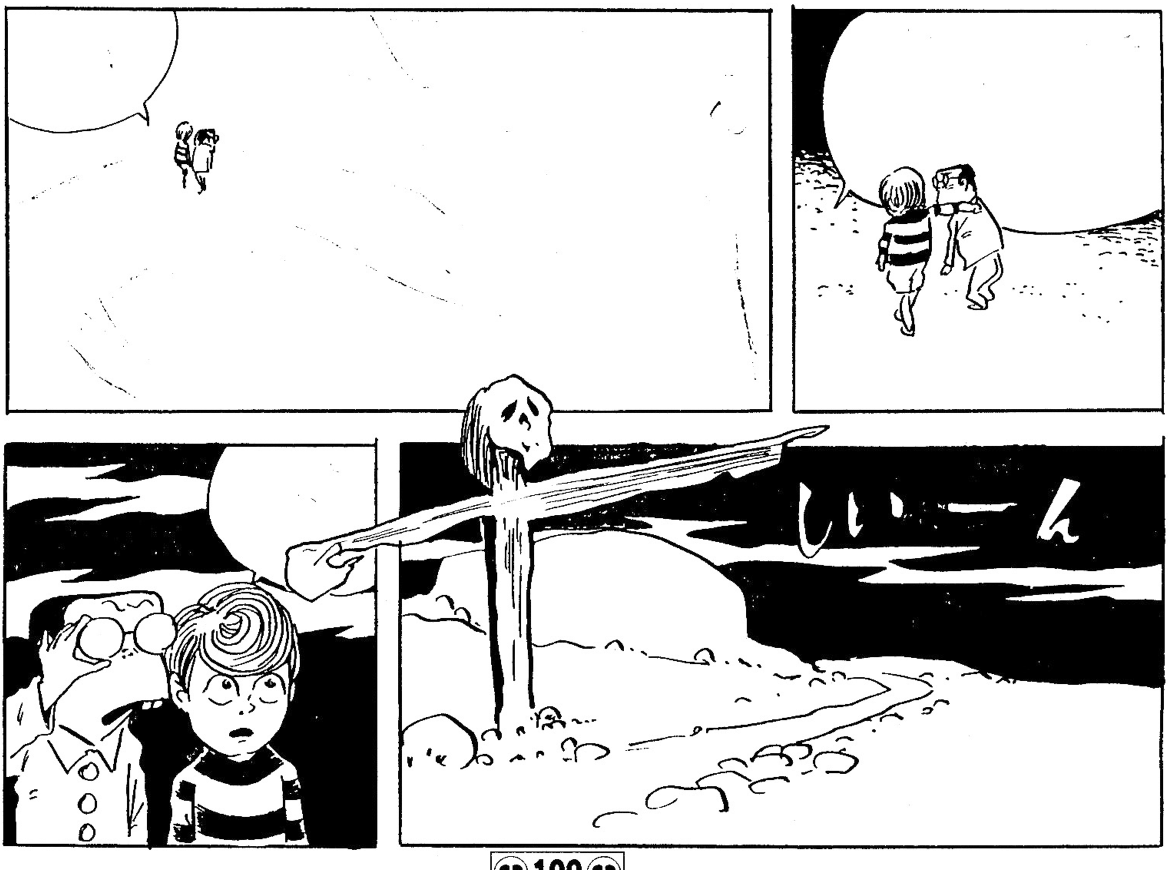
霊波
リモコンの電波みたいなモノで、死者を蘇生させたり相手の居場所を探る時に逆探知したりする。（マ、世、ノ）

六芒星
二つの三角形を組み合わせた図形で、様々な魔力を秘めている。（新、ノ）



幻の原画発掘!!

これは『水伝』に在籍していたときの伊藤徹さん（水木しげる研究家）に戴いた資料で、「少年マガジン版」悪魔くんの第１話「悪魔くん登場」で使用されなかった、未発表原稿と思われる。





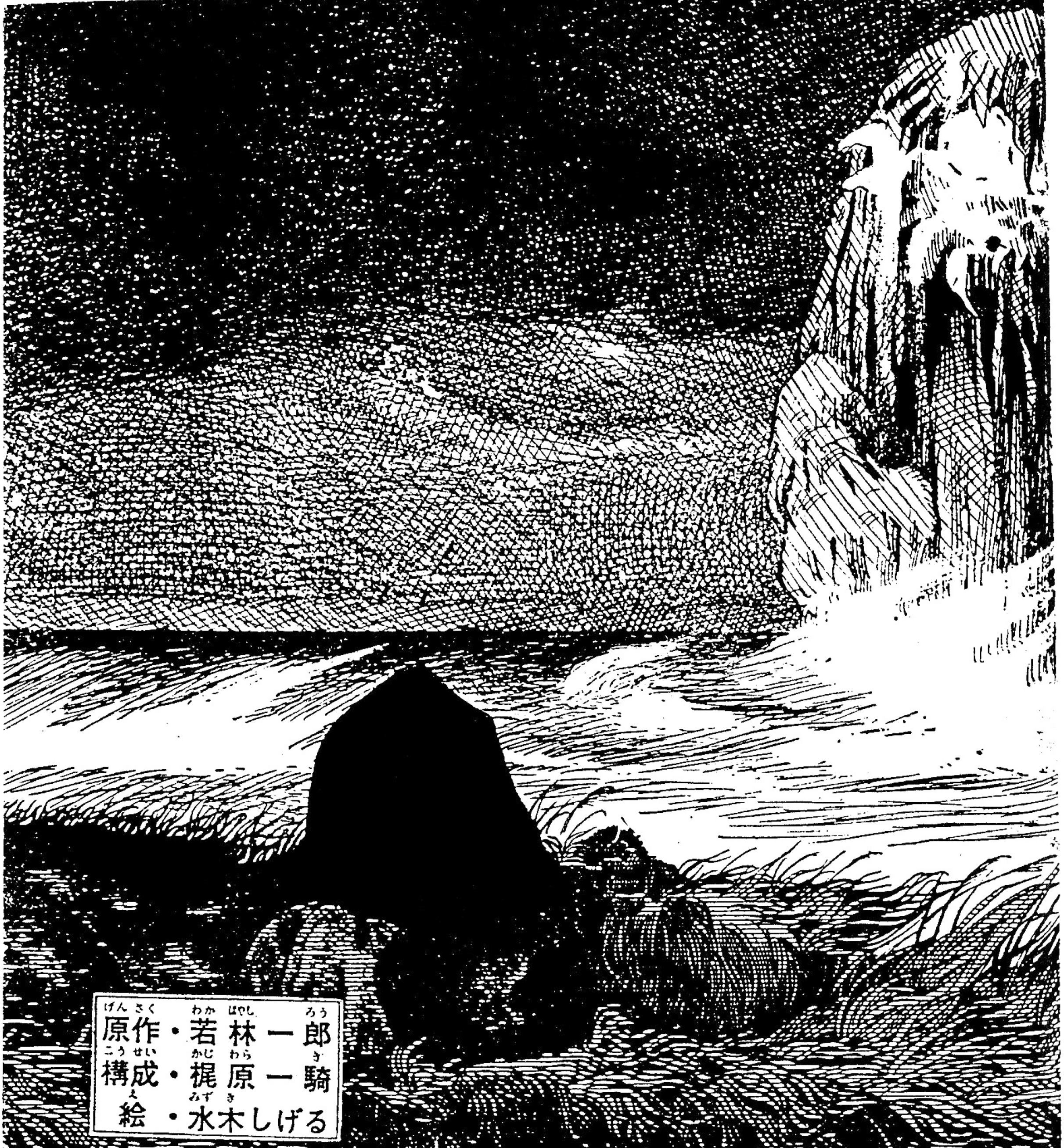
テレビ絵物語

悪魔くん

〔完全修整版〕

海中から人間の命をねらう、きょうふの大妖怪！　とつじょ、真吾一家をおそった大海魔の正体は…？

（はてしなく広い、そこしれぬ神秘の海には、どんな妖怪がひそんでるだろう？）
真吾は、あすの日曜日、おとうさんのつりのおともで、家じゅうで海へドライブすることになると、すぐその考えにとらわれた。妖怪の話になると、真吾には、てきめんにさえてくるテレパシーがある。

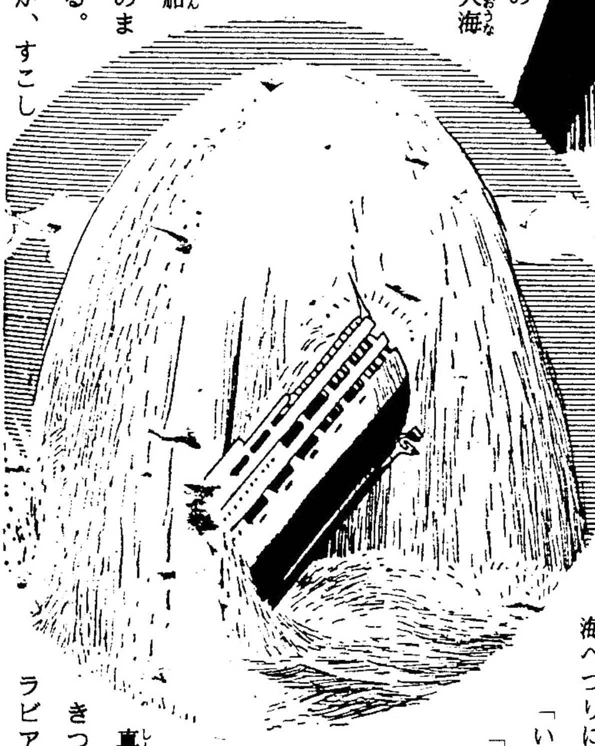


その日の夕ぐれ、真吾は、森のおくのほらあなへやってきた。
　地面に、ふくざつ怪奇な魔法陣をえがき、「エロイム　エッサイム！　エロイム　エッサイ！」
　なにやら奇怪なじゅもんをとなえると、ぼっと、目の前に白いけむりが立ちのぼった。
「やい、こら、ひとがせっかく早ねをしたのに、気やすくよびだすな。あーあ。」
　大あくびをしながらあらわれたのは、きみょうな人物。
　この人物こそ、超自然現象に通じる真吾のテレパシーがつくった奇怪な友人だ。
　まぎれもない、ほんものの悪魔である。名はメフィスト。
「なあ、メフィスト。近ごろの妖怪のすみかは、スモッグだらけの陸より、海だってことは考えられないかね。」

真吾が話しかけると、
「なにを！　妖怪をあまくみるな。スモッグの中からあらわれる妖怪だってあらあ。ふあーっ。」
と、メフィストは、また大あくび。
どうも、この悪魔はなまけ者らしく、
「そんなに海が気になるのなら、水鏡を見たらいいじゃないか。おれはねるよ。」
かたわらの水鏡、つまり超高性能テレビをあごでしゃくると、ごろりとねそべってしまった。
真吾が水鏡に目をこらすと、ぼうっ



とうつってきたのは、あれくるう大海原。
「むっ、船だ、難破船だ！」
たしかに、数万トン級の豪華船が、あわや波にのまれようとしている。
「あれほどの船が、すこしぐらい海があれたって、難破するのはへんだぞ。」
そう思ったしゅんかん、真吾は、ふいにうめいた。
「妖怪だっ。」
まさしく、難破船のゆくてには、海ぼうずのようなあやしい巨大なかげがせまっいてるではないか。

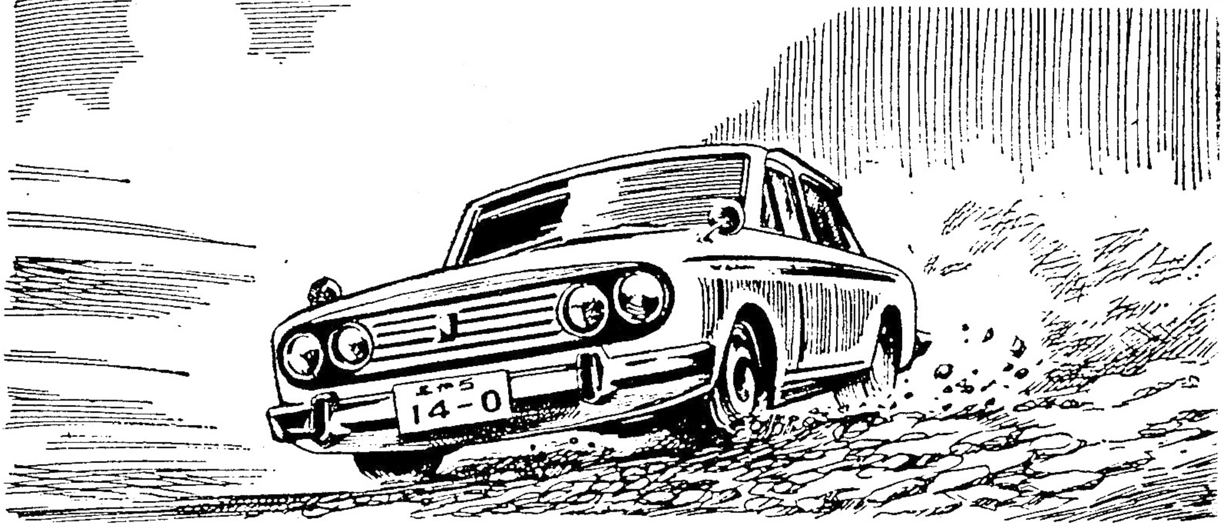


「おいっ、メフィスト、おきろ。えたいのしれない妖怪がうつっているんだ。」
「うるせえなあ。いちいち妖怪におどろいてて、悪魔がつとまるかってんだ。あんまりうるさいと、おれは消えちまうぞ。」
「消えたら、また魔法陣でよびだすまでさ。ものは相談だが、メフィスト、あす、ぼくの家族と、海へつりにいかないか。」
「いやなこった。」
「新鮮な魚がたべられるんだぜ。」
「おれは、くさった魚がすきだ！」
「ふん。それじゃ、こんな美人たちにもあいたくないんだね。」
真吾が、メフィストにつきつけたのは、週刊誌のグラビア＝ページだ。

悪魔くん

それは、水着コンクールの写真で、優勝の王冠をかぶった美人がにっこりしている。
「ひょう！　こんな美人にあえるの。」
とたんに、メフィストがはねおきた。
「よし。おまえのたのみを聞いて、海へいってつかわす。おほん。」
（ふふふ。古い週刊誌で悪魔がつれた。）
真吾は、おなかの中で舌をぺろり。
「やっほう！　とうちゃんはタクシーの運転手だから、ドライブにはべんりだね。」
ぜっこうのドライブびよりに、真吾一家をのせて出発した。
「とうちゃん、友だちをひとりつれていっていい。」
「友だち？　学校のかね。」
「いいえ、すこしひねてますが、わたくしです。」
とつぜん、第三の声がして、どこからともなくあらわれたメフィストが、ちゃっかり助手席におさまっている。
「きゃっ、いったい、あなたはだれです。」
おかあさんと妹の道子のはげしい悲鳴があがった。
「ですから、真吾くんの親友であります。
おや、これは





これは、うつくしいおくさま！」

メフィストは、むねのハンカチをとりだし、くしゃくしゃにもむと、

「ばらの花をどうぞ！」

さっとつかみだした、大きな花たば。

「かわいいおじょうさまには、おかしのプレゼントを！」

と、さらにメフィストは、一まいのハンカチの中から、だすはだすは、おかしのこうずい。

「すてき！　おじさま、一流の手品師なのね。　おにいちゃんに、こんなお友だちがいるなんて、見なおしたわ。」

道子は、たちまちメフィストの大ファン。

「きみには、これを……。」

こんどは、シルクハットの中から、さっとメフィストが真吾にわたしたものは……。



「ピ、ピストル！」

「ざんねんでした、水鉄砲です。　海で遊びたまえ。ひひひ。」

「ちょ、調子にのんな、　こいつ！」

真吾はおこった。

「**海**だっ海が見える。」

真吾のさけびを、両親は、うれしくてこうふんしていると見たにちがいない。

だが、これこそ妖怪の本拠地だと、武者ぶるいしているのだ。

「はてねばかにさびしいな。日曜日の海岸は、ドライブ族でにぎやかなはずだが……。」

おとうさんが首をかしげた。

「しずかなほうが、つりにはこうてごうだわ。さあ、あなた、お手なみはいけん。」



おとうさんおかあさんは、海に面した岩のはずれまできた。

「もしもし、そこのご家族づれ。」

うしろから声をかけられた。パトロールの警官が立っている。

「このへんで、つりをされるのなら、くれぐれも注意してください。ことしにかぎり、夏の海水浴客で、死体もあがらぬ水死者が続出したばかりか、つりにきた人が、何人も足をすべらせて海に消えています。それ、いまあなたが立っている、その岩からですよ。」

「ひえっ。」

おとうさんは、あわててあとずさりした。

「そのために、こんなにさびれてしまったのか……。」

警官が立ちさったとき、空がにわかにくもり、つめたい風がみんなのほおをなでて、すうっと海岸にもやがたちこめた。

「むっ、ただごしでないムードだ……。」

真吾の第六感に、ぴんとくるものがあった。

そのとき……。

「かかったぞ！」

おとうさんがよろこびのさけびとともに、いきよいよく、つりざおをはねあげた。

が、糸の先ははりだけで、おとうさんの頭をこえ、

「ちぇっ、美人なんてかげもないぜ。」

とぼやいていた、メフィストの鼻のあなにひっかかった。

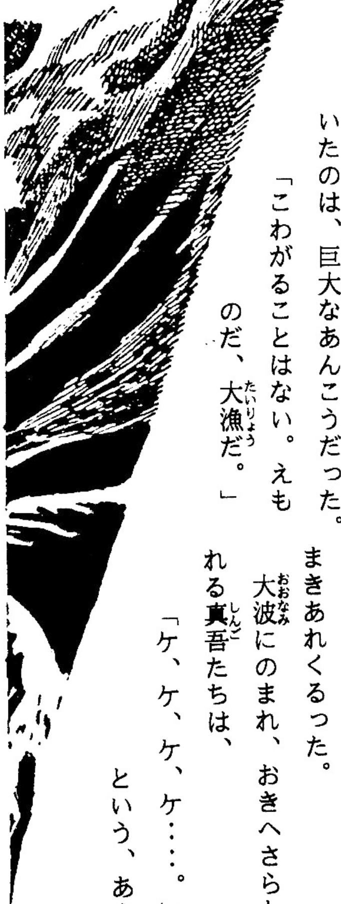
「ふあっ……はなはないたあい。」

あまりのいたさに、メフィストはあばれまわり、あやまって岩の上から海中へ……。

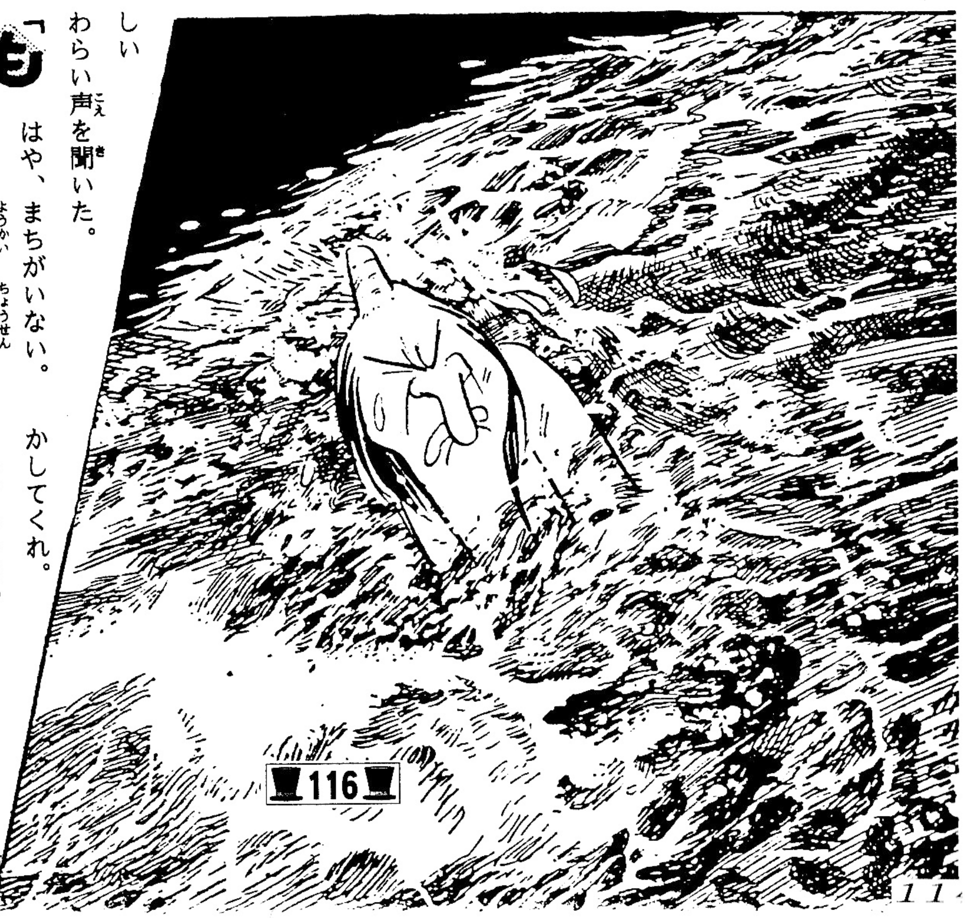
ザブーン！

「ぶるる。知らない人をおどろかすまいと、魔力をセーブしたら、こんなめにあう。」

と、メフィストは、ぶつぶついいながら、それでも、かろうじて両手を岩にかけた。



「メフィスト、早くあがれ！」
真吾がさけぶと、
「そ、それが……あがれねえんだ。何者か、おれの足をひっぱってやがるう。」
奇怪なメフィストのわめき。
「ようし、みんなでひっぱろう。」
一家四人で、メフィストの両手をひっぱると、こんどは、まるで手ごたえなく、すいっと、からだが持ちあがった。
そのとき、道子が悲鳴をあげた。
「きゃっ、おばけみたいな、あんこう！」
メフィストの足にくらいついていたのは、巨大なあんこうだった。
「こわがることはない。えものだ、大漁だ。」
おとうさんがあんこうに両手をかけ、力まかせにひくと、すぽりとはずれた。だが、これがだれも想像もしなかった、きょうふの怪事件のはじまりだった……。
ドドドーッ！
あんこうの口からあふれだした水……。というより、むしろ大こうずいだ。
「うわあっ、こいつのはらの中には、海があるみたいだあ。」
真吾のさけびは、オーバーではなかった。
たちまち、こうずいは、四人のいる岩をおおいつくし、さかまきあれくるった。
大波にのまれ、おきへさらわれる真吾たちは、
「ケ、ケ、ケ、ケ……。」
というあやしいわらい声を聞いた。



「もはや、まちがいない。これは妖怪の挑戦であるな。」
のんびりとつぶやいているメフィストに、真吾はどなった。
「もったいぶらないで、なんとかしてくれ。うっ、あっぷ。」
「さよう。このうえは、わが魔力、ぞんぶんにふるってくれん。」
なまけ者の悪魔も、ようやくハッスル。



「とべっ、魔力、飛行マント!」

さけび声をあげると、ぱあっと黒マントをひろげ、上空へ飛行しはじめた。

「このロープに身をまかせろ。」

と、海面へ投げおろしたロープが、するするとのびて、まるで生き物のように、四人のからだを、それぞれ一まきずつにした。

「あ、ありがとうござる。真吾、おまえは神さまをお友だちにもったのか。」

おとうさんが海上から手をあわせ、上空のメフィストをおがんだ。が、そのとき、

「ケッ、ケッ、ケッ、ケッ。」

怪鳥のさけぶような高わらいとともに、

ズアアーッ!

海がまっ二つにさけ、真吾たちを見おろして立ちはだかった、まるで入道雲のような大妖怪。

「ひいっ、うわての神、大海魔!」

おとうさんは、こんどはそのほうをおがみながら、からだは宙を飛行しはじめた。

「きゃっ、たまらん。こりゃ、おれにも手ごわすぎら。三十六計にげるにしかず。」

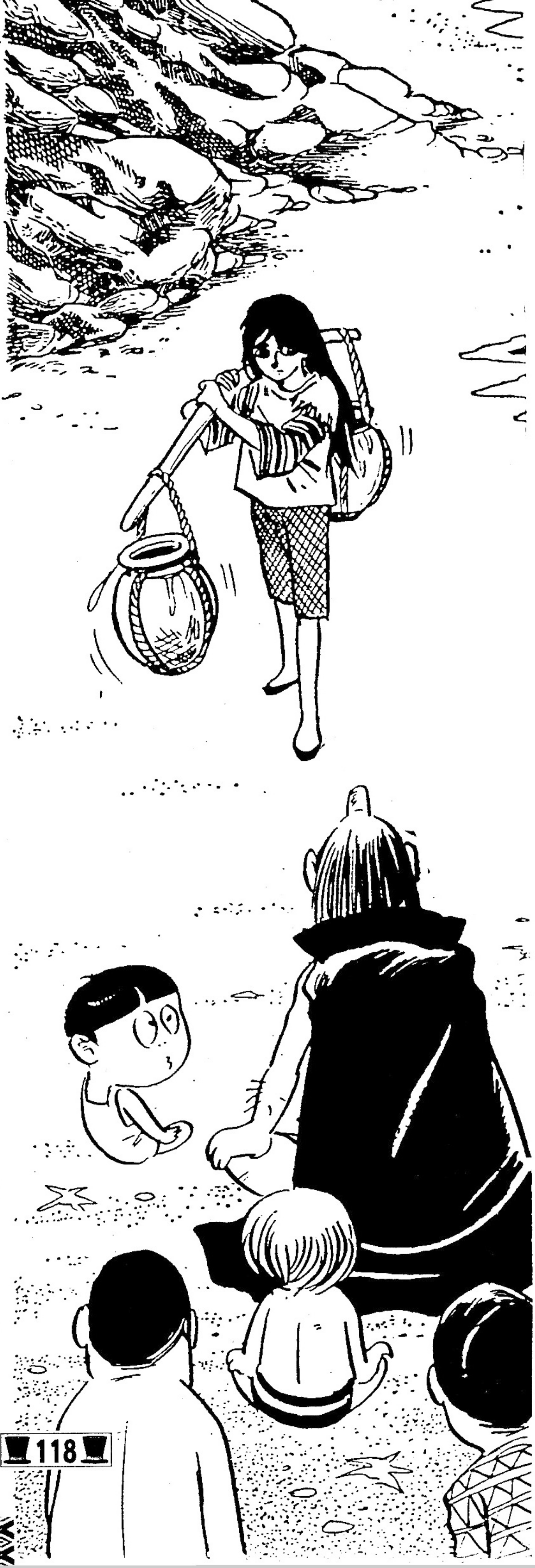
メフィストまでがきもをつぶし、四人をじゅずつなぎにしたロープをひっぱって、必死ににげはじめた。

大波をふみわけ、大手をひろげ、すごいスピードで、大海魔はせまってくる。

空中をとびながら、あまりのきょうふに、両親と道子の三人は気絶してしまった。

「しっかりしなよ、とうちゃんてば……。」

真吾にどなられたおとうさんは、



「ぴやあっ、大海魔さま。なにとぞおゆるし。わたしどもは、たべてもおいしくありません。」

そういうと、かめのこみたいに首をもちあげた。すると、

「おお、す、すなはまだっ。」

おとうさんは、全員そろって、白いすなはまにいることに、やっと気づいた。

「無人島かもしれないが、とにかく、命はたすかった。メフィストに感謝してよ。」

だが、メフィストは、これもすなはまにはいつくばり、

「魔力のエンジンが、やききれたわい。」

と、ひいひいいっている。

「みなさん、どうされたのです。」

ふいに、頭上で女の声がした。

「わっ、いた。真吾がいっていたとおりのすばらしい美人だ。」

とたんに、メフィストが、がばっとはねおき、うやうやしく一礼した。

ひとりのうつくしい女が、てんびんで水おけをかついでたずんでいる。

「あなたのようにうつくしい方が、またなぜ、このようなさびしい島に？」

メフィストの質問に、女は答えた。

「近ごろ、この島には、たくさんの水死体がうちあげられますの。わたしの父が島の持ち主でしたので、とりあえず、みなさんのたましいをとむらっているのです。」

いわれてみれば、たなびききりのかなたに、林のように立ちならぶそとばの行列！

「おお、心もまた、おうつくしい。」

感心しているメフィストの横か

ら、海水をのんで、のどがひりひりしいてる真吾がいった。

「おねえさん、そのおけの水を、すこしのませてくれませんか。」

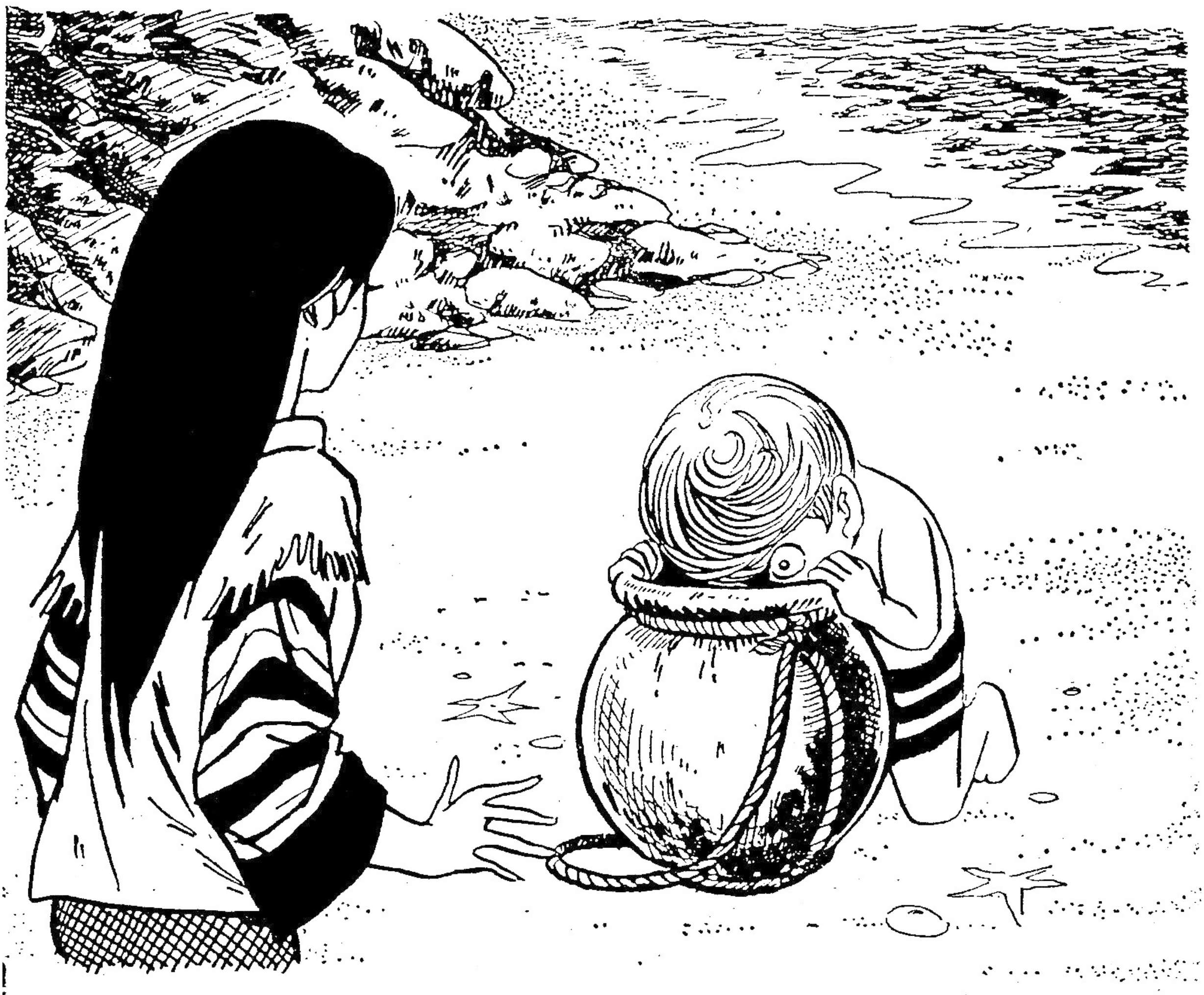
「さあ、どうぞ。」

さっそく、真吾は水おけに首をつっこんだが、とたんにはきだした。

「ぺ、ぺっ。なんだ、海水じゃないか。真水はないんでいか。」

「えっ、真水?おそろしいことを……。」

ふしぎなつぶやきをもらした女



は、すぐ、

「そ、そうでしたわ。島には真水がわかないので、これから本土まで、船で出かけようとしていたところなの。」

といいなおした。

「うわっ、これで家にかえれる。」

真吾は、船があるときいて、こおどりしてよろこんだ。

すぐ、みんなは、船にのせてもらい、島をはなれた。

やがて、船は、さっき大海魔に追われた海域にさしかかった。

「おっかなかったな、あの顔……二目と見られぬ、ものすごさだったぜ。」

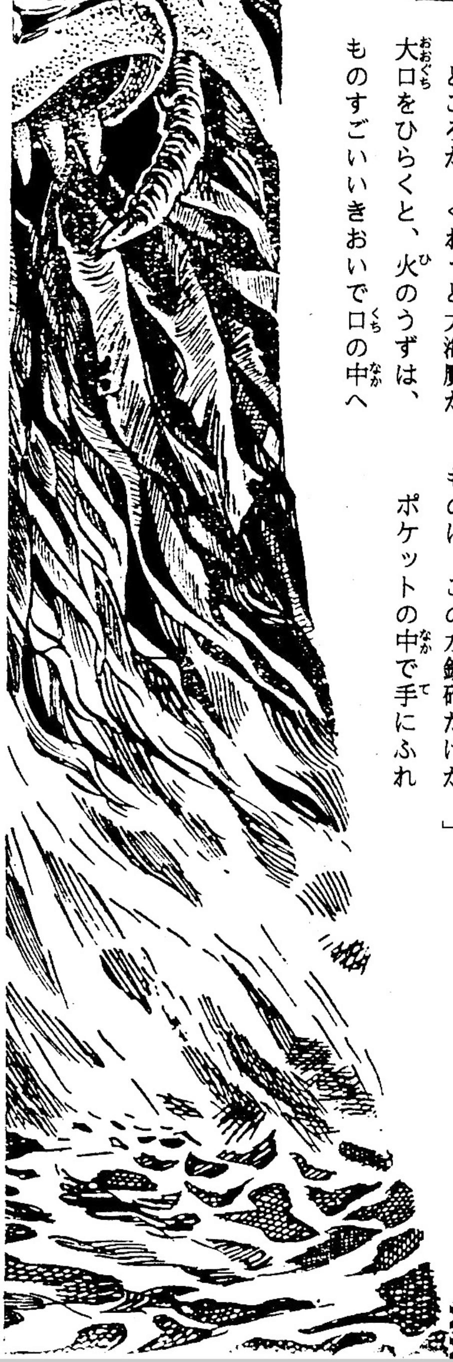
真吾が、メフィストにつぶやくと、

「それ、こんな顔でしたか。」

くるりと女がふりかえった。

「ぎゃっ。」





見よ！　いつのまにか大海魔の顔！

「おのれっ、だ、だましたな！」

メフィストのシルクハットの中から、魔力をひめるスティキをとりだし、横なぐりにはらうと、女――いや、大海魔は、ザブンと海の中へとびこんだ。

「魔力、地獄の火よ！」

メフィストのステッキの先からほとばしる猛火のうずが。追いうちをかける。

ところが、ぐわっと大海魔が大口をひらくと、火のうずは、ものすごいいきおいで口の中へすいこまれ、みるみるそのすがたは、入道雲のように巨大になっていった……。

「げっ、こっちの魔力の火をエネルギーにして、焼けぶとりとは……。もういけません。」

さしものメフィストも、完全にお手あげだった。

「だらしがないぞ、メフィスト！　こ、こうなったら、ぼくが……。」

と、真吾は身がまえたものの、

「といっても、身につけているものは、この水鉄砲だけか。」

ポケットの中で手にふれたのが、メフィストからもらった水鉄砲では話にならない。

が、まっこうから大海魔がおそいかかったしゅんかん、真吾は反射的に水鉄砲の引き金をひいていた。

チューッ！

あまりに無力な水しぶき。

「うぎゃおうっ。」

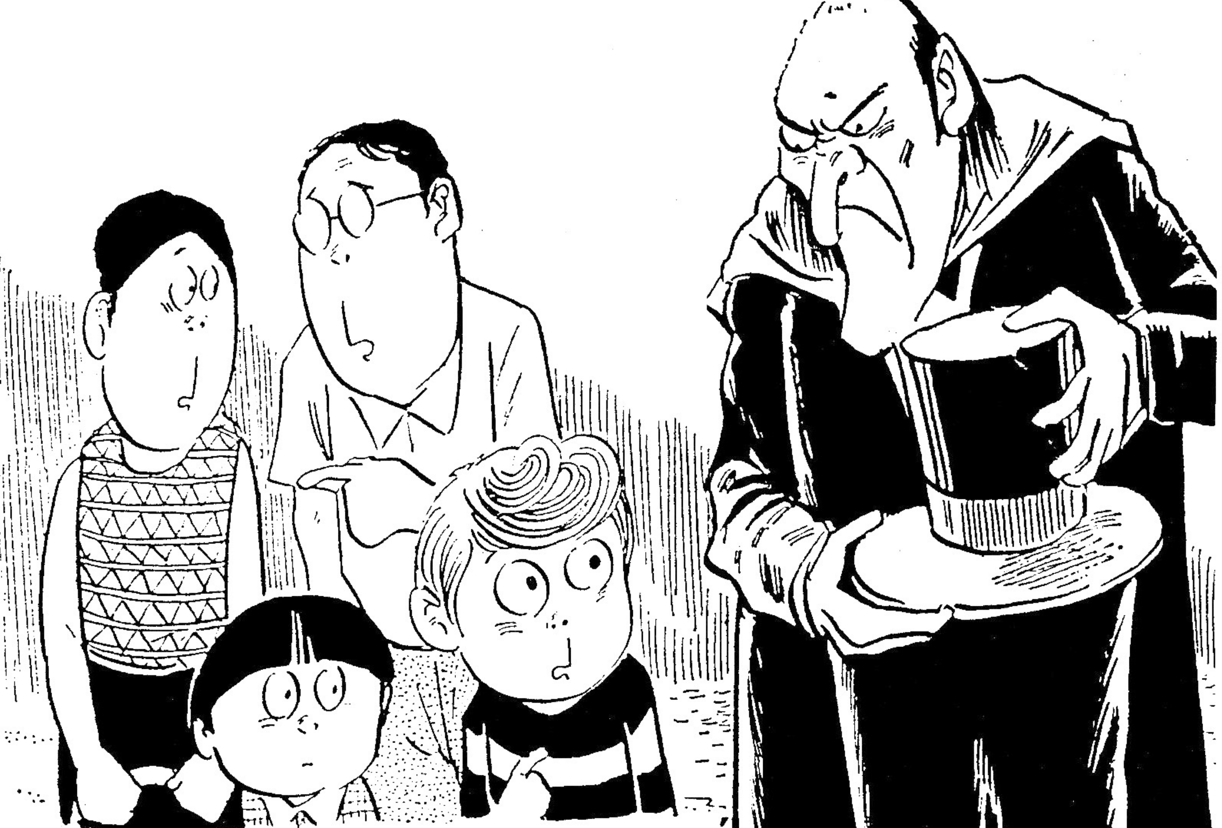
だが、とたんに、大海魔のすさまじい悲鳴。

意外にも、無力どころか、真水のかかった大海魔の顔が、どろどろにやけ



悪魔くん

★昭和四一年十一月一日『別冊少年マガジン』(講談社)より



ただれていくではないか！

「よめたぞっ。海の魔物は、真水に弱いのだ。」

メフィストが元気をとりもどし、そして、大魔法をやってのけた。

「魔力、ナイアガラ！」

ゴゴゴーッ

同時に、ほかでもない世界一のナイアガラの滝が、魔力にみちびかれて、大海魔の頭上になだれかかったのだ。

断末魔のうめきをとどろかせながら、どろどろっと消えさっていく大海魔。

「勝利のヒーローは、水鉄砲で攻撃した、ぼくっていうことになるな。」

「なにをいっちょる。ちゃんと水鉄砲に真水をつめておいてやったねおれの心づかいがあったればこそだ。」

「とにかく、この事件のために、ぼくは二度と海へつれてきてもらえないや。」

と、真吾が、いまだに気絶じょうたいの両親と道子の顔を見ながらいうと、メフィストがどなった。

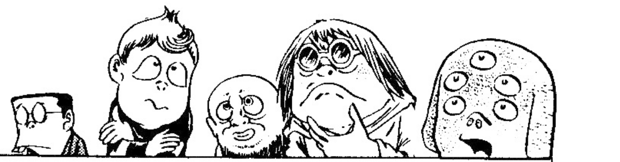
「それがいけねえ。レジャーとかなんとか、やたらに人間どもが海をあらすから、大海魔がおこったのよ。やつの気持ちもわかるぜ。」

しずまった海上にのぼってきた満月をあおいで、メフィストはしんみりしていた。

(おわり)


悪魔くん単行本リスト





【リスト凡例】

1……ここに列記されている出版物は、水伝本部が集手する全ての「悪魔くん」関連書物である。

2……TV及びビデオの映像作品は含まれていない。が、講談社ポケット百科のように水木しげるの原作画が使用されているものは『例外』として紹介している。

3……誌面と時間の都合により、続巻は紹介せず、第一号巻のみ紹介しているものもある。

4……『発行年月日』は書籍に記されているものを紹介し、不明のものは他のリストに頼らず、〔?〕とした。

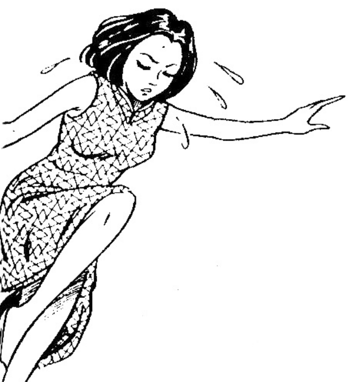
5……ページ数は、書籍の総数ではなく作品のページ数を記す。

6……表紙絵は書籍の表紙として初めて使用されたものは、全て「書下し」と記している。連載時に使用されてものでも、書籍で初めて使用されれば「書下し」とす。

7……備考は、平成十年十二月現在。書店か問屋で入手可能なものを、読者に知っていただくために記している。

8……そう言えば、『悪魔くん・世紀末大戦』以外の作品は、現在購読可能だ。良い時代である。

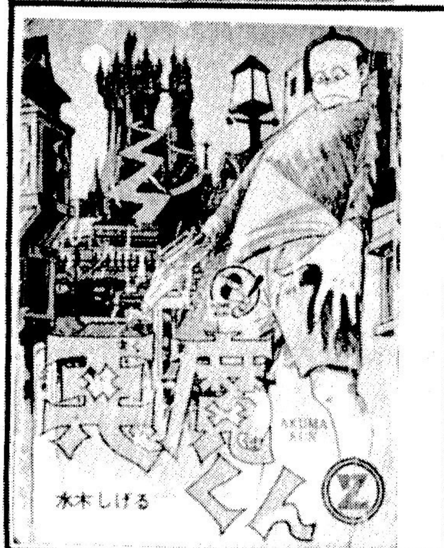
9……最後に収録作品とは、「悪魔くん」の本文以外に書籍に掲載されている他の作品は勿論のこと、解説や画報等の特集も記している。







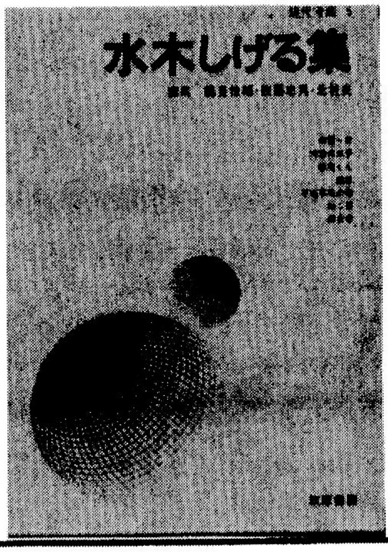
タイトル	悪魔くん AKUMA KUN #1
発行年月日	昭和３９年（１９６４）
出版社名	ホームラン文庫、東考社
ページ数	カラー(8P) モノクロ(127P)
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版　とても高い
収録作品数	読者コーナー



タイトル	悪魔くん AKUMA KUN #2
発行年月日	？
出版社名	ホームラン文庫、東考社
ページ数	
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	読者コーナー



タイトル	悪魔くん AKUMA KUN #3
発行年月日	？
出版社名	ホームラン文庫、東考社
ページ数	
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	読者コーナー



タイトル	現代漫画5——水木しげる集
発行年月日	１９６９年7月5日
出版社名	築摩書房
ページ数	カラー 1P　モノクロ 121P
表　紙	文字のみ、箱入り
備　考	悪魔くんダイジェスト版
収録作品数	○幽霊一家(45Ｐ)、河童の三平(75Ｐ)、勲章(９Ｐ)、不老不死の術(８Ｐ)、ねこ忍(12Ｐ)、錬金術(12Ｐ) エッセイ－ねぼけ人生【水木先生】(８Ｐ) 紙芝居と貸本の世界から【鶴見俊輔】(８Ｐ)



タイトル	悪魔くん
発行年月日	昭和48(1973)年８月１５日
出版社名	北冬書房
ページ数	モノクロ　３９２Ｐ
表　紙	題字のみ
備　考	絶版
収録作品数	貸本版　悪魔くん１、２、３、



タイトル	複刻版 悪魔くん ①（昭和漫画傑作集）
発行年月日	昭和51(1976)年３月１２日
出版社名	二見書房、サラ文庫
ページ数	モノクロ　１９９Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	貸本第１巻 エッセイ－悪魔くん【平野威馬雄】(３Ｐ)



タイトル	複刻版 悪魔くん ②（昭和漫画傑作集）
発行年月日	昭和51(1976)年３月１２日
出版社名	二見書房、サラ文庫
ページ数	モノクロ　１９８Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	貸本２、３巻

エッセイ－悪魔くんに至まで【加太こうじ】（４Ｐ）



タイトル	悪魔くん　上巻
発行年月日	昭和61(1986)年２月２０日
出版社名	東考社、桜井文庫４６
ページ数	モノクロ　１３５Ｐ
表　紙	貸本１巻の絵を銀１色刷り
備　考	絶版
収録作品数	貸本第１巻収録

読者コーナー



タイトル	悪魔くん　中巻
発行年月日	昭和61(1986)年２月２０日
出版社名	東考社、桜井文庫４７
ページ数	モノクロＰ　１３３Ｐ
表　紙	貸本２巻の絵を銀１色刷り
備　考	絶版
収録作品数	貸本第２巻収録

読者コーナー



タイトル	悪魔くん　下巻
発行年月日	昭和61(1986)年２月２０日
出版社名	東考社、桜井文庫
ページ数	モノクロ　１３２Ｐ
表紙	貸本３巻の絵を銀１色刷り
備考	絶版
収録作品数	貸本第３巻収録

読者コーナー

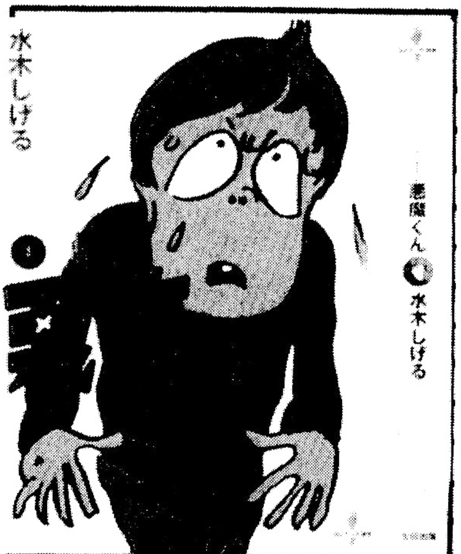


タイトル	水木しげる貸本漫画傑作選 12 悪魔くん〈上〉
発行年月日	昭和62(1987)年２月２８日
出版社名	朝日ソノラマ
ページ数	登場人物紹介1P ﾓﾉｸﾛ 267P
表　　紙	カラーコラージュ
備　　考	絶版
収録作品数	貸本第１、２巻収録



タイトル	水木しげる貸本漫画傑作選 13 悪魔くん〈下〉
発行年月日	昭和62(1987)年３月３１日
出版社名	朝日ソノラマ
ページ数	登場人物紹介1P ﾓﾉｸﾛ 132P
表　　紙	カラーコラージュ
備　　考	絶版
収録作品数	貸本第３巻

異形の者（５０Ｐ）、永仁の壺（１２０Ｐ）



タイトル	定本　悪魔くん
発行年月日	平成9(1997)年５月１３日
出版社名	太田出版
ページ数	カラー　８Ｐ　モノクロ　402P
表　　紙	多色刷りコラージュ
備　　考	現行品
収録作品数	読者コーナー２巻の物４Ｐ

エッセイ―コーネーリアスが気になった
場面集、東考社版　悪魔くんの時代
悪魔くん複刻版を読んで（関口淳）
予言者としての悪魔くん（米沢嘉博）



タイトル	悪魔くん復活　千年王国 魔法陣をとけ！の巻
発行年月日	昭和46(1971)年１月３１日
出版社名	集英社 ジャンプコミックス
ページ数	モノクロ　１９５Ｐ
表　　紙	カラー書下し？
備　　考	絶版
収録作品数	

エッセイ―黄色いバナナ【長井勝一】
（２Ｐ）



タイトル	悪魔くん復活　千年王国 悪魔との契約の巻
発行年月日	昭和46(1971)年２月２８日
出版社名	集英社 ジャンプコミックス
ページ数	モノクロ　１８９Ｐ
表　　紙	カラー書下し？
備　　考	絶版
収録作品数	扉１Ｐ、あらすじ２Ｐ

エッセイ―みんなに親しまれる妖怪たち
【三遊亭金馬】（２Ｐ）



タイトル	悪魔くん復活　千年王国　不滅の戦いの巻
発行年月日	昭和46(1971)年３月３１日
出版社名	集英社 ジャンプコミックス
ページ数	モノクロ　１９６Ｐ
表　紙	カラー書下し？
備　考	絶版
収録作品数	エッセイ－千年王国はきみの手で【熊倉一雄】（２Ｐ）



タイトル	千年王国　悪魔くん復活　魔法陣をとけ！の巻
発行年月日	昭和51(1976)年３月１５日
出版社名	汐文社　ホームコミックス
ページ数	モノクロ　１９４Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	



タイトル	千年王国　悪魔くん復活　悪魔との契約の巻
発行年月日	昭和51(1976)年３月１５日
出版社名	汐文社　ホームコミックス
ページ数	モノクロ　１９０Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	扉１Ｐ、登場人物紹介２Ｐ



タイトル　千年王国
悪魔くん復活　不滅の戦いの巻

発行年月日	昭和51(1976)年４月１日
出版社名	汐文社　ホームコミックス
ページ数	モノクロ　１９８Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	扉１Ｐ、あらすじ２Ｐ



タイトル　悪魔くん
千年王国　第１集

発行年月日	昭和60(1985)年６月６日
出版社名	講談社　ＫＣスペシャル
ページ数	モノクロ　３５２Ｐ
表　　紙	カラー書下し？
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル　悪魔くん
千年王国　第２集

発行年月日	昭和60(1985)年７月６日
出版社名	講談社　ＫＣスペシャル
ページ数	モノクロ　２２８Ｐ
表　　紙	カラー書下し？
備　　考	絶版
収録作品数	宇宙卵　１０１Ｐ



タイトル	悪魔くん 千年王国 Ⅰ
発行年月日	１９８９年４月１７日
出版社名	講談社コミックス　1443
ページ数	モノクロ　１９９Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん 千年王国 Ⅱ
発行年月日	１９８９年４月１７日
出版社名	講談社コミックス　1444
ページ数	モノクロ　１８７Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん 千年王国 Ⅲ
発行年月日	１９８９年４月１７日
出版社名	講談社コミックス　1445
ページ数	モノクロ　１９７Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん　千年王国　（全）
発行年月日	１９８８年6月２８日
出版社名	ちくま文庫
ページ数	モノクロ　５７２Ｐ
表紙	カラー再録
備考	現行品
収録作品数	エッセイ－私と「ガロ」と水木さん（佐々木マキ）４Ｐ



タイトル	悪魔くん復活　千年王国　壱　魔法陣をとけ！の巻
発行年月日	１９９８年１０月２４日
出版社名	集英社　ジャンプコミックセレクション
ページ数	モノクロ　２９６Ｐ
表　　紙	カラー再録
備　　考	現行品　弐も発売中
収録作品数	



タイトル	小説版　悪魔くん千年王国　ＶＯＬ．１起の巻
発行年月日	
出版社名	小学館　スーパークエスト文庫
ページ数	カラー４Ｐ　モノクロP 187P
表　　紙	カラー再録「世紀末大戦」より
備　　考	現行品、VOL.2も発売中
収録作品数	



タイトル　悪魔くん

発行年月日	昭和43(1968)年６月１０日
出版社名	講談社　Kodansya Comics
ページ数	モノクロＰ　223Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル　悪魔くんの冒険

発行年月日	昭和46(1971)年８月１０日
出版社名	朝日ソノラマ　サンコミックス
ページ数	モノクロ　１８４Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	

その後のゲゲゲの鬼太郎　４７Ｐ



タイトル　がんばれ悪魔くん①

発行年月日	昭和51(1976)年３月１０日
出版社名	双葉社　パワァコミックス
ページ数	モノクロＰ　１８１Ｐ
表　　紙	書下し？
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	がんばれ 悪魔くん ②
発行年月日	昭和51(1976)年４月１０日
出版社名	双葉社　パワァコミックス
ページ数	モノクロ　１７１Ｐ
表紙	書下し？
備考	絶版
収録作品数	死声　１６Ｐ



タイトル	悪魔くん（全）
発行年月日	昭和59(1984)年６月３０日
出版社名	朝日ソノラマ　サンワイドコミックス
ページ数	モノクロ　４０７Ｐ
表紙	２色刷り　書下し
備考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん　カラー版妖怪まんが　入門百科１７５
発行年月日	昭和60(1985)年８月５日
出版社名	小学館入門百科シリーズ
ページ数	カラー16P　2色カラー143P　カラー扉1P
表紙	書下し？
備考	絶版
収録作品数	悪魔くんについて【水木しげる】(４Ｐ)、妖怪事典(１０Ｐ)



タイトル	悪魔くん　1
発行年月日	昭和60(1985)年１２月１７日
出版社名	講談社　ＫＣＭ
ページ数	モノクロ　２０３Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん　2
発行年月日	昭和60(1985)年１２月１７日
出版社名	講談社　ＫＣＭ
ページ数	モノクロ　２０７Ｐ
表　　紙	カラー書下し
備　　考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん
発行年月日	平成4(1992)年１２月１５日
出版社名	朝日ソノラマ　サンスペシャルコミックス
ページ数	モノクロ　４０７Ｐ
表　　紙	カラー再使用
備　　考	絶版
収録作品数	妖花アラウネ(32P)、アンコールワットの女(31P)、虹の国アガルタ(31P)、猫又の恋(30P)、死女の手(31P)、怪骨(31P)、吸血鬼(32P)、妖怪水車(44P)血太郎奇談(40P)、



タイトル	悪魔くん 世紀末大戦
発行年月日	1989年4月20日
出版社名	光文社 KOBUNSHA COMICS
ページ数	モノクロ 213P
表紙	カラー書下し
備考	
収録作品数	



タイトル	悪魔くん ふしぎ大百科
発行年月日	1989年7月20日
出版社名	講談社 ポケット百科シリーズ 63
ページ数	カラー32P モノクロ112P
表紙	セルアニメ
備考	絶版
収録作品数	モノクロページは水木先生の妖怪画を使用



タイトル	最新版 悪魔くん①
発行年月日	1989年7月17日
出版社名	講談社 ボンボンコミックス
ページ数	モノクロ 194P
表紙	カラー書下し
備考	絶版
収録作品数	



タイトル	最新版 悪魔くん②
発行年月日	１９８９年１０月１７日
出版社名	講談社 ボンボンコミックス
ページ数	モノクロ　２０１Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	



タイトル	最新版 悪魔くん③
発行年月日	１９９０年3月１７日
出版社名	講談社 ボンボンコミックス
ページ数	モノクロ　１８９Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	



タイトル	水木しげるの ノストラダムス大予言
発行年月日	１９９３年8月1日
出版社名	辰巳出版 タツミコミックス
ページ数	モノクロ　２７０Ｐ
表　紙	カラー書下し
備　考	絶版
収録作品数	

特別対談―精霊と共に生きよう【水木しげるＶＳ宮田雪】（７Ｐ）



タイトル	水木しげるの ノストラダムス大予言　世紀末編
発行年月日	１９９４年7月１５日
出版社名	辰巳出版　タツミコミックス
ページ数	モノクロ　２６２Ｐ
表紙	書下し
備考	絶版
収録作品数	あとがき－宮田雪(４Ｐ)



タイトル	水木しげるの ノストラダムス大予言（上）
発行年月日	１９９６年１０月３０日
出版社名	扶桑社文庫
ページ数	モノクロ　２７０Ｐ
表紙	再使用
備考	現行品
収録作品数	



タイトル	水木しげるの ノストラダムス大予言（下）
発行年月日	１９９６年１０月３０日
出版社名	扶桑社文庫
ページ数	モノクロ　２６２Ｐ
表紙	再使用
備考	現行品
収録作品数	



タイトル	死神大戦記〈下〉－鬼太郎対悪魔くん
発行年月日	昭和６０年８月３０日
出版社名	朝日ソノラマ
ページ数	モノクロ　３２Ｐ
表紙	再使用
備考	絶版
収録作品数	死神大戦記〈下〉１４５Ｐ

ゲゲゲの鬼太郎「蓮華王国」（３２Ｐ）
大ボラ鬼太郎（７Ｐ）
ゲゲゲの鬼太郎・妖怪ロッキード（２０Ｐ）
鬼太郎のベトナム戦記（９６Ｐ）



タイトル	悪魔くん　悪魔なんでも入門
発行年月日	昭和56(1981)年１１月１０日
出版社名	小学館入門百科シリーズ65
ページ数	カラー8Ｐ　2色カラーモノクロ171Ｐ
表紙	カラー書下し
備考	絶版
収録作品数	



タイトル	世界の妖怪　１００話
発行年月日	昭和56(1981)年１１月１０日
出版社名	小学館入門百科シリーズ119
ページ数	カラー8Ｐ　2色カラーモノクロ171Ｐ
表紙	カラー書下し
備考	絶版
収録作品数	



タイトル	悪魔くん　1
発行年月日	１９９６年８月３０日
出版社名	扶桑社文庫
ページ数	モノクロ　１８９Ｐ
表　　紙	カラー書下し？
備　　考	現行品　2、3巻も発売中
収録作品数	



タイトル	水木しげる 妖怪大画報
発行年月日	平成9(1997)年11月21日
出版社名	株式会社コミックス
ページ数	２色カラー&モノクロ51Ｐ
表　　紙	コラージュ
備　　考	現行品
収録作品数	カラー妖怪画報(12Ｐ)

日本の妖怪画報(22Ｐ)、世界の妖怪画報(10Ｐ)、墓場の鬼太郎画報(34Ｐ)、ゲゲゲの鬼太郎画報(41Ｐ)、水木しげる妖怪大画報の世界(6Ｐ)、あとがき【水木しげる】(2Ｐ)



タイトル	水木伝説IV －悪魔くん特集－
発行年月日	平成元年１２月１７日
出版社名	水木しげる黄金時代愛好者倶楽部
ページ数	モノクロ60Ｐ
表　　紙	再使用
備　　考	絶版('99年再版予定)
収録作品数	

再版

水木伝説Ⅳ
《悪魔くん特集》

☜ 平成元年に発行された水木伝説、最初の「悪魔くん」特集が10年ぶりに再版される。水木伝説の今までの再版と云えば補足記事や原稿を大幅に改訂したものであったが、今回は文字をワープロにうち直した程度で、資料や情報、次号の広告もそのまま再現。ただし当時の編集技術が未熟な為、量産は控えさせていただき、会員のみの限定販売にさせていただきます。

御希望の方は、往復葉書か返信用切手同封の封書でご予約ください。

〒654-0151 須磨区北落合3-38-217-709
水木伝説Ⅳ予約 係 迄



水木伝説XⅣ
《悪魔くん特集Ⅲ・光輝の書一編》☞

今回の悪魔くん特集(創造の書一編)に引き続き、次回の水木伝説も悪魔くん特集Ⅲ・光輝の書一編だ！

次回は特撮とアニメの「悪魔くん」にスポットをあて、以下のような内容でお届けする。

♡実写版「悪魔くん」全話ガイド
◊アニメ版「悪魔くん」全話ガイド
♤ＴＶ版「悪魔くん」関連商品カタログ
♧アニメ版「悪魔くん」設定資料集
☆ＴＶ版「悪魔くん」妖怪大図鑑
◇ＴＶ版「悪魔くん」人物大図鑑
□「悪魔くん」まぼろしの(資料)館、他

本誌と再版と次号の３冊は揃えたいね。

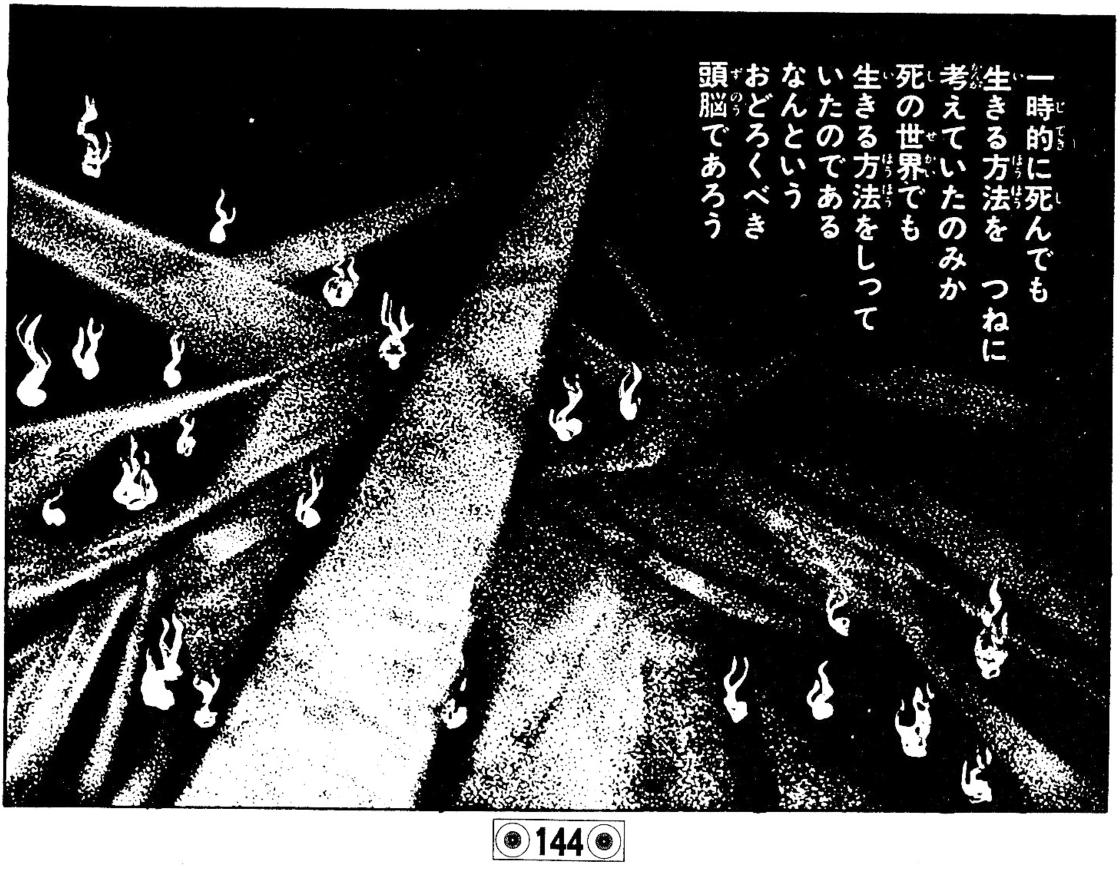
尚、次号は平成11年度在籍会員全員に配布されます。更新手続きのまだの人は年会費を送りましょう！

次号予告




復活悪魔くん


「悪魔くん」は
一度死んだのであるが
なにしろ　人類が
かつて生んだことの
ないほどの　頭の
持ち主であるから


一時的に死んでも
生きる方法を　つねに
考えていたのみか
死の世界でも
生きる方法をしって
いたのである
なんという
おどろくべき
頭脳であろう


死の世界で　よみがえった
「悪魔くん」は
もちまえの頭脳で
地獄の魔物を征服した
ガ


どうやら長いあいだみだれていた地獄もこれで統一されたようだ
さようでございます


そこで われわれは 地獄から地上 すなわち「生者の 世界」に
これから 進撃しよう と思う
すると「死者の世界」のものが
生者の世界を 征服する のですか
征服? ……そんなもん じゃあない
地獄も地上も ひとつの 世界に して しまう のだ
では 地上に むかって 進撃しよう
わかり ました

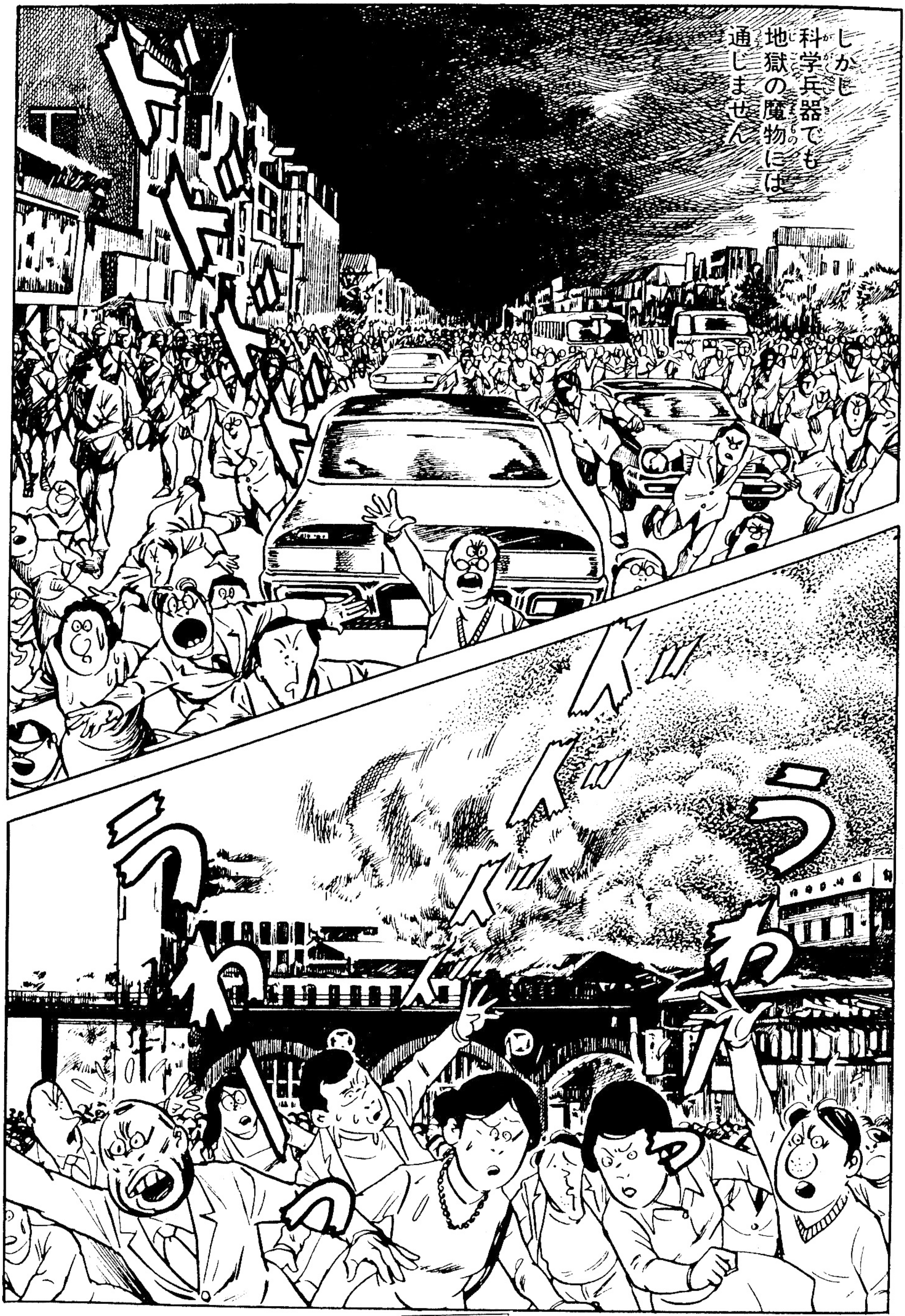

ここは東京の
どまん中　日本橋
時ならぬ地鳴りと
ともに　大地にキレツが
生じたから　大さわ
ぎになった
なんだ
うわーっ
あっ
なにか
でてきた
ぞーっ


うわ
地獄の魔物だーっ
ピ
ピ
ピ
退避してくださーい


臨時ニュースを申しあげます
東京 日本橋の地下からあらわれた魔物は
「悪魔くん」という 十年まえに死亡した子どもであることが判明しました
スタジオにそれぞれの専門家をおまねきして謎を解明していただこうと思います
さっそくおうかがいいたしますが
これは人類がいまだかって生んだことのない
頭脳の持ち主である「悪魔くん」が死して死を征服したのだと思います
オソロシイことです
山田博士のいわれるとおりであります
と申しますと
悪魔くんは死んでも生きる方法をしっていたのです
ギョッ
ポロ


ニュースキャスターがたおれてはいけません
気持ちを大きくもってください
考えてみれば人類が生まれてからなん万年にもなりますが
死を征服して地上にでた人間がありましょうか
ちょっととちゅうですが臨時ニュースを
申しあげます山手線の内側の都民にひなん命令がでました
おもしれえことになったじゃないの
人類が生まれてからこの世がつねに不幸と狂乱の中にあることをねがう魔女のむれは テレビをみながらよろこんでいた
これを機会に世の中をムチャクチャにしようじゃないの
わたし自衛隊にいって「悪魔くん」と戦うようにさせるわ


それは
おもしろいじゃ
ないの
首相は　あくまでも
武力の行使を禁じたが
魔女の説得が　功を
そうしたのか　自衛隊の
出動となり　地獄の
魔物と戦争になった
ダタタ
ドドドド


しかし科学兵器でも地獄の魔物には通じません


それどころか自衛隊の出動はかえって「悪魔くん」に東京占領の口実をあたえたようなものだった
ついに東京は「悪魔くん」のために占領されてしまいました
政府は富士山麓に臨時首都をもうけ　対策に大わらわです
事件評論家山名宗全先生にスタジオにきていただいていますので……
まあなんですなあ
ボンクラといおうか


ボーフラといおうか
あっ どなたがですか
首相ですよ
「悪魔くん」と話し合いで解決すべきところを 自衛隊を投入したのが
まずかったです
このままですと地獄の魔物に日本は占領されてしまいますよ
ははははは
あんがいカンタンにケリがついたわね
笑ってばかりおれないわ
このままだと
「悪魔くん」の考えている
地上天国ができてしまうわ
そうね
なんとか「悪魔くん」を撃破し
地上を混乱におとしいれなくては……


そうです
鬼太郎をひっぱりだして一戦まじえさせたら
あ それがいいわ
だれが説得にいくの
あれは美人に弱いから
じゃあわたしいってくる


ごめん
ください
トントン
だれだい
こんな
夜ふけに
鬼太郎さんに
お会いしたい
のですけど
鬼太郎は
おくで
ねている
けど
これ
おいしい
ケーキ
です
ふん
ケーキぐらいで
鬼太郎に
会わすわけ
には
いかないな
あんた
日本に
大事件が
おこったの
しってるの
ナンノ
コッタイ
地獄の
魔物が
東京を
占領したのよ
フハ


もういまごろ関東一円を手にいれてるかもしれないわ
なにしろテレビもラジオも新聞もないもんだから……
大仕事じゃないの
そうよ
ピーナツなん個だ
あんた顔ににあわず話せるじゃないの
どうこれくらいで
もうちょっとでねえかヨ
あんたピーナツだなんてこまかいこといわずに
鬼太郎が「悪魔くん」をやっつけたあと日本を半分もらったらどう……



そりゃ またデカイ
それは それ
ピーナッツは ピーナッツで いきましょ
じゃあ
これくらい だすから われわれの 仲間に なったら
いいです
鬼太郎のことは まかしときなさい
イヒヒヒヒ
鬼太郎
あっ
ビビビビ
なんてこと するんだ
それどころじゃないんだ
天下国家の大事だ
地獄の魔物がでて 東京を占領してしまったそうだ
エエッ



それはたいへんだ
地獄の魔物がでて日本を占領すれば
日本は地獄になる
なるほど
鬼太郎はやっぱり頭いいね
ものわかりがはやいものネ
ねずみ
あいよ
砂かけ子なき一反木綿ぬりかべ、たちをあつめてくれ
いよいよはじまったぞ――っ
どうしたんだ
なにがはじまるんだ


地獄の魔物が
東京を占領した
こうなると
われわれも
いままでどおり
のんびりしてられ
ない　そこで
いまから東京を
占領する




臨時ニュースを申しあげます
日ごろどこにいるのかわからない妖怪たちが大群をなして
甲州街道をすすみ新宿にはいるつもりのようです
このもようでは八王子あたりで大会戦があると思われます
人間はすべて退避してください
われわれの常識では考えられない戦いがはじまるからであります
もう一度くりかえします
鬼太郎たちどこまで戦えるかねえ
長期戦になればしめたもんだ


なに
鬼太郎が妖怪をひきつれてやってきた……
はい
新宿までさがれ
すると新宿で大会戦を……
しかし戦端ははやくもひらかれた


それ やすまずに おっかけろ〜〜〜っ
ヨイショ ヨイショ
バーン
あーーっ 幻覚弾だ
方向 まちがえるんじゃねえぞーーっ
おい 新宿のビルがみえたぞーーっ


臨時ニュースを申しあげます
きょう夕方
日本妖怪軍は新宿を占領したもようであります
こうなりますと妖怪が「悪魔くん」を撃破し東京を占領した場合
東京は永久に妖怪のものになってしまうのではないかという心配がでてきました
そこでその道の専門家に今後の予想をしていただきました
妖怪大学の水木教授です
まぁなんといいますか
いままで野山にかくれ人間に遠慮して生きていた妖怪の実力がわかったということになれば
とうぜん妖怪たちの自治をみとめるということになるのではないでしょうか


と申しますと東京の半分は妖怪にあけわたすとでも……
もちろんです
そんなばかな
大臣
妖怪なんかに東京をわたせますか
このさいアメリカさんにおねがいして水爆でも投下して妖怪の一掃をはかるべきです
なんというばかな
きさまこそばかだ人間なら人間の味方しろ〜〜〜〜っ
といったような意見が専門家の方がたの意見でございました
しかしあんがい「悪魔くん」が弱いようだわね
あんたあいてはいまだかつて人類が生んだことのないアタマよ
負けるとは考えられないわ


一反木綿が
新宿から都心の
方面を偵察したが
地獄の魔物の姿は
どこにもなかった
そうすると
地獄の魔物たちは
ひょっとしたら
地獄に一時
退却したのかも
しれない
鬼太郎
そうなりゃあ
一時
休息して
そこらの店に
ほったらかしに
してある
おいし
いもの
でも
たべて
きょうは
休息しよう
じゃねえか
そう
するか


そのときだった
高いビルから地獄の魔物が
いっせいに降下したのである
ウォーッ


退却だーっ
こんなにきゅうにかこまれちゃあ退却もできない
ビルににげよう
ビルは地獄の魔物の巣になっている
モ
ポ ポ ポ
キャ



鬼太郎こりゃあもうだめだ!!
きやがったぜーっ
髪の毛針もつかいすぎて丸坊主だし
鬼太郎最後じゃチャンチャンコを敵になげつけろ
みんな突撃じゃ――っ


パ
戦況を申しあげます
新宿のビルを利用した「悪魔くん」の作戦のため日本妖怪軍は敗走し
鬼太郎たちはかこまれかろうじて神通力を持っているといわれる
チャンチャンコで身をまもっていますがカイ、メツは時間の問題といわれています
あんがい「悪魔くん」はやるね
だが鬼太公もみすてたもんじゃないわ


あのチャンチャンコは祖先の霊毛でできてんのよ
かんたんにゃあやられないと思うけど
だけどあれだけやられればやはり負けるのは時間の問題よ
そのころ鬼太郎ははだかで戦っていた
鬼太郎もうおしまいだ——っ
ガッ
そのとき!!
みんなまて
あっ悪魔く——ん
ピョーン
きみは戦うべきあいてではない
!?

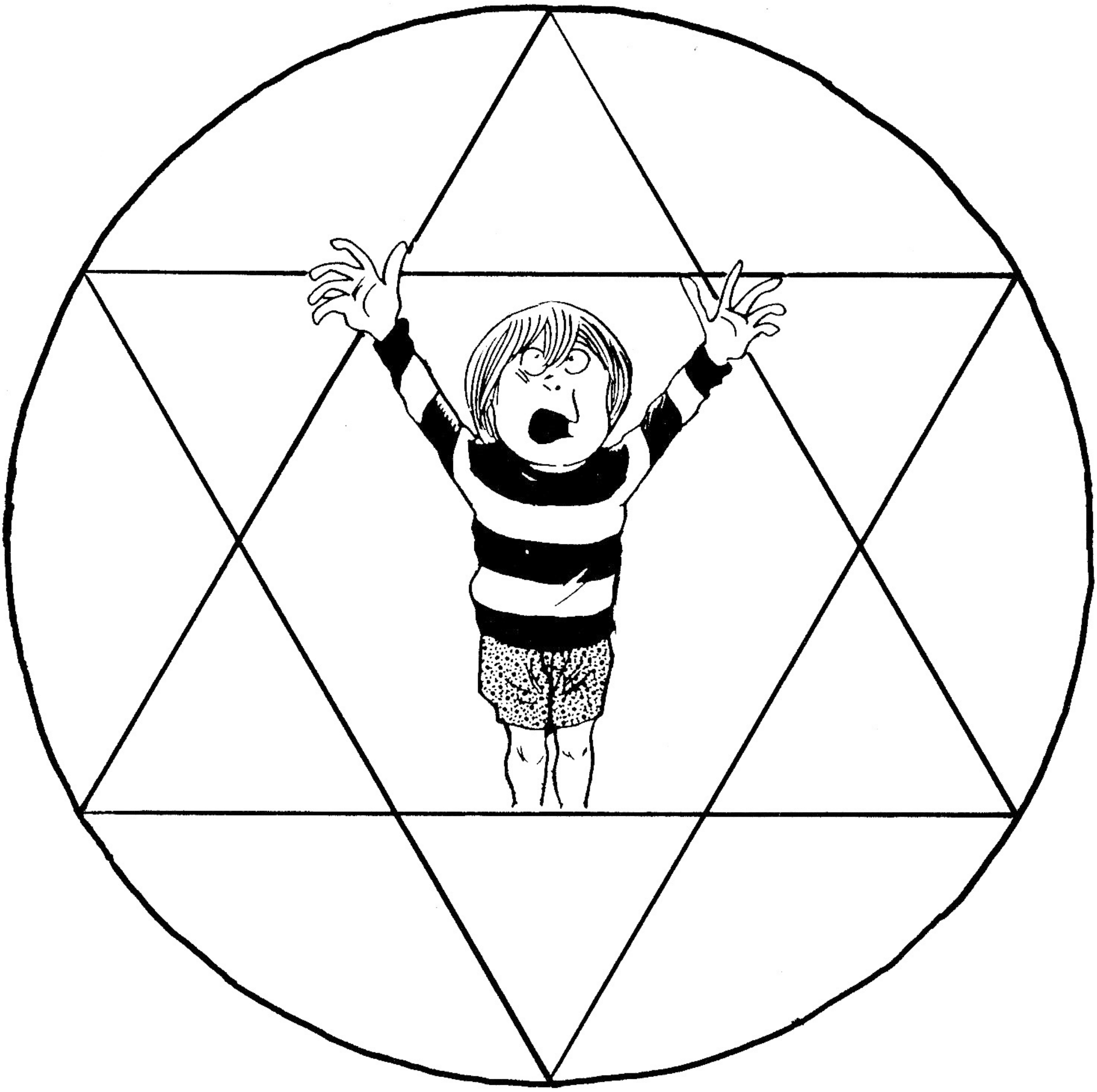

おたがいに正義の味方として手をとりあっていかねばならぬ仲です
なるほど
悪魔くん
きみは真の友人だ
きき鬼太郎そんなきゅうになかよくしちゃあまずいよ
まずかないわれわれは正義の味方なんだから
そうだ
「悪魔くん」は演技がうまい……
ブ
ばかばかしい

★昭和五一年七月一日『月刊少年ジャンプ』（集英社）より



【おわり】

平成版



感想コーナー

『千年王国』の出合いと感想

米吉 和久



来年の「七月」は、人類滅亡の時、そして、世紀末の年、書店にも『ノストラダムス本』が書棚の一角を占めている有様。その幾多の『ノストラダムス本』の中には、いろいろと『ノストラダムス関連書』を研究している本がある。そんな中に時折、あの名作がその対照として収録されている。その名は『悪魔くん』。

私と『悪魔くん』との出合いは、東映が昭和四一年に放映を開始した実写版である。私は昭和四〇年生まれなので、本放送はみていないが、子どもの頃には、今と違って再三再四に渡って再放送をよくしていたのでそれで観た。

もともと、モノクロ版の『ゲゲゲの鬼太郎』は特によく熱心にみていたらしく、例の熊倉一雄の歌声が聞こえてくるとTVの前から離れなかったそうだ。それと同時に『水木しげる』という名の劇画家の名を知った。

小学校に入学して、土曜の夜に母親と一緒に家の近所の貸本屋に行き、虫プロから出版されていた『ゲゲゲの鬼太郎』をよく貸りていた。その『鬼太郎』全七巻の横にジャンプコミックスの『千年王国』があった様に思う。その時は今の若いファンと同じで『鬼太郎』だけが水木しげるの作品と思っていたので、それには手を出さなかった。それにまだ小学校へ入学したてなので『せんねんおうこく』と読めなかった為である。本当に唯『ゲゲゲ』と書いてあったら、もうそれで満足していたのである。

色々と友達も増え、だんだんと学年が上がるにつれ、





自転車という武器を手に入れた。それを利用して、他校区のにある児童館に行く様になった。児童館には『小学一年生〜六年生』の学習雑誌や『冒険王』『少年マガジン』『ジャンプ』『サンデー』『キング』と色々とあった。また『人生ゲーム』や『沈没作戦ゲーム』、『野球盤』等のゲームもあった。そんな児童館で、『一陣の風』、『ベトナム戦記』（共にサンコミックス）を読んだ。といっても漢字にルビも振っていないので、阿保な私には、それらがハッキリと読めなかった。ただ『水木しげる』



という人の絵を楽しんでいた。

その児童館から友人達と自転車で更に足をのばし、別の児童館へと行った。その児童館は前述の児童館よりも単行本が多く特に手塚治虫が多かった。私はそこで『0マン』をよくみていた。しかし、もう一つ絵に慣じめず、途中で、その本を放り出し、また違う本を捜した。

そこには、『千年王国』という文字と『水木しげる』という文字が踊っていた。私は早速、それを手にした。第三巻だったと記憶している。その中でも特に『家獣』がカギキマグロに腹に穴をあけられ、沈没する寸前の見開きのコマで、おびただしい魚の大群に囲まれているコマが印象的であった。その迫力に小学生ながら圧倒されたものだ。これぞ「水木マンガ！」と心の中で叫んでいた。

読み進むらつれて、もっと圧倒されたのが『悪魔くん』の最後であろう。このコマを「フハッ」といわずしてなにを「フハッ」というのだろう（会報は別）。正義の味方が射殺されるのだ！小学生の阿保な私は脳ミソが大爆発した。何故なら、その当時の私には『千年王国』の悪魔くんと『実写版』の悪魔くんとは、同一人物と思っていたからだ。一コマ一コマ『死』の瞬間をテイネイに描写し、しかも目を白目にし、鼻から血を流すその描写。私は背中に冷たいものを感じた。そして、棺。それも昔の座棺というもの。それまでに何度か寝棺はみたが、それではない。『悪魔』だからだろうか。当時の私には、それ以上調べる術がなかった。唯、その児童館には、三巻しかなかったのだ。「一、二巻と読んでみたい。なにがなんでも」そんな心境で毎日、その児童館に通いつめた。

中学生の頃になると部活の為、その児童館には行けな

くなった。ある日、部活が休みで、自転車に乗り、散歩していると、小さな古本屋があった。なにげなく中に入り、書棚をみると『千年王国』（全三巻・JPコミックス）があった。おばあさんが一人店番をしている。だめでもともと、おばあさんに、「本、売ってくれるん？」と聞くと「どれいるん？」と聞かれたので『千年王国』全巻もって「これ、なんやけど」というと、「古い本やで、それでもええの」と聞いてくるので「かめへん、い

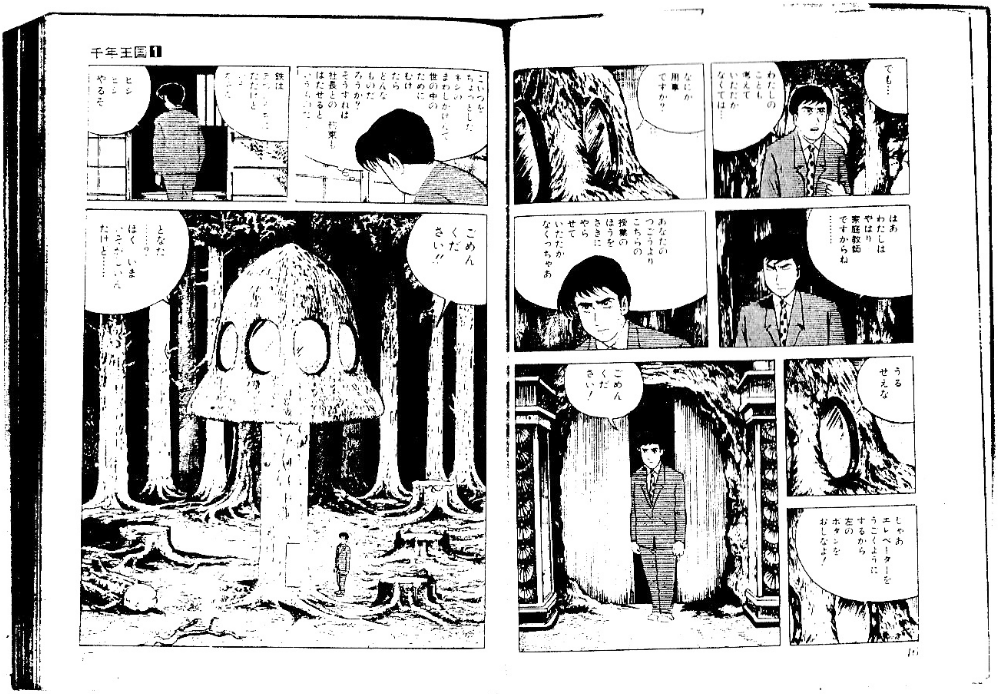


くら？」と聞くと「なんぼでもええよ」というではないか。私の当時の小使いが五百円位だったので、その中から一五〇〇円だしてその全三巻をを手に入れた。その時、書店で朝日ソノラマの『怪奇死人帳』も買っていたので、それが全財産だった。今では信じられない様な値段で手に入れたのだ。



『千年王国』という作品は、中学生の私の頭では、まだ理解するのに充分でなかった。やはり先述の所や、スフィンクスが起き、暴れる所やサタンとの対決に目をうばわれていた。というのが正直なところである。『千年王国』を理解できたのは高校に入学してからだ。私の高校はクリスチャンの学校で、『聖書』の時間というのがある。高2の時、新人教師で松本先生が来られた。その先生はマンガが大好きで何かのハズミで、『千年王国』（多分、キリストの生涯を勉強している時だと思う）の話になった時、その先生が「水木しげるの千年王国は、一度読んだら絶対に聖書の時間がオモシロクなる」とおっしゃった。私は当時、アニメ同好会に所属していたので、その先生が、同好会の副顧問であった。顧問の先生はタチバナ先生といって、弟のように可愛がってもらった。なんと、この先生も実は水木ファンであった。そのタチバナ先生は『水木しげるの短編』が大好きな人である。私が『千年王国』を所蔵していることをいうと、松本先生が、すぐに借してくれというので翌日、借した。数日後、長文の感想をいただいた。

　タチバナ先生の影響で、教会に通うようになり、松原先生という牧師にあった。その先生も大のマンガ好きで、確か白土三平のファンであったが、『悪魔くん』と『千年王国』は、どちらも好きであった。そんな中で、『千年王国』をまた読んでみたいとおっしゃるので、借した。



汐文社ホームコミックス①より。
左右の原稿が逆に入れ替わったまま印刷されている。

同じくホームコミックスより
台詞の一部が後に発売される
ＫＣスペシャル等と違う。
「百円の金」が「コーヒー代」
に変わり、最近また元に戻る。





同じくホームコミックスより
２段目右のコマ。台詞の文字
が１段下がっている所がある。

松原先生も松本先生と同様で、特に少年ジャンプ連載時からのファンで、全三巻を持っていたという。しかし、友達に借したら、その全三巻はそのまま消えていったというのだ。すぐに借してあげた。

『千年王国』は、私にとっても今でも一番好きな作品である。私の持論であるが、頭の悪い政治家なんかが読まなくてはならない作品ではないだろうか。そして、我々の様な貧乏人もよく読んで、『悪魔くん』と一緒に、平等な世界を作る夢をみなくてはならないだろう。西暦二〇〇〇年にイエス・キリストが復活し、この世を変えるという。救われるのは、そのイエス＝キリストを信じている一部の人だけという。『ノアの箱船』もそう。でも『悪魔くん』はちがう。第三巻のカエル男の台詞「七年後によみがえる」悪魔くんは、一部の人だけを救うのではない。人類を平等に救おうとしているのだ。カエル男の「七年後に復活する」という台詞。トペトロと別れる時の水木先生の言葉だったのを、これを書いている時に気付いた。『悪魔くん』は、水木先生の心の中の世の中に対する『怒り』の代弁者だったんだと思う。

私の『千年王国』の出合いから、感想まで、一気に書いたが、やはりメチャクチャである。下手な文で、、だらだらと書いた事を心からお詫びします。

悪魔くん世紀末大戦

by 文月廻

この話は、一言で言ってしまえば、『貸本版 悪魔くん』の続編である。連載された雑誌は『コミックBE』というらしい。ちなみに、かなりマイナーな雑誌らしく、今現在も見かけたことがない。存在してるんだろうか？ 期間は、87年10月31日号〜88年10月31日号という一年間である。

はっきり言って、連載期間の私は小学校三年生で、この雑誌の事など全く知らなかった。だから出会ったのは単行本である。近年、家の近くの品揃えの少ない古本屋に、何気なく入ったら偶然見つけたのだ。これだから古本屋というのは侮れない。たまに掘り出し物が見つかるのが楽しくて、ついつい足を運ばせる魔力を持っている。

まあ古本屋談義はおいといて、棚にこの単行本を見つけたときは、

（あっ『悪魔くん』や!! あれ…何やこのタイトル？ 初めて見るなぁ…。よし買おう！）

という具合だった。そのあと家にサイフを取りに戻り――もともと立ち読みする気で店に入ったので、一文無しだった――八百円で手に入れたのである。

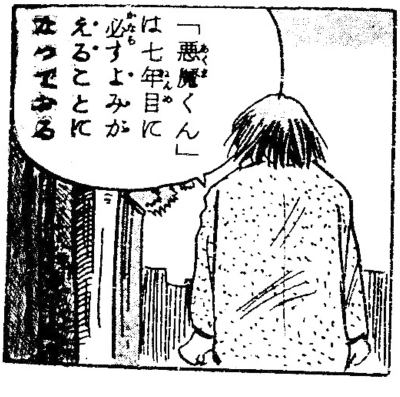
読んでみると、とても面白い。

まず第一話――これは「序章」とされている――は、貸本版の内容を、大まかに説明している。そしてこの話のラストで、カエル男は予言している。

「悪魔くんは七年目に必ず甦る」――と。

しかし七年後に松下一郎（貸本バージョン）は復活せず、貸本版をリメイクした『悪魔くん千年王国』が週刊少年ジャンプに連載される。スケールは更に大きくなり、使徒も増えるが、結果は同じで、松下一郎（悪魔くん）は殺されてしまう。つまりは水木先生の中で、





彼が死ぬのは決定事項になっているのだろうか？
そうではなかった。この『世紀末大戦』で、松下一郎は復活した。七年後に復活というのは、実はカバラ※を研究すると、７＝３＋４で34年後に復活の意味だったのだ。
34年後のその年とは――１９９７年。
１９９７年４月から物語りは始まっている。
この時点で、貸本版――千年王国でも同様――で、悪魔くんをフランネール側に売った佐藤は、既に10年前（１９８７年か）に死んでいる。貸本版のラスト（悪魔くんの死の３年後）において、彼が、落ちぶれて体調を壊していたことを記憶に止めている人もいるだろう。詳細は明らかにはされていないが、おそらく佐藤は病をこじらせ、病死したものと思われる。
ヤモリビトとなるのを拒んだ彼に、与えられた役割は、ユダだった。『新約聖書』※を読んだことがあれば…いや、読んだことがなくても、結構有名な条（くだり）なので、ピンときた人も多いだろう。イエスの12使徒の一人、ユダは、銀３０枚の為にイエスを裏切る。彼は、「わが接吻する者はそれ（イエス）なり、之を捕らえよ」と祭司長の僕（しもべ）らに告げて、イエスに接吻するのだ。「ラビ（せんせい）、安かれ」と。
そして、貸本版ではないが、千年王国では佐藤が悪魔くんを売るシーンが更に詳しく描かれている。その台詞は、全くユダと同じなのだ。
――メシヤ　しあわせに……!!
この後、悪魔くんは反乱罪で捕らえられる。
こうして悪魔くんを三千万円（＝銀３０枚）で売った佐藤だが、カエル男に諭され、心から悔い改めたのだろう。その後は誠心誠意、悪魔くん復活のために、カエル男と行動を共にしたようだ――ヤモリビトとしてではなく、佐藤として。だからこそカエル男のこの台詞

※カバラ……第一使徒カエル男によれば、「古代ユダヤの神秘的な言語学で、文字や名前にはすべて意味があり数字があてはまるという思想」らしい。

※新約聖書……文月が参考にしたのは財団法人日本聖書協会から発行された『英和對照中形新約聖書』（昭和27年11月30日６版発行）である。



があるのだろう。
「ヨハン ファウスト博士…… ヤモリビト いや佐藤…… メシアが築いた千年王国を見ることなく死んでいったわが同朋たちよ
いよいよ今夜 わたしはメシア復活の儀式を果たすのだ…… 見ていてくれ」

この台詞にはグッと来るものがあった。メシア復活を見る事なく、懺悔のうちに他界せねばならなかった佐藤の無念が、悲嘆が、感じ取れるのだ。

イエスとしての松下一郎が、ユダとしての佐藤を許したのかどうかはわからないが、少なくともカエル男は彼を同志――使徒として認めたのだろう。そのことが、佐藤への救いかもしれない。

佐藤とは、凡人で常識人だった故に、人間の最も弱い部分を表現する者として、読者と同じ視点から話を進行させた人物だった。それ故に、私にとっては共感する部分も最も多い、一番魅力のあるキャラだった。生きていて欲しかったなあ…。

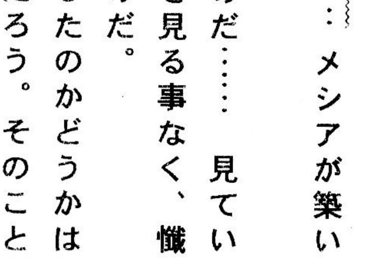
いつの間にか佐藤の事ばかりを書いていた…申し訳無い。話を元に戻そう。

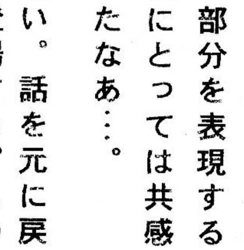
第一章で『オカルトBE』という雑誌の編集者、町田が登場する。この町田、水木先生の作品群の中ではおなじみの、『メガネ出っ歯』である。

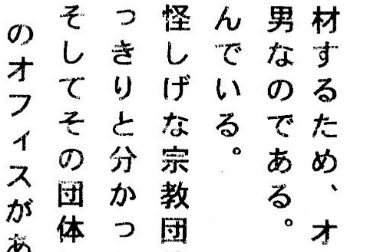
彼は編集長に呼ばれて、悪魔くん復活のスクープを取材するため、オカルト作家毛呂山(けろやま)と組むよう厳命を受ける。その毛呂山というのがカエル男なのである。

この第一章から、内容も、描写も、非常に怪奇性に富んでいる。

道を行く町田がすれ違う、世紀末の人類滅亡を唱える怪しげな宗教団体(?)があるが、1999年ではなくとも、近い将来もしも人類滅亡がはっきりと分かったら、このような団体が出るのでは…と思わせてくれるほど、生々しい。そしてその団体に全く無関心そうな群衆にもまた怖いものがある。毛呂山(以下カエル男)のオフィスがあるビルは「ガウディ






↑ 町田

の設計したような奇怪な」ビルなのだが、そこに町田が入って行くコマで、そびえたつビルは、いかにも何か起こりそうな雰囲気だし、その直後人工精霊(エレメンタル)なるものまで出てくるわ、魔術合戦まで行われるわ…てんこ盛りである。

そのオフィスで、町田はカエル男から悪魔くん（松下一郎）のことについて聞かされ、復活の儀式に同行するのだ。

敵がその復活を阻止しようとするのだが、それもまた錚々(そうそう)たる顔触れである。隠言宗大管長・首相・官房長官――彼らはコマンドの実弾演習と銘打って、悪魔くんの、墓所（いくら立派な墓を…といっても、ピラミッドにする事はなかろうと思うのだが）を封印しようとする。コマンドの部隊名は『レッドマフラー』（笑）で、その内一人に、水木先生によく似た人物（他にねずみ男もいるのだ）がいるのはご愛敬。しかしその企みも、何者か（誰かはあとでわかる）が描いた紋章のお陰で失敗に終わる。

悪魔くんは復活。隠言宗大管長である山本魔州(さんもとましゅう)の部下、灰怒羅(はいどら)という妖術尼（こんな尼さんがいてたまるか!!と言いたくなるような、くノ一スタイル）が現れるが、天上界で修行してきた悪魔くんの敵ではなかった。彼は魔法を使える（前から使えたが…磨きが掛かったと言うべきか）ようになっており、この点が、山田真吾や埋木真吾の悪魔くんとは随分違って、異能児ぶりが目立つ。それに敵との魔力による対決に迫力があるのだ。戦いは使徒に頼るだけ、というメシアではないのが良い。

ソロモンの笛（カエル男が保管していた）を手にした悪魔くん達一行は、34年前に呼び出した悪魔ロソンに会いに行く。ベルゼブブではなくロソンだというところが『世紀末大戦』が貸本版の続きという事を如実に表している。それにしても、あの全く悪魔らしくない、ポマードこってりの、にやけたロソンが再登場するとは……感慨深いものがある。そしてロソンを守る女教皇リリス（リリスというのはアダムの最初の妻の名前からか？）を退け、



↑竹久首相



↑山本魔州


↑チェック



↑ねずみ男！？

ロソンに再会した悪魔くんは、大金持ちになった彼に今後の活動への資金提供を約束させる。魔法が使えるからと言って、金が無いとどうしようもない——どぎつい現実である。あくまで話の舞台は、夢物語ではなく世紀末に突き進むこの世界なのだ。

悪魔くんによる改革を嫌がる竹久首相は、地獄の四王子サタン※・ルシファー・ベリアル・レヴィアタンに魅入られ、手を組む。この四王子は、悪魔くんの墓所を紋章で封印しようとした張本人だった。一方、自分がお払い箱になるのを恐れた山本魔州は、灰怒羅に、町田に近づき(もちろん変装して)、悪魔くん達の動向を見張るように命じる。このような陰謀がめぐらされる中、悪魔くん達は、家獣(これは千年王国からか…。占い杖といい、たまに混ざり合った部分があるようだ)と再会する。何事にも驚きまくりの町田の表情が面白い。一般人の反応を彼を通して私たち読者は見るのだ。町田は弱い人間である。超人的な働きなど一切ない。それはどこか佐藤に似ていると私は思うのだが、読者の方はどうだろう？

ロソンにそそのかされた町田は、ソロモンの笛を持って逃げる。しかし悪魔くんに仕えるため二千年間眠っていた視鬼魅を目覚めさせた事により、彼は裏切らずに踏みとどまった。そして町田は使徒の一人として迎えられる。また、灰怒羅も使徒となる。彼女は自分を介抱してくれた町田を守るために、必死で戦った。その辺りが転機なのだろう(多分)。このあと彼ら二人の間に、恋が芽生えたりなんかしたら面白いのになあ…と私は勝手に想像したりしている。

松下一郎版の悪魔くん(貸本版・千年王国に共通)は、使徒の中に何の特殊能力もない人間が、よくいる。佐藤しかり、ポリ公しかり、町田しかり。これも他の悪魔くんとは異なっている。山田・埋木が元々能力のある者を使徒とするのとは違い、松下は基本的に志のある者を使徒とする傾向があるようだ。その所為で、悪魔くんに受難が多いとも言えなくはないだろうが…逆に言えば、特殊能力の無いことこそが特殊なのであり、それ故に役割が

※サタン……地獄の四王子の一人であって、悪魔くんと戦ったサタンとは別人。



ポーズをつけて復活(笑)



灰怒羅



リリス

キチンとあるのだ。だからこそ登場人物それぞれの個性がよくあらわされていて、全員が活躍出来る作品なのではないだろうか？

ホロリ、とさせてくれるシーンがある。

悪魔くんの父親である松下太洋会長は、息子の復活を喜ぶと同時に、周りの敵視に心を痛めていたが、そこに山本魔州が現れ、竹久首相が地獄の四王子と結託したこと・このままでは自分たちの財産も生命も危険だということを告げる。

そして彼は、松下会長に息子である悪魔くんを殺せと言う。

出来ない、と断る会長に山元が言う台詞は辛辣だ。

「太平洋コンツェルンを築き上げるために 多くの貧乏人を犠牲にし 見殺しにしてきたのは誰だ？　一万や二万の数ではないだろう　それにくらべればたった一人じゃよ」

ここを読んで、私は会長の返事がとても気になった。けれど彼は答えず、舞台はしばらく外の敵へと移り変わる。

しかし敵の事は今は端折らせてもらって、松下父子の話を続けさせて頂く。

悪魔くん（松下一郎）が仲間と共に潜んでいた三浦半島に近い山中に、ヘリが一機降り立つ。降りて来たのは、松下太洋氏。34年ぶりの父子の対面だ。しかし悪魔くんは言う。

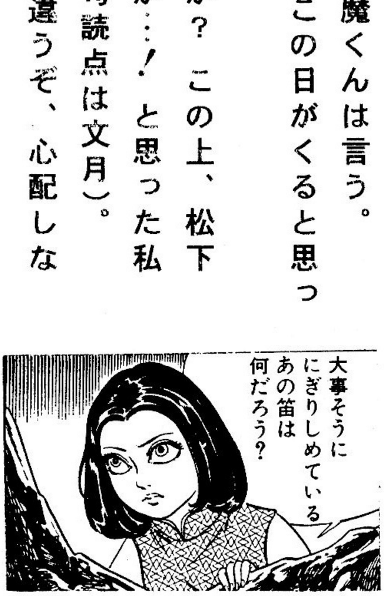
「何の目的で来たのか知ってるよ　ボクを殺しに来たんだね／いつかはこの日がくると思っていたけど」

母を亡くした子が父親に言う台詞で、こんな悲しい台詞があるだろうか？　この上、松下会長が「そうだ」とでも答えたら、酷すぎる。救いようがないじゃないか…！と思った私だったが、彼の言はそうではなかった。——以下の会話そのまま引用（句読点は文月）。

「やはりお前にあっちゃかなわんな。しかしお前の考えていることとは違うぞ、心配しな

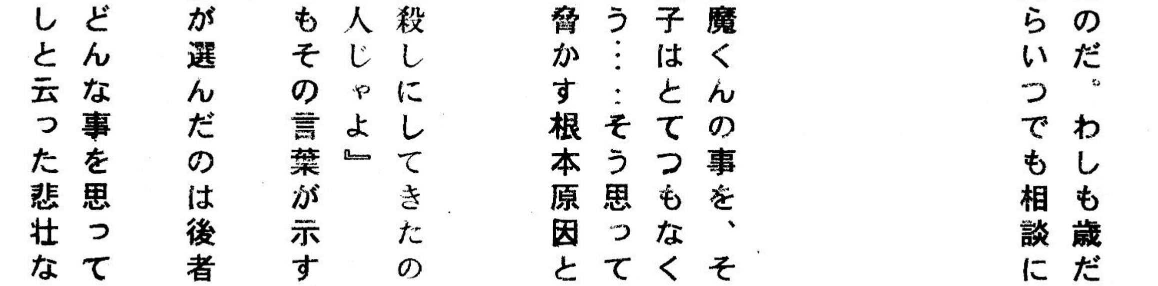






⬅灰怒羅が変身した姿

くてもいい。
　これからどうなるか知らんが、お前に協力しようと思ってやってきたのだ。わしも歳だ、長くはあるまい。表立って派手な動きはできんが、困ったことがあったらいつでも相談に来なさい。
政府の方にはしらばっくれとくから。」
　悪魔くんはその言葉に、ただポツリと、
「お父さん……」
　と呟くだけだった。
　私は、松下会長の事を、会社の経営が第一の父親だと思っていた。悪魔くんの事を、その知能ゆえに父親のことを冷ややかに見る息子だと思っていた。この父子はとてつもなく淡泊な交流しか持っておらず、心などほとんど通い合っていないのだろう……そう思っていた。けれど父親がとったのは己の地位や財産・安全ではなく、それを脅かす根本原因とでも云うべき、我が子だった。
　山本に命じられ、氏は間違いなく悩んだだろう。
『太平洋コンツェルンを築き上げるために多くの貧乏人を犠牲にし見殺しにしてきたのは誰だ？　一万や二万の数ではないだろう　それにくらべればたった一人じゃよ』
　その言葉を免罪符として、息子を手にかけ、保身を謀るか……それともその言葉が示す、計り知れない人々の怨嗟を自覚しながら、我が子だけは護るのか……
　どちらを選んでも、この先の人生を苦悩が襲うだろうに、それでも彼が選んだのは後者だった。それは十二分に重い意味を持つだろう。
　そして「お父さん……」と呟く一郎（悪魔くん）が、その無言の部分でどんな事を思っていたのか――彼は、目的のためには恐らく、父親を退けることも止むなしと云った悲壮な



覚悟を決めて、「いつかはこの日が…云々」と言ったのだろう。決して父と敵対することに平気だった訳ではないはずだ——きっと喜びと安堵でいっぱいだったのだと思う。そして感謝も……。無論彼自身がそう言った訳ではないから、私の勝手な推測に過ぎないけれども、敢えて彼らに『父子の情』を信じたい。例え会長であろうと、父親なのだ。そして例えメシアであっても、子なのだから。

私はこの2ページに満たない父子の対面のシーンが、一番好きである。

さて敵の話に戻ろう。

あのサタンの息子(いたのか!?)が、悪魔くんへの復讐に燃えて来日。

それだけではない、邪神クルールに仕えるアンドリアス一族が、陸に上がってビルを食い荒らし、富士山を噴火させ、大津波を引き起こす。敵の数が多すぎて、よくわからんが、取り敢えず日本がピンチだということさえ理解出来ればOK、OK。

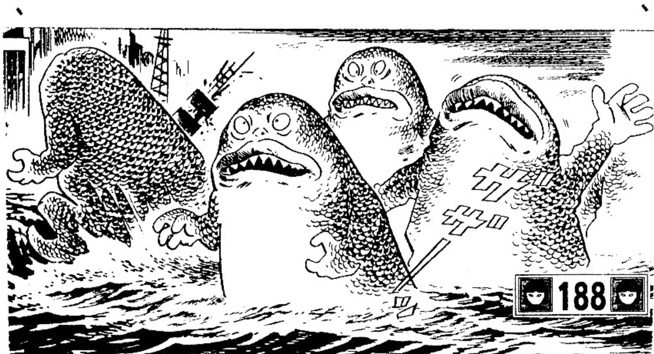
アンドリアス一族は、テレビを通じて「日本政府及び全国民に伝える」のだ。それが24時間以内に悪魔くんを引き渡さなければ、日本を壊滅させるという内容。悩む竹久首相。

そこにサタンの息子、ハワード・サタン氏がやって来て言う。

「悪魔くんを早く渡すべきです」

彼にとって悪魔くんとは、親の仇。それがアンドリアス一族によって殺されるのなら、渡りに舟であるということか。彼は、悪魔くんを捕らえるためにロソンに会いに行くのだが、どうやらロソン、今回は悪魔くんに従うらしい。逆にサタン氏を倒して、ミイラにしてしまう。意外なロソンの魔力！ しかしあのサタンの息子だから、もっと活躍してくれるだろうと期待していたのに…少々拍子抜けである。

24時間が過ぎ、アンドリアス一族は、東京湾から上陸してくる。自衛隊は全く歯が立たない(パターンですな)。東京は廃墟と化すが、悪魔くんはロソンにアンドリアス一族の神、



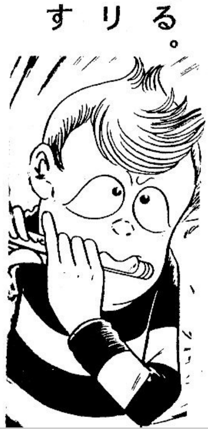
←アンドリアス一族



⬆ロソン⬆ハワード＝サタン
親父にそっくりやね

クルールの退治を命じ、自分ではアンドリアス一族から東京を守るという二面作戦に出る。
ここで、中盤以降少し影の薄かった灰怒羅が名案を出す。彼女、いつの間にかアンドリアスの弱点を調べあげていたのだ。それだけでもすごいのに、その弱点となる『音』を出す器械まで作っていた。だてに、くノ一ルックスではないという事か。
その器械を付けて、悪魔くんはソロモンの笛※（実際どんな音色なのか一寸聞いてみたい気がする。ミュージックファイル※の23番に似てるのだろうか？ いや…あれは山田だし、松下とは違うんだろうか。ってどうでもいいんだが）を吹く。苦しむアンドリアス一族。悪魔くんパーティーの頭脳の勝利である。
ひとまず日本は落ち着いた(?)ので、悪魔くん達は家獣に乗って、海外へ向かう。まだ見ぬ使徒を探すためだ。
（おおっ次は海外か！ 本当にスケールがデカイなあ!!）
と思ったのに、しかし話はいきなり終わる。どうして、これから盛り上がるってところで終わってしまうのか…残念すぎる。もっと続いてほしかった。
『世紀末大戦』——これは、貸本版の続編だが、山田真吾版のように戦闘ばかりの話には最後までならず、革命の意志がきっちり残っている。そして貸本版の時のように、水木先生の神秘学に対する深い造詣が随所に散りばめてあるのが、すごく良い！ とにかく味わい深い作品なのだ。悪魔くんファンなら是非一度は読んでみることをお勧めする。それにしても未完なのが、返す返すも惜しい。なんとか完結してもらえないものか…と思いつつ、筆を置かせてもらう事にする。
ここまで読んで下さって、有り難う御座いました。

（終）



※ソロモンの笛を吹く……松下一郎悪魔くんが吹くのは珍しい。
※ミュージックファイルの23番……TVドラマ『悪魔くん』のBGM集が株式会社VAPから出ているが、その第一段の23番目に入っているのがソロモンの笛の音である。



水木しげる公認ファンクラブ・水木伝説

入会案内

サークル活動趣旨

●日本漫画家の重鎮『水木しげる』先生の公認ファンクラブです。我々『水木伝説』は水木しげる先生の初期作品（一般に貸本漫画と呼ばれる）から最新の作品、更に『ゲゲゲの鬼太郎』や『悪魔くん』といったアニメや実写で映像化された作品までこよなく愛し研究する団体です。勿論作品に取り組むだけでなく、全国の水木しげるファンとの交流もとり、水木しげるファンの輪を広げようと絶え間なく努力してまいりますので貴方の入会を心よりお待ちしております。

サークル入会資格

① 水木しげる先生の想像世界をこよなく愛する者であること。
② 水木しげるファンであることを誇りに思える者であること。
③ 水木しける先生が日本の漫画家で一番だと思う者であること。

サークル活動内容

◎ 年４回会報『フハッ』の発送(会員紹介、水木最新情報等掲載)
◎ 年１回会誌『水木伝説』の発送（水木しげる作品研究、復刻本）
◎ 年１回会員交流の『水伝ツアー』開催（全国規模のイベント）
◎ 他、オリジナル水伝グッズの制作。

入会特典

★ 当ＦＣの関連グッズが会員割引で買えます。
★ 会報『フハッ』誌上にて抽選プレゼント等あります。

入会申込み方法

■ ８０円切手同封の上下記住所まで「水木しげるＦＣ・水木伝説」入会希望と書いて封書にてお申込ください。

〒６５４−０１
神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７−７０９
馬場方　水木しげるＦＣ・水木伝説

編集後記

９８年は本当にたいへんでした。水木伝説本誌のドタキャンが２冊もでてしまい難産の末に産んだ悪魔くん特集号。自分では最高な本になったと思います。
次の実写版もがんばりましょう!!　　通販部・副会長　北迫耕治

今回私は表紙のみの担当で、実質なにもしておりません。スタッフの皆様どうもすみません。しかし、水木しげる作品はこれからは益々評価される時代になってきました。我が水木伝説としても、会員の方々に納得のゆく充実したものをと考えてやみません。　スタッフ　栗本典明

１０ページ未満の文章しか書いとりませんが、会長のたまはく、『がんばったね』（まるで天の声でした、フハ）この一言に調子にのってしっぽを振っている文月です。
９９年はもっとがんばるっス!!　　スタッフ　文月廻

今回はじめて編集作業を手伝わせていただきました。慣れないため他のスタッフの方たちにご迷惑をおかけしたことでしょう。これからはもっと上手く編集作業を手伝えるよう頑張りたいです。
スタッフ　石川明子

『悪魔くん』は水木先生の最高傑作です。必殺シリーズで云うならば「新・仕置人」でウルトラシリーズでは「ティガ」といったところでしょうか！そう、「ティガ」は最高ね。うん、「ティガ」を今だに愛する’９９出所予定の上祐幹部こと　　タハッフ　米吉和久

たいへんよくできました

スタッフ　すぐる

’９８年は自分にとって最悪の年でした。肺炎で倒れるは、母親は手術で入院するわ、大好きなｈｉｄｅは死んじゃうわ、不景気で会社は倒産寸前で金は無いわ、’９９年は望めないとしても今年よりはましでありますように…
会長・馬場　茂幸



もくじ



おくづけ



水木伝説ＸⅣ

【悪魔くん特集Ⅲ・創造の書編】

★平成１１年2月1日発行

★表紙／絵（水木しげる）　レイアウト（栗本典明）

★裏表紙／絵（水木しげる）　レイアウト（栗本典明）

★編集／佐々木卓、馬場茂幸

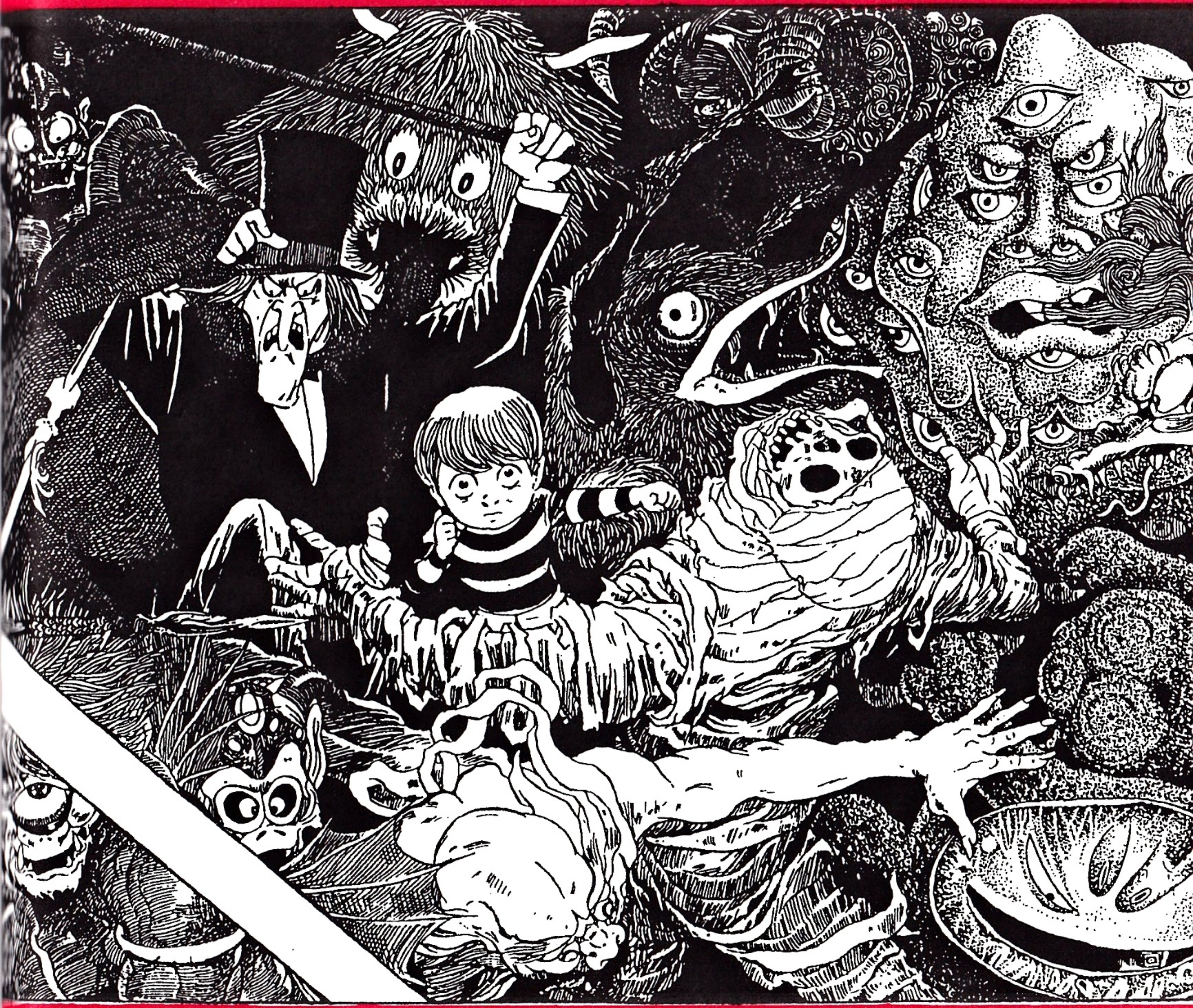
★担当／北迫耕治、米吉和久、栗本典明、石川明子、石川顕子

★協力／伊藤徹、竹田勝二、日比野聖巳

★多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様

★印刷／太陽出版株式会社

悪魔くん特集Ⅲ上巻



水木伝説XIV